Canon

PowerShot G7 X

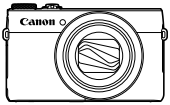
カメラユーザーガイド

- ご使用前に必ず本書および、本書の「安全上のご注意」（📖11）をお読みください。
- 本書をよく読んで、正しくお使いください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

日本語

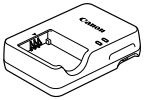
カメラと付属品の確認

お使いになる前に、次のものが入っていることを確認してください。
万が一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



カメラ

バッテリーパック
NB-13L*



バッテリーチャージャー
CB-2LH

リストストラップ

* バッテリーに外装として貼り付けられているラベルは、はがさないでください。

- 上記のほか、印刷物一式が入っています。
- メモリーカードは付属されていません（🕮2）。

使えるカード（市販品）について

以下のカードが容量に制限なくお使いになれます。

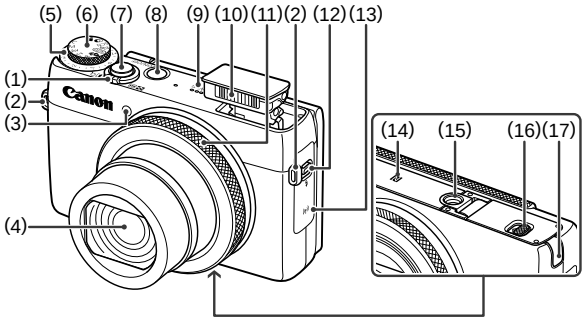
- SD（エスディー）メモリーカード*1
- SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード*1*2
- SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード*1*2

*1 SD 規格に準拠したカードです。カードによっては、正しく動作しないことがあります。
*2 UHS-I 対応のメモリーカードも使えます。

お使いになる前にお読みください

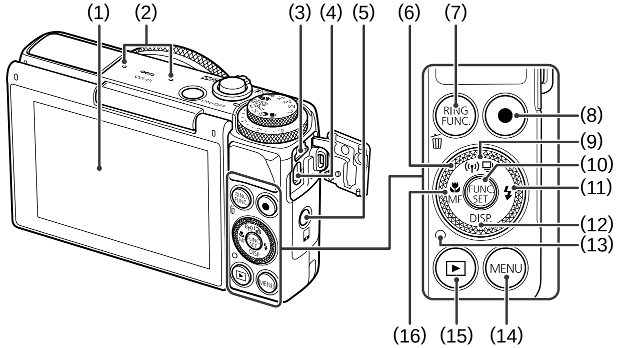
- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の修理受付センターへご相談ください。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99% 以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。
- 液晶モニターに保護シートが貼られているときは、はがしてからご使用ください。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなることがあります。これは故障ではありません。

各部のなまえと記載について



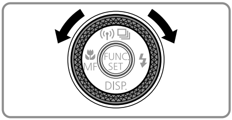
(1) ズームレバー
撮影時：[(望遠)] ／ [(広角)]
再生時：[(拡大)] ／ [(インデックス)]
(2) ストラップ取り付け部
(3) ランプ（前面）
(4) レンズ
(5) 露出補正ダイヤル
(6) モードダイヤル
(7) シャッターボタン
(8) 電源ボタン
(9) スピーカー
(10) ストロボ
(11) コントローラーリング
(12) [(ストロボポップアップ)] スイッチ
(13) Wi-Fi 通信部
(14) (N マーク)*1
(15) 三脚ねじ穴
(16) カード／バッテリー収納部ふた
(17) DC カプラー端子カバー

- 撮影モード、画面に表示される絵文字や文言は、[ ] つきで示しています。
- ①：知っておいていただきたい重要事項を示しています。
- ：上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- ：画面をタッチして操作する方法を示しています。
- 📖xx：参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
- タイトルの下にある「▶ 静止画」「▶ 動画」は、その機能が静止画や動画を撮るときや見るときに使えるかを示しています。



(1)　画面（液晶モニター）*2
(2)　マイク
(3)　DIGITAL（デジタル）端子
(4)　HDMI™ 端子
(5)　[▯（ワンタッチスマホ)］ボタン
(6)　コントローラーホイール
(7)　[RING FUNC.(コントローラーリング機能切り換え)]／[🗑(1 画像消去)] ボタン
(8)　動画ボタン
(9)　[▭（ドライブモード)］／[((ᵯ))（Wi-Fi)］／上ボタン
(10) FUNC./SET（ファンクション／セット）ボタン
(11) [⚡（ストロボ)］／右ボタン
(12) [DISP.(ディスプレイ)]／下ボタン
(13) ランプ（背面）
(14) [MENU（メニュー)］ボタン
(15) [▶（再生)］ボタン
(16) [🌷（マクロ)］／［MF（マニュアルフォーカス)］／左ボタン

*1　NFC 機能（□222）で使います。
*2　画面に保護シートを貼るとタッチ操作が感知されにくいことがあります。このときは、タッチパネルの感度を上げてください（□274)。



- コントローラーホイールを回すと、項目を選んだり画像の切り換えなどができます。また、一部の操作を除き、[▲]、[▼]、[◀]、[▶] と同じ操作ができます。

- カメラのボタンやダイヤルは、ボタンやダイヤルに表記されている絵文字を使って示しています。
- 次の操作部材は、絵文字で示しています。

[◎] 前面 (11) コントローラーリング　[▶] 背面 (11) 右ボタン
[▲] 背面 (9) 上ボタン　[▼] 背面 (12) 下ボタン
[◀] 背面 (16) 左ボタン　[◉] 背面 (6) コントローラーホイール

目次

カメラと付属品の確認 2
使えるカード（市販品）について 2
お使いになる前にお読みください 3
各部のなまえと記載について 4
やりたいこと目次 8
安全上のご注意 11

基本編 15

カメラの基本操作 15
準備する 16
使ってみる 24

活用編 31

1 カメラを知る 31
電源の入れかた／切りかた 32
シャッターボタンの押しかた 34
撮影モードの切り換えかた 35
液晶モニターの向きや角度を調整する 36
撮影時の画面表示の切り換えかた 37
FUNC.（ファンクション）の表示と操作方法 38
MENU（メニュー）の表示と操作方法 40
文字の入力方法 42
ランプの表示 45
時計機能 46

2 オートモード / プラスムービーオートモード 47
カメラまかせで撮る 48
よく使う機能や便利な機能を使う 60
個人認証機能を使って撮る 67
自分好みの画像を撮るための機能を使う 75
撮影の手助けとなる機能を使う 79
自分好みに機能を変える 82

3 いろいろな撮影モード 85
多彩な写真を撮る（クリエイティブショット） 86
いろいろなシーンで撮る 88
効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター） 92
特殊なモードでいろいろな画像を撮る 103
いろいろな動画を撮る 117

4 P モード 119
プログラム AE で撮る（[P] モード） 120
明るさ（露出）に関する機能を使う 121
色に関する機能を使う 129
撮影範囲やピント合わせに関する機能を使う 134
ストロボに関する機能を使う 148
RAW（ロウ）画像を撮る 153
撮影スタイルにあわせて機能を変える 154

5 Tv、Av、M、C モード 157
シャッタースピードを決めて撮る（[Tv] モード） 158
絞り数値を決めて撮る（[Av] モード） 159
シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る（[M] モード） 160
シャッタースピードと絞り数値を決めて動画を撮る 163

撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする 165
FUNC. メニューの表示を変える（FUNC. カスタマイズ） 172
6 再生モード 177
見る 178
画像を探したり、特定の画像だけを見る 185
個人認証情報を編集する 191
いろいろな方法で画像を見る 193
保護する 197
消す 201
回転する 204
お気に入り設定をする 206
タッチアクションでかんたんに操作する 208
静止画を編集する 210
動画を編集する 216
7 Wi-Fi 機能 219
Wi-Fi でできること 220
スマートフォンに画像を送る 221
パソコンに画像を取り込む 229
Web サービスを登録して画像を送る 240
プリンターにつないで画像を印刷する 246
別のカメラに画像を送る 248
画像送信について 250
画像を自動で送る（クラウドシンクロ） 253
スマートフォンでカメラ内の画像やカメラを操作する 256
Wi-Fi の設定を編集 / 消去する 259
8 設定メニュー 263
カメラの基本機能を変える 264
9 アクセサリー 277
システムマップ 278
別売アクセサリー 280
別売アクセサリーの使いかた 283
ソフトウェアを使う 288
印刷する 293
10 付録 307
故障かな？と思ったら 308
画面に表示されるメッセージ一覧 315
画面の表示内容一覧 319
機能／メニュー 一覧 323
日ごろの取り扱いについて 351
主な仕様 352
Wi-Fi（無線 LAN）について 360
索引 366

やりたいこと目次

撮る

- カメラまかせで写真を撮りたい（オートモード、プラスムービーオートモード）
  - 48、51
- カメラまかせで多彩な写真を撮りたい（クリエイティブショット）
  - 86

人を上手に撮りたい

人をきれいに
（88）

雪景色で
（88）

いろいろなシーンにあわせて撮りたい

夜景
（88）

水中で
（88）

花火
（88）

星空
（107）

効果をつけて撮りたい

鮮烈な色で
（92）

イラスト風に
（92）

色あせた写真のように
（95）

魚眼レンズのように
（96）

ミニチュア模型のように
（97）

トイカメラ風に
（99）

背景をぼかして
(📖100)

柔らかな雰囲気で
(📖101)

モノクロで
(📖102)

- 人の顔を上手に撮りたい
  - 📖48、📖88、📖141、📖143
- ストロボ禁止の場所で撮りたい（ストロボ発光禁止）
  - 📖48
- 自分も一緒に写りたい（セルフタイマー撮影）
  - 📖62、📖105
- 個人認証機能を使って撮りたい
  - 📖67、📖184
- 写真と一緒に動画を記録したい
  - 📖51

▶ 見る

- 画像を見たい
  - 📖178
- 自動再生で見たい（スライドショー）
  - 📖194
- テレビで見たい
  - 📖283
- パソコンで見たい
  - 📖289
- 画像を素早く探したい
  - 📖185
- 画像を消したい
  - 📖201

動画を撮る／見る

- 動画を撮りたい
  - 📖48、📖117、📖163
- 動画を見たい
  - 📖178

印刷する

- 写真を印刷したい
  - 📖293

残す

- ケーブルでつないで画像をパソコンに取り込みたい
  - 📖290

Wi-Fi 機能を使う

- スマートフォンに画像を送りたい
  - 📖221
- Web サービスで画像を共有したい
  - 📖240
- 画像をパソコンに送りたい
  - 📖253

安全上のご注意

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリーをお持ちのときは、付属の使用説明書もあわせて参照してください。

⚠ 警告	死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

- ストロボを人の目に近づけて発光しない。

視力障害の原因となります。特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。

- お子様や幼児の手の届くところで保管しない。

ストラップを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。
電源コードを使用する製品では、電源コードを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

- 指定外の電源は使わない。
- 分解、改造したり、加熱しない。
- 外装としてラベルが貼り付けられているバッテリーでは、ラベルをはがさない。
- 落とすなどして強い衝撃を与えない。
- 落下などで破損したときは、内部には触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- 液体で濡らしたり、内部に液体や異物を入れない。

感電、火災の原因となります。
液体で濡れたり、内部に液体や異物が入ったときは、バッテリーや電池を使用する製品では、それらを取り外し、家庭用電源を使用する製品では、コンセントから抜いてください。

- ファインダーがある製品では、ファインダーで強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。

視力障害の原因となることがあります。

● 家庭用電源を使用する製品では、雷が鳴り出したら製品に触れない。
感電、火災の原因となります。すぐに使用をやめ、製品から離れてください。

● 指定外のバッテリーや電池は使わない。

● バッテリーや電池は火に近づけたり、火の中に投げ込まない。
バッテリーや電池が破裂や液漏れし、感電、けが、火災の原因となることがあります。漏れた電解液が、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

● バッテリーチャージャーを使用する製品では、次のことに注意する。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを乾いた布で拭き取る。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。また、電源プラグが傷んでいたり、差し込みが不十分なまま使わない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを付着させない。
- 電源コードを使用する製品では、電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工しない。

感電、火災の原因となります。

● カメラの使用が禁止されている場所では、カメラの電源を切る。
カメラが発生する電磁波により、計器や機器に影響を与える恐れがあります。特に飛行機内や医療機関など、電子機器の使用が制限されている場所では十分注意してください。

● 長時間、身体の同じ部位に触れたまま使わない
熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。

⚠ 注意	傷害を負う可能性がある内容です。

● ストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。

● レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。
けがやカメラの故障の原因となることがあります。

● 液晶モニターに強い衝撃を与えない。
液晶モニターが割れると、破片でけがをすることがあります。

● ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。
やけどや故障の原因となることがあります。

● 次の場所で使用・保管しない。
- 直射日光のあたるところ
- 40℃を超える高温になるところ
- 湿気やホコリの多いところ

バッテリーや電池の液漏れ、発熱、破裂により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。
発熱、破損により、感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。

● 長時間画面を見ていると、不快感を感じることがありますのでご注意ください。
● 別売のオプションレンズ、レンズフィルター、フィルターアダプターを使用する製品では、確実に取り付ける。
緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。

● ストロボが自動昇降する製品では、ストロボが下がるときに指をはさまないようにする。
けがの原因となることがあります。

注意	物的損害を負う可能性がある内容です。

● カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けない。
撮像素子やカメラの内部が損傷することがあります。

● 砂浜や風の強い場所で使用するときは、カメラの内部にホコリや砂が入らないようにする。
● ストロボが自動昇降する製品では、ストロボを押し込んだり、つまみ上げたりしない。
故障の原因となることがあります。

● ストロボに汚れやホコリなどの異物がついたときは、綿棒などで取り除く。
そのまま発光させると、発光熱により、付着物の発煙や故障の原因となることがあります。

- 使用しないときは、製品からバッテリーや電池を取り外して保管する。

液漏れにより故障の原因となることがあります。

- バッテリーや電池を廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。

- バッテリーチャージャーを使用する製品では、使用しないときはコンセントから外す。また、布などをかけたまま使用しない。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

- 専用バッテリーを使用する製品では、ペットの近くにバッテリーを置かない。

バッテリーに噛みついたとき、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、故障や火災の原因となることがあります。

- 複数の電池を使用する製品では、充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使用しない。また、電池の「+」「−」端子を逆にして入れない。

故障の原因となることがあります。

- ズボンのポケットにカメラを入れたまま椅子などに座らない。

液晶モニターの破損の原因となります。

- かばんにカメラを入れるときは、硬いものが液晶モニターにあたらないようにする。また、液晶モニターが閉じられる製品では、液晶モニターを内側に向けて閉じる。
- ストラップにアクセサリーを付けない。

硬いものが液晶モニターにあたると破損の原因になります。

基本編

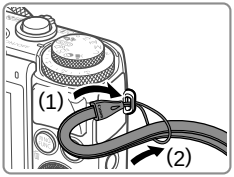
カメラの基本操作

準備から、撮影、再生までの説明や、
各種の基本情報を掲載しています。

準備する

ここでは、撮影前の準備について説明します。

ストラップを取り付ける

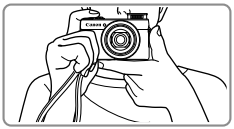


ストラップを取り付ける

- (1) ストラップの先端を取り付け部に通して、(2) 通した先端にストラップを通します。

- ストラップは左手側に取り付けることもできます。

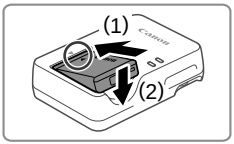
カメラを構える



- ストラップを手首に通します。
- 撮影するときは、脇をしめてカメラが動かないようにしっかりと構え、ストロボを上げているときは、ストロボに指がかからないようにしてください。

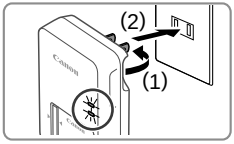
バッテリーを充電する

カメラに付属のバッテリーチャージャー（充電器）を使って、付属のバッテリーを充電します。お買い上げ時はバッテリーが充電されていませんので、必ず充電してからお使いください。



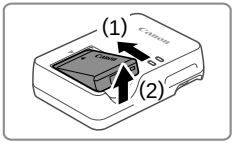
1 バッテリーを取り付ける

- バッテリーとバッテリーチャージャーの▲をあわせて、(1) の方向へ押しながら、(2) の方向へ取り付けます。



2 充電する

- プラグを (1) の方向へおこして、(2) コンセントに差し込みます。
- 充電がはじまり、ランプがオレンジ色に点灯します。
- 充電が完了すると、ランプが緑色に点灯します。



3 バッテリーを取り外す

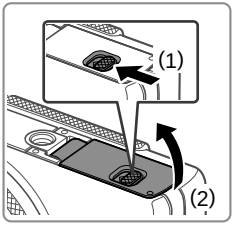
- バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、(1) の方向へ押しながら、(2) の方向へ取り外します。

- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。

- 充電に必要な時間、フル充電したバッテリーで撮影できる枚数と時間については、「撮影できる枚数・時間、再生できる時間」(354) を参照してください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減るため、充電は使う前日か当日にしてください。
- バッテリーチャージャーは、AC100 – 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

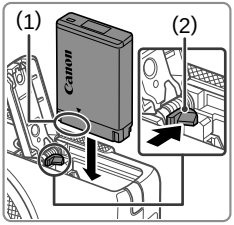
バッテリーとカードを入れる

付属のバッテリーとカード（市販品）をカメラに入れます。
なお、新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）（269）することをおすすめします。



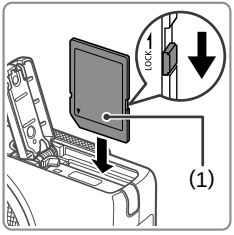
1 ふたを開ける

- (1) の方向にスイッチを動かして、(2) の方向へふたを開けます。



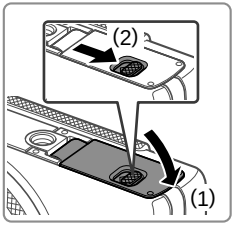
2 バッテリーを入れる

- バッテリーの端子部 (1) を図の向きにして、バッテリーロック (2) を矢印の方向へ動かし、「カチッ」と音がしてロックされるまで差し込みます。
- 間違った向きでバッテリーを入れるとロックされません。必ずバッテリーがロックされる正しい向きで入れてください。



3 カードのスイッチを確認して、カードを入れる

- スイッチがあるカードでは、スイッチが「LOCK」側になっていると撮影できません。スイッチを解除側に動かします。
- カードのラベル面 (1) を図の向きにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- カードは、必ず正しい向きで入れてください。間違った向きで入れると、カメラの故障の原因となります。

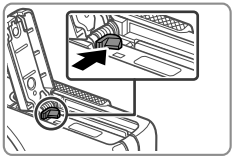


4 ふたを閉める

- ふたを (1) の方向にたおして押さえたまま、スイッチを (2) の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。

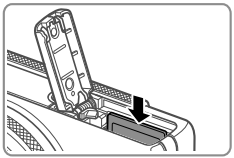
- 1 枚のカードに撮影できる枚数や時間については、「1 枚のカードに撮影できる枚数」(🕮355) を参照してください。

バッテリーとカードを取り出す



バッテリーを取り出す

- ふたを開け、バッテリーロックを矢印の方向に動かします。
- バッテリーが出てきます。

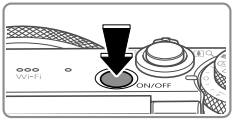


カードを取り出す

- 「カチッ」と音がするまでカードを押し込み、ゆっくり指を放します。
- カードが出てきます。

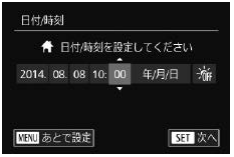
日付／時刻を設定する

電源を入れたときに［日付 / 時刻］画面が表示されたときは、現在の日時に正しく設定してください。ここで設定した情報は撮影する画像に記録され、撮影日による管理や、日付を入れて印刷するときなどに使用できます。



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- ［日付 / 時刻］画面が表示されます。



2 日付／時刻を設定する

- ［◀］か［▶］を押して項目を選びます。
- ［▲］か［▼］を押すか［◉］ホイールを回して設定します。
- すべての項目を設定したら、［(FUNC.) SET］を押します。

3 自宅のエリアを設定する

- ［◀］か［▶］を押して自宅のあるエリアを選びます。

4 設定を終える

- ［(FUNC.) SET］を押すと設定されて、確認画面が表示されたあと、設定画面が消えます。
- 電源ボタンを押すと電源が切れます。

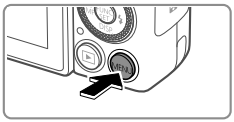
- 日付／時刻や自宅エリアを設定しないと、電源を入れるたびに［日付 / 時刻］画面が表示されます。正しく設定してください。

● 手順 2 で［☀OFF］を選び、［▲］か［▼］を押すか［◉］ホイールを回して［☀］にすると、サマータイム（1 時間プラスされます）に設定されます。

● 手順 2 の画面で、設定する項目をタッチして、［▲］か［▼］をタッチして設定したあと、［SET］をタッチすることでも日付／時刻を設定できます。また、手順 3 の画面で、［◀］か［▶］をタッチして設定したあと、［SET］をタッチすることでも自宅のエリアを設定できます。

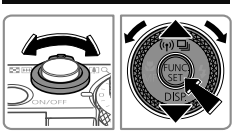
日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



1 メニューを表示する

● ［MENU］ボタンを押します。



2 ［日付 / 時刻］を選ぶ

● ズームレバーを動かして、［🔧］タブを選びます。

● ［▲］か［▼］を押すか［◉］ホイールを回して［日付 / 時刻］を選び、［FUNC SET］を押します。

3 日付／時刻を変える

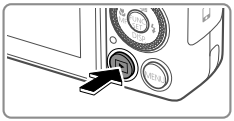
● 「日付／時刻を設定する」の手順 2（📖20）の操作で設定します。

● ［MENU］ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。

- カメラには日付／時刻用電池（バックアップ電池）が内蔵されています。バッテリーを取り出してから約 3 週間は、設定した日付／時刻が保持されます。
- 日付／時刻用電池は、充電したバッテリーをカメラに入れるか、AC アダプターキット（別売）（📖280）を使うと、カメラの電源を入れなくても約 4 時間で充電されます。
- 日付／時刻用電池がなくなると、カメラの電源を入れたときに［日付 / 時刻］画面が表示されます。「日付／時刻を設定する」（📖20）の操作で正しく設定してください。

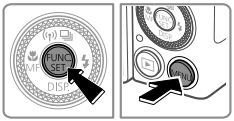
表示言語を選ぶ

画面に表示される言語を変えられます。



1 再生モードにする

- ［▶］ボタンを押します。



2 設定画面を表示する

- ［FUNC SET］を押したまま、すぐに［MENU］ボタンを押します。

3 言語を設定する

- ［◀］か［▶］を押すか［⚙］ホイールを回して言語を選び、［FUNC SET］を押します。
- 表示言語が設定され、設定画面が消えます。

- 手順２の操作で［(SET)］を押してから、[MENU]ボタンを押すまでの間隔が長いと、時計表示になります。時計表示になったときは［(SET)］を押して時計表示を消して、もう一度手順２の操作を行います。
- 言語設定は、[MENU]ボタンを押すと表示されるメニュー画面で、[🔧]タブの［言語］を選んで設定することもできます。

- 手順３で表示したい言語をタッチして選び、もう一度同じ言語をタッチすることでも設定できます。

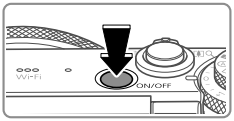
使ってみる

▶ 静止画　▶ 動画

ここでは、電源を入れてから静止画や動画を撮影し、その画像を見るまでの手順について説明しています。

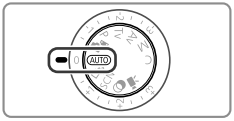
撮る（こだわりオート）

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。



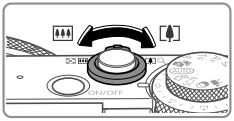
1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 起動画面が表示されます。



2 [AUTO] モードにする

- モードダイヤルを［AUTO］にします。
- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。
- 画面の左上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます。
- 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。

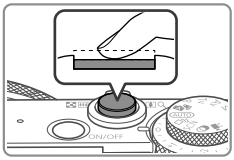


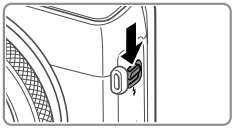
3 撮りたいものの大きさを決める

- ズームレバーを［］側に押すと撮りたいものが大きくなり、［］側に押すと小さくなります。

4 撮影する

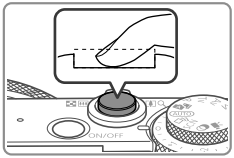
静止画を撮る





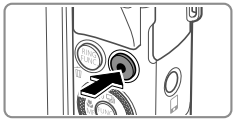
1）ピントを合わせる

- シャッターボタンを浅く押して、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と 2 回鳴り、ピントが合った位置に AF フレームが表示されます。
- [ストロボを上げてください] のメッセージが表示されたときは、[ϟ] スイッチを動かして、ストロボを上げてください。撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。

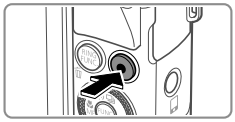


2）撮影する

- シャッターボタンを深く押し込みます。
- シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでストロボを上げているときは、自動的にストロボが光ります）。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかり持ってください。
- 撮影した画像が表示されたあと、撮影画面に戻ります。



(1)



動画を撮る

1) 撮影をはじめる

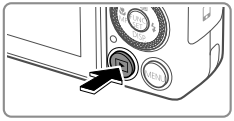
- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と 1 回鳴って撮影がはじまり、[●録画]と撮影時間 (1) が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影できません。
- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を放します。

2) 撮影を終える

- もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ピピッ」と 2 回鳴り、撮影が終わります。

見る

撮影した画像を画面で見ることができます。

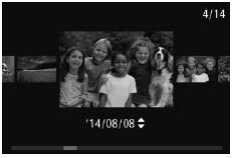


1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。

2 画像を選ぶ

- [◀] を押すか [◉] ホイールを反時計方向に回すと前の画像が表示され、[▶] を押すか [◉] ホイールを時計方向に回すと次の画像が表示されます。
- [◀] か [▶] を押したままにすると、画像が速く切り換わります。



- [◉] ホイールを速く回すとこの画面が表示されます（スクロール再生）。この状態で [◉] ホイールを回して画像を選びます。
- [FUNC SET] を押すと 1 枚表示に戻ります。

- 動画では、[SET ▶] が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。

(1)

3 動画を再生する

- [(FUNC SET)] を押して動画操作パネルを表示し、[◀] か [▶] を押すか [(ダイヤル)] ホイールを回して [▶] を選び、もう一度 [(FUNC SET)] を押します。
- 動画が再生され、再生が終わると [SET▶] が表示されます。
- 音量 (1) は [▲] か [▼] を押して調節します。

- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。

■ 画面をタッチして操作する

- 手順 2 で画面を左方向にドラッグ（指を画面に触れたまま移動）すると、次の画像が表示され、右方向にドラッグすると前の画像が表示されます。
- 連続して素早くドラッグすると、スクロール再生の画面を表示できます。
- スクロール再生の画面で中央の画像をタッチすると、1 枚表示に戻ります。
- 動画を選んで [(▶)] をタッチすると再生がはじまります。
- 動画の再生中に画面を上下方向に素早くドラッグすると音量を調節できます。

消す

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。

1 消したい画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して画像を選びます。

2 消す

- [🗑] ボタンを押します。
- [消去?] が表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [消去] を選び、[FUNC/SET] を押します。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、[◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [キャンセル] を選び、[FUNC/SET] を押します。

- 画像をまとめて消すこともできます (📖202)。

- 手順 2 の画面で [消去] をタッチすることでも表示していた画像を消すことができます。
- タッチアクションで消すこともできます (📖208)。

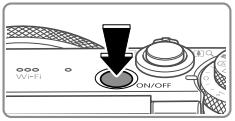
1

活用編

カメラを知る

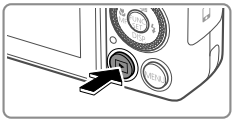
カメラの基本操作をはじめ各種の撮影や再生のほか、カメラを活用するための情報などを内容ごとに章分けして説明しています。

電源の入れかた／切りかた



撮影モード

- 電源ボタンを押すと電源が入り、撮影できます。
- 電源ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。



再生モード

- [▶] ボタンを押すと電源が入り、撮影した画像を見ることができます。
- [▶] ボタンをもう一度押すと、電源が切れます。

- 撮影モードの状態で [▶] ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押し（📖34）すると、撮影モードになります。
- 再生モードでは、約 1 分経過するとレンズが収納されます。レンズが収納されているときは、[▶] ボタンを押すと電源が切れます。

節電機能（オートパワーオフ）

バッテリーの消耗を防ぐため、カメラを操作しない状態で一定の時間がたつと、自動的に画面を消したり（ディスプレイオフ）、電源を切ったりする機能です。

撮影モードでの節電機能

約 1 分間カメラを操作しないと画面が消え、さらに約 2 分たつとレンズが収納されて電源が切れます。画面が消えた状態でもレンズが出ているときは、シャッターボタンを半押し（🕮34）すると画面が表示され、撮影できます。

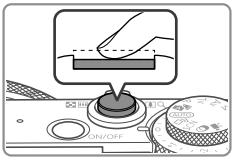
再生モードでの節電機能

約 5 分間カメラを操作しないと、電源が切れます。

- 節電機能を切ったり、画面が消えるまでの時間を変えたりすることができます（🕮268）。
- Wi-Fi でほかの機器と接続しているとき（🕮219）、パソコンとつないでいるとき（🕮290）は、節電機能は働きません。

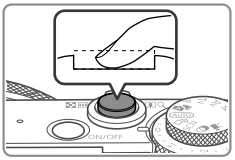
シャッターボタンの押しかた

ピントが合った画像を撮るために、必ずシャッターボタンを浅く押す「半押し」をしてピントを合わせてから、そのまま深く押す「全押し」をして撮影します。
なお、シャッターボタンの操作に関する記載は以降「半押し」、「全押し」と表記しています。



1 半押し（浅く押してピントを合わせる）

- 電子音が「ピピッ」と 2 回鳴り、ピントが合った位置に枠が表示されるまで、浅く押します。



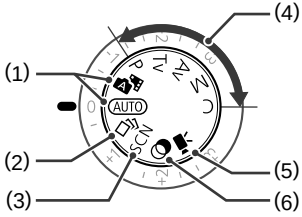
2 全押し（そのまま深く押して撮影する）

- シャッター音が鳴り、撮影されます。
- シャッター音が鳴っている間は撮影中のため、カメラを動かさないように注意してください。

- シャッターボタンを半押ししないで撮影すると、ピントが合わない画像になることがあります。
- シャッター音は撮影にかかる時間に応じて長さが変わります。そのため、撮影シーンによってはシャッター音が長くなり、シャッター音が鳴っている間にカメラを動かしたり、被写体が動いたりすると、ブレの原因になりますので注意してください。

撮影モードの切り換えかた

撮影モードの切り換えは、モードダイヤルで行います。



(1) オートモード／
プラスムービーオートモード
カメラまかせの全自動撮影ができます（📖24、📖48、📖51）。

(2) クリエイティブショットモード
カメラまかせで多彩な静止画が撮影できます（📖86）。

(3) スペシャルシーンモード
撮影シーンに最適な撮影ができます（📖88）。

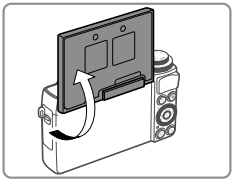
(4) P、Tv、Av、M、C モード
各種機能を設定して、さまざまな撮影ができます（📖119、📖157）。

(5) 動画モード
動画が撮影できます（📖117、📖163）。
なお、動画モード以外でも動画ボタンを押すだけで動画撮影できます。

(6) クリエイティブフィルターモード
いろいろな効果をつけた撮影ができます（📖92）。

液晶モニターの向きや角度を調整する

撮影シーンや目的に応じて、液晶モニターの向きや角度を調整することができます。



- 液晶モニターを持ち上げ、180°まで開くことができます。
- 撮影モードで液晶モニターを開き、画面をレンズ側に向けると、画像が鏡像（左右反転）で表示されます。[MENU] ボタンを押して［📷］タブの［鏡像表示］を選び、［◀］か［▶］を押して［切］を選ぶと、鏡像表示を解除できます。

- カメラを使わないときは、閉じた状態で保管してください。
- 液晶モニターは、故障の原因となるため無理に広げないでください。

撮影時の画面表示の切り換えかた

画面表示は、[▼]を押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、「画面の表示内容一覧」(📖319)を参照してください。

	表示 1
	表示 2

- 暗い場所では、自動的に画面が明るくなって構図を確認しやすくなります(ナイトビュー機能)。ただし、撮影される画像の明るさとは異なるほか、粗い感じ、またはややぎこちない表示になることがあります(記録される画像に影響はありません)。
- 再生時の画面表示については、「表示を切り換える」(📖181)を参照してください。

FUNC.（ファンクション）の表示と操作方法

撮影時によく使う機能は、FUNC. で設定できます。
なお、表示されるメニュー項目や項目は、選んでいる撮影モード（📖327）によって変わります。

1 FUNC. のメニュー項目を表示する

- [㊗] を押します。

2 メニュー項目を選ぶ

- [▲] か [▼] を押してメニュー項目 (1) を選びます。
- 選んだメニュー項目の項目 (2) が、画面の下部に表示されます。

3 項目を選ぶ

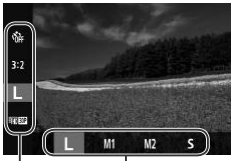
- [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して項目を選びます。
- [MENU] が表示される項目では、[MENU] ボタンを押して設定することができます。
- [RING FUNC.] が表示される項目では、[RING FUNC.] ボタンを押して設定することができます。

4 設定を終える

- [㊗] を押します。
- 手順 1 で [㊗] を押す前の画面に戻り、設定した項目が画面に表示されます。

- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます（📖276）。

画面をタッチして設定する

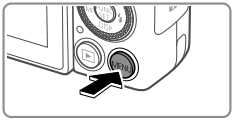


(1)　(2)

- [FUNC SET]を押して FUNC. のメニュー項目 (1) を表示したあと、メニュー項目を上下方向にドラッグするか、タッチして選びます。
- 項目 (2) をタッチして選びます。もう一度同じ項目をタッチすると設定されて［FUNC SET］を押す前の画面に戻ります。
- ［MENU］が表示される項目では、［MENU］をタッチして画面を切り換えることができます。
- ［RING FUNC.］が表示される項目では、［RING FUNC.］をタッチして画面を切り換えることができます。

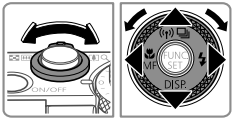
MENU（メニュー）の表示と操作方法

カメラの各種機能をメニューで設定できます。メニュー項目はタブで撮影［📷］や再生［▶］などの系統に分けられています。なお、表示される項目は、選んでいる撮影モードや再生モード（📖334～📖349）によって変わります。



1 メニューを表示する

- ［MENU］ボタンを押します。

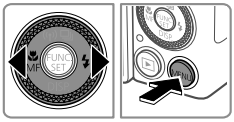


2 タブを選ぶ

- ズームレバーを動かして、タブを選びます。
- ［▲］か［▼］を押すか［◉］ホイールを回してタブが選ばれている状態にしたあと、［◀］か［▶］を押してタブを選ぶこともできます。

3 項目を選ぶ

- ［▲］か［▼］を押すか［◉］ホイールを回して項目を選びます。
- 内容が表示されていない項目では、［FUNC］か［▶］を押して画面を切り換えたあと、さらに［▲］か［▼］を押すか［◉］ホイールを回して項目を選びます。
- ［MENU］ボタンを押すと切り換える前の画面に戻ります。



4 内容を選ぶ

- [◀] か [▶] を押して内容を選びます。

5 設定を終える

- [MENU] ボタンを押すと、手順 1 で [MENU] ボタンを押す前の画面に戻ります。

- 設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます (📖276)。

画面をタッチして操作する

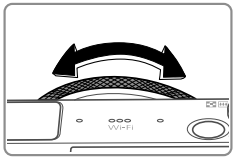
- [MENU] ボタンを押してメニューを表示したあと、タブをタッチして、タブを選びます。
- 画面を上下方向にドラッグするか、項目をタッチして選びます。
- 内容をタッチして選びます。内容の左右に [◀] と [▶] が表示される項目では、[◀] か [▶] をタッチして選ぶこともできます。
- バーが表示される項目では、バーの上で設定したい位置をタッチします。
- 内容が表示されていない項目では、項目をタッチして画面を切り換えて設定します。切り換えたあとの画面で、ドラッグかタッチで項目を選んだあと、タッチして内容を選びます。[MENU] をタッチすると、切り換える前の画面に戻ります。
- チェックボックスや文字の入力欄をタッチして選んだり、キーボードをタッチして文字を入力することもできます。
- [SET] が表示されているときは、[SET] をタッチすると [㊗] ボタンと同じ操作ができます。
- [MENU] が表示されているときは、[MENU] をタッチすると [MENU] ボタンと同じ操作ができます。
- メニュー表示を消すには、もう一度 [MENU] ボタンを押します。

文字の入力方法

個人認証機能（📖67）や Wi-Fi 機能（📖234）などで文字を入力するときは、キーボード画面を使います。入力できる文字数や文字の種類は、機能によって異なります。

文字を入力する

- 文字が表示されているキーを何回かタッチして目的の文字を入力します。
- [**確定**] をタッチして文字を確定します。
- 文字数 (1) は機能によって異なります。



入力位置を移動する

- [◀] か [▶] をタッチするか、[◑] リングを回します。

改行する

- [↵] をタッチします。

文字の種類を変える

- [ABC] [123] [#$%] をタッチします。
- 文字の種類は機能によって異なります。

文字を消す

- [⌫] をタッチするか、[🗑] ボタンを押すと前の 1 文字が消去されます。
- [🗑] ボタンを押したままにすると、5 文字ずつ消去されます。

キーボードの種類を変える

- [⌨] をタッチするとこの画面が表示されます。
- 文字をタッチして入力します。
- この画面で [🔣] をタッチすると、数字や記号など文字の種類を切り換えることができます。
- [⇧] をタッチすると、大文字を入力できます。

もとの画面に戻る

- [MENU] ボタンを押します。

■ 漢字やひらがなを入力する

個人認証機能の人物名（📖68）とWi-Fi機能のコメント入力（📖252）にはひらがなや漢字も使うことができます。

文字の種類を変える

- [あいう] をタッチします。

文字を入力する

- 文字が表示されているキーを何回かタッチして目的の文字を入力します。

文字を変換する

- [変換] をタッチします。

文字を確定する

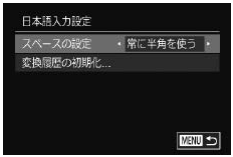
- [確定] をタッチします。

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [⚙] ホイールを回して文字やアイコンを選び、[SET] を押して操作することもできます。また、[⚙] リングを回して文字を入力する位置を移動することもできます。

文字入力の設定を変える

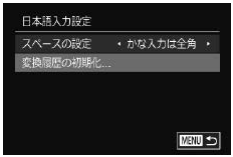
文字入力に関する設定を変えることができます。

半角スペースを使う



- [MENU] ボタンを押して、[🔧] タブの［日本語入力設定］を選び、［SET］を押します（📖40）。
- ［▲］か［▼］を押すか［◉］ホイールを回して［スペースの設定］を選び、［◀］か［▶］を押して［常に半角を使う］を選びます。

変換履歴を初期化する



- [MENU] ボタンを押して、[🔧] タブの［日本語入力設定］を選び、［SET］を押します（📖40）。
- ［▲］か［▼］を押すか［◉］ホイールを回して［変換履歴の初期化］を選び、［◀］か［▶］を押して［はい］を選びます。

ランプの表示

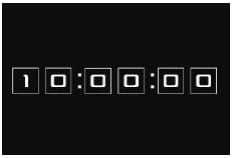
カメラ背面のランプ（📖4）は、カメラの状態に連動して、点灯／点滅状態が変わります。

色	状態	操作状態
緑	点灯	パソコン接続時（📖290）、画面消灯時（ディスプレイオフ）（📖33、📖267、📖268）
	点滅	起動中、カードへの記録／読み出し中、各種通信中、長秒時の撮影中（📖158、📖160）、Wi-Fi接続中／データ送受信中

- ランプ（背面）が緑色に点滅しているときは、「電源を切る」、「カード／バッテリー収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことは絶対にしないでください。画像が壊れて表示できなくなったり、カメラやカードが故障する原因になります。

時計機能

現在の時刻を確認できます。



- [FUNC SET] を押したままにします。
- 現在の時刻が表示されます。
- 時刻表示中にカメラを縦にすると縦表示になり、[◀] か [▶] を押すか [⚙] ホイールを回すと表示色を変えることができます。
- もう一度 [FUNC SET] を押すと時刻表示が消えます。

- [FUNC SET] を押したまま電源を入れることで、時刻表示にすることもできます。

2

オートモード /
プラスムービーオートモード

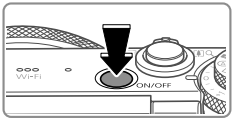
かんたん操作で手軽に撮ったり、いろいろな機能を
使ってもう少しこだわった画像を撮る

カメラまかせで撮る

カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。

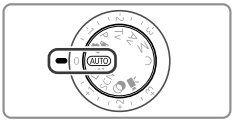
オートモードで撮る（こだわりオート）

▶ 静止画　▶ 動画



1 電源を入れる

- 電源ボタンを押します。
- 起動画面が表示されます。

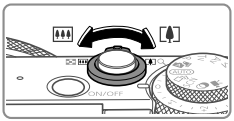


2 [AUTO] モードにする

- モードダイヤルを［AUTO］にします。
- カメラを被写体に向けると、シーンを判別するため動作音（カチカチ）がします。
- 画面の左上にカメラが判別したシーンと手ブレ補正のアイコンが表示されます（📖55、📖58）。
- 被写体が検出されたときは、枠が表示されてピントを合わせます。

3 撮りたいものの大きさを決める

- ズームレバーを［🔔］側に押すと撮りたいものが大きくなり、［▮▮▮］側に押すと小さくなります（ズームの位置を示すズームバー (1) と、ピントの合う範囲 (2) が表示されます）。

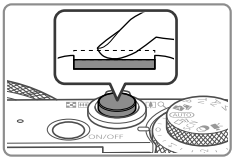


(1)

(2)

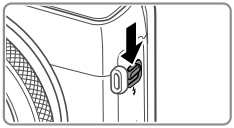
4 撮影する

静止画を撮る

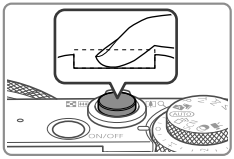


1）ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと電子音が「ピピッ」と 2 回鳴り、ピントが合った位置に AF フレームが表示されます。
- 複数の AF フレームが表示されたときは、表示されたすべての AF フレームにピントが合っています。

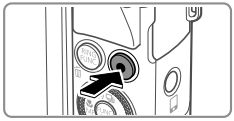


- [ストロボを上げてください] のメッセージが表示されたときは、[ϟ] スイッチを動かして、ストロボを上げてください。撮影時にストロボが光ります。ストロボを指で押し下げて収納すると、ストロボは光りません。



2）撮影する

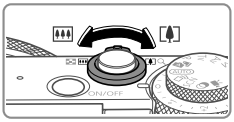
- シャッターボタンを全押しします。
- シャッター音が鳴り、撮影されます（暗いところでストロボを上げているときは、自動的にストロボが光ります）。
- シャッター音が鳴っている間はカメラをしっかり持ってください。
- 撮影した画像が表示されたあと、撮影画面に戻ります。



動画を撮る

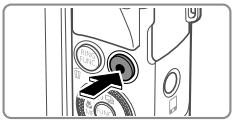
1) 撮影をはじめる

- 動画ボタンを押すと、電子音が「ピッ」と 1 回鳴って撮影がはじまり、[●録画]と撮影時間 (1) が表示されます。
- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影できません。
- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントを合わせます。
- 撮影が始まったら動画ボタンから指を放します。



2) 撮りたいものの大きさを変えたり、構図を変える

- 撮りたいものの大きさを変えるときは手順 3 と同じ操作で変えます。
  ただし、操作音は録音されます。また、倍率が青く表示されたときは画像が粗くなります。
- 撮影中に構図を変えると、ピント位置、明るさ、色あいが自動的に調整されます。



3) 撮影を終える

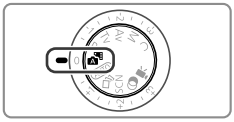
- もう一度動画ボタンを押すと、電子音が「ピピッ」と 2 回鳴り、撮影が終わります。
- カード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終わります。

- 静止画を撮影するときにストロボが光ったときは、主被写体と背景の色あいが最適になるように自動補正されます（マルチエリアホワイトバランス）。

プラスムービーオートモードで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

静止画を撮影するだけで、静止画が記録されると同時に撮影直前の約２～４秒のシーンも動画として記録され、１日をまとめた短編動画（ダイジェスト動画）ができます。



1 [🎥] モードにする

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順２（📖48）の操作で［🎥］を選びます。

2 構図を決める

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順３～４（📖48）の操作で構図を決めてピントを合わせます。
- 静止画を撮影する約４秒前からカメラを被写体に向けておくと、ダイジェスト動画もきれいに撮影できます。

3 撮影する

- 「オートモードで撮る（こだわりオート）」の手順４（📖48）の操作で静止画を撮影します。
- 静止画と動画が記録されます。動画の１シーンの最後に撮影した静止画がシャッター音と一緒に動画の一部としても記録され、１つのチャプターになります。

- 静止画と一緒にダイジェスト動画が撮影されるため、［AUTO］モードよりバッテリーの消耗が早くなります。
- 電源を入れたり［🎥］モードを選ぶなど、カメラを操作した直後に静止画を撮影したときは、ダイジェスト動画が記録されないことがあります。
- ダイジェスト動画には、カメラを操作したときの音と振動が記録されます。

- ダイジェスト動画の画質は、[HD 30P] に固定されます。
- シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音（265）は鳴りません。
- 次のときは、同じ日に [] モードで作成されたダイジェスト動画でも、別ファイルとして保存されます。
  - ダイジェスト動画の容量が約 4 GB になるか、記録時間が約 13 分 20 秒になったとき
  - ダイジェスト動画を保護したとき（197）
  - サマータイムの設定（20）やエリア設定（266）を変えたとき
  - フォルダが新しく作成されたとき（272）
- 記録されるシャッター音は、変えたり消すことはできません。
- 事前に設定すると、静止画なしのダイジェスト動画にすることもできます。MENU（40）で [] タブの［ダイジェスト形式］を選び、［静止画なし］を選んでください。
- チャプターを使って編集することもできます（218）。

ダイジェスト動画の再生について

[] モードで撮影した静止画を表示して同じ日に作成されたダイジェスト動画を再生したり、日付を選んで再生することができます（184）。

静止画／動画

- ［▼］を押したまま電源を入れると音が鳴らなくなります。音が鳴るようにするには、[MENU] ボタンを押して、[] タブの［消音］を選び、［◀］か［▶］を押して［しない］を選びます。

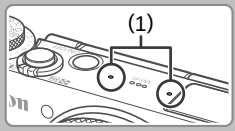
静止画

- [手ブレ]が点滅表示したときは手ブレしやすいため、カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
- ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。ストロボ撮影できる範囲については、「ストロボ調光範囲」(📖356)を参照してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、電子音が「ピッ」と１回鳴るときは、撮りたいものが近すぎる可能性があります。ピントが合う範囲(撮影範囲)は、「撮影距離」(📖357)を参照してください。
- 暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのためや人の目が赤く写るのを緩和するため、ランプ(前面)が点灯することがあります。
- 撮影しようとしたときに[ストロボ]が点滅表示したときは、ストロボ充電中のため撮影できません。充電が終わると撮影できますので、シャッターボタンを全押ししたまま待つか、一度シャッターボタンを放してもう一度押してください。
- 「寝顔」「赤ちゃん(寝顔)」のアイコン(📖55)が表示されているときは、撮影時にシャッター音は鳴りません。
- 撮影画面に戻る前でも次の撮影はできますが、ピント、明るさ、色あいは、直前の撮影に固定されることがあります。

- 撮影直後に画像が表示される時間を変えることができます(📖83)。

動画

- 動画撮影するときは、マイク (1) をふさがないよう注意してください。マイクをふさぐと音声が録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。



- 動画撮影中に動画ボタン以外を操作すると、操作音が録音されるので、注意してください。
- 大きな手ブレを補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。撮影前と同じ大きさで撮影したいときは、手ブレ補正の設定を変えてください (📖154)。

- 音声はステレオで録音されます。
- 風が強いときに発生する雑音はウィンドカット機能によって低減されますが、風がない場所で録音したときは、不自然な音になることがあります。このときは、MENU (📖40) で［📷］タブの［ウィンドカット］を選び、［切］を選んでください。

シーンのアイコン

▶ 静止画 ▶ 動画

[📷] [AUTO] モードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。また、シーンによっては連続撮影します（📖57）。

被写体	背景				
	通常	逆光	暗い*1	夕景	スポットライト
人	*2	*3		–	
人（動いているとき）	*3	*3	–	–	–
人（顔の一部が暗いとき）	*2	–	–	–	–
人（笑顔）	*3	*3	–	–	–
人（寝顔）	*2	*3	–	–	–
赤ちゃん	*3	*3	–	–	–
赤ちゃん（笑顔）	*3	*3	–	–	–
赤ちゃん（寝顔）	*2	*3	–	–	–
こども（動いているとき）	*3	*3	–	–	–
人以外	*2	*3			
人以外（動いているとき）	*3	*3	–	–	–
人以外（近いとき）	*2	*3	–	–	

*1 三脚使用時

*2 アイコンの背景は、シーンの背景が青空のときは水色、背景が暗いときは紺色、その他のときは灰色になります。

*3 アイコンの背景は、シーンの背景が青空のときは水色、その他のときは灰色になります。

- [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] の背景は紺色、[ ] の背景はオレンジ色です。
- 動画撮影中、「人」「人以外」「人以外（近いとき）」以外のアイコンは表示されません。

- [📷] モードで撮影中は、「人」「人（顔の一部が暗いとき）」「人以外」「人以外（近いとき）」以外のアイコンは表示されません。
- セルフタイマー撮影時、「人（動いているとき）」「人（笑顔）」「人（寝顔）」「赤ちゃん（笑顔）」「赤ちゃん（寝顔）」「こども（動いているとき）」「人以外（動いているとき）」のアイコンは、表示されません。
- ドライブモードを［🎞］以外に設定しているとき（📖57、📖65）や、［水銀灯自動補正］が［入］で自動補正されるシーン（📖77）では、「人（笑顔）」「人（寝顔）」「赤ちゃん（笑顔）」「赤ちゃん（寝顔）」「こども（動いているとき）」のアイコンは、表示されません。
- ストロボを［⚡A］に設定しているとき、逆光での「人（笑顔）」「こども（動いているとき）」は表示されません。
- 「赤ちゃん」「赤ちゃん（笑顔）」「赤ちゃん（寝顔）」「こども（動いているとき）」のアイコンは、［個人認証］を［入］にしていて、登録されている赤ちゃん（2歳未満）、こども（2歳以上12歳以下）の顔が検出されたときに表示されます（📖68）。なお、あらかじめ日付／時刻が正しく設定されていることを確認してください（📖20）。

> ⚠ ● 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコンが表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影できないことがあります。そのときは、［P］モード（📖119）で撮影することをおすすめします。

連続撮影されるシーン

次のシーンのアイコンが表示されているときに静止画を撮影すると、連続撮影されます。次のシーンのアイコンが表示されているときにシャッターボタンを半押しすると、連続撮影することを知らせる［☞］［▣］［▣］のいずれかが表示されます。

笑顔 （赤ちゃんを含む）	☞ 連続撮影した画像の中から、顔の表情などを検出して、カメラが最適と判断した 1 枚だけを保存します。
寝顔 （赤ちゃんを含む）	▣ 連続撮影した画像を合成することで、手ブレやノイズを軽減して寝顔をきれいに撮影できます。 AF 補助光、ストロボは光りません。また、シャッター音は鳴りません。
こども	▣ 動き回るこどもでもシャッターチャンスを逃さずに撮影できるように、1 回の撮影で 3 枚の画像を連続撮影して保存します。

- シーンによっては、思いどおりの画像が保存されなかったり、思いどおりの効果が得られないことがあります。
- ピント、明るさ、色あいは、1 枚目の撮影で固定されます。

- ［▲］を押したあと［◀］か［▶］を押すか［⊛］ホイールを回して［□］を選ぶと、連続撮影されなくなります。

手ブレ補正アイコン

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定（マルチシーン IS）されます。また、[📷] [AUTO] モードでは以下のアイコンが表示されます。

	静止画を撮影するときの手ブレを補正（通常）
	静止画を流し撮りで撮るときのブレを補正（流し撮り）*
	マクロ撮影するときの手ブレを補正。また、動画撮影中は［ ］が表示され、動画のマクロ撮影に適した手ブレ補正を実施（ハイブリッド IS）
	動画を撮影するときの手ブレを補正し、歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレも補正（ダイナミック）
	動画を望遠にして撮影するときなどの、ゆっくりとした手ブレを補正（パワード）
	三脚などでカメラを固定したときは、手ブレ補正を停止。ただし、動画撮影中は［ ］が表示され、風などによる振動の影響を低減するブレ補正を実施（三脚 IS）

* 動く被写体をカメラで追いながら撮影（流し撮り）するときに表示されます。左右方向に動く被写体を追うと、上下方向の手ブレだけが補正されて、左右方向の補正は停止します。また、上下方向に動く被写体を追うと、左右方向の手ブレだけが補正されます。

- ［手ブレ補正］を［切］に設定（📖154）すると、手ブレが補正されなくなり、アイコンも表示されなくなります。
- ［📷］モードでは［ ］にはなりません。

画面に表示される枠

▶ 静止画 ▶ 動画

[AUTO] モードでは、カメラを被写体に向けて被写体を検出すると、画面上にいろいろな枠が表示されます。

- カメラを被写体に向けると主被写体として検出された顔やものには白の枠、その他の顔には灰色の枠が表示されて、一定の範囲で追尾しピントを合わせ続けます。ただし、被写体が動いていると判別したときは、灰色の枠が消えて、白の枠だけになります。
- シャッターボタンを半押しした状態で被写体が動いていると判別したときは、青色の枠が表示されて、ピントと明るさを合わせ続けます（サーボ AF）。

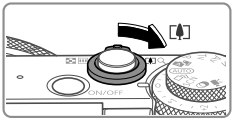
- 撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあります。そのときは、[**P**] モード（📖119）で撮影することをおすすめします。

- ピントを合わせたい被写体を選びたいときは、画面上の被写体にタッチして [ ] を表示します（タッチ AF）。シャッターボタンを半押しすると、青色の AF フレームが表示され、ピントと明るさを合わせ続けます（サーボ AF）。

■ 被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）

▶ 静止画　▶ 動画

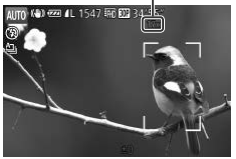
光学ズームで被写体が大きく撮れないときは、デジタルズームを使って最大約 17 倍まで拡大できます。



1 **ズームレバーを［🔊］側に押す**

- ズームできるところまでレバーを押したままにします。
- 画像の粗さが目立たない最大の倍率になるとズームが止まり、ズーム倍率が表示されます。

(1)



2 **もう一度［🔊］側に押す**

- さらにズームして、被写体が拡大されます。
- (1) は現在の倍率です。

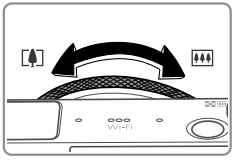
- ズームレバーを操作するとズーム位置を示すズームバーが表示されて、バーの色はズーム領域によって変わります。
  - 白の領域：画像が粗くならない光学ズーム領域
  - 黄色の領域：画像の粗さが目立たないデジタルズーム領域（プログレッシブファインズーム）
  - 青色の領域：画像が粗くなるデジタルズーム領域
- 設定した記録画素数（📖76）によっては青色の領域がないため、手順 1 の操作で最大倍率までズームできます。

- デジタルズームを使わないようにするには、MENU（📖40）で［📷］タブの［デジタルズーム］を選び、［切］を選びます。

焦点距離を指定して撮る（ステップズーム）

▶ 静止画　▶ 動画

35mm フィルム換算で 24 mm / 28 mm / 35 mm / 50 mm / 85 mm / 100 mm に焦点距離を指定できます。選んだ焦点距離の画角にして撮影したいときに便利です。



- [ ] リングを反時計回りにカチッと音がするまで回すと、24 mm から 28 mm に変わります。さらに [ ] リングを回してカチッと音がするごとに 35 mm、50 mm、85 mm、100 mm に設定されます。

- 動画の撮影中に [ ] リングを回しても、ステップズームは動作しません。

- デジタルズーム（60）の領域では、[ ] リングを反時計回りに回してもデジタルズームの倍率は変えられません。ただし、[ ] リングを時計回りに回すと焦点距離は 100 mm になります。

セルフタイマーを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

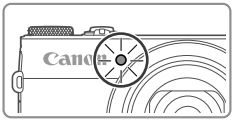
集合写真などで撮影する人も一緒に写るときは、シャッターボタンを押してから約 10 秒後に撮影されるセルフタイマーを使って撮影します。

1 設定する

- [FUNC.SET] を押して、メニュー項目の [⏲OFF] を選んだあと、項目の [⏲10] を選びます (📖38)。
- 設定されると [⏲10] が表示されます。

2 撮影する

- 静止画を撮影するときは、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを全押しします。
- 動画を撮影するときは、動画ボタンを押します。



- タイマーがはじまるとランプ（前面）が点滅して、電子音が鳴ります。
- 撮影の 2 秒前になると、ランプ（前面）の点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、[MENU] ボタンを押します。
- 戻すときは、手順 1 の操作で [⏲OFF] を選びます。

セルフタイマーを使って手ブレを防ぐ

▶ 静止画　▶ 動画

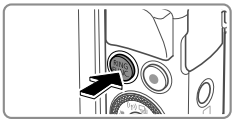
シャッターボタンを押してから約 2 秒後に撮影するため、シャッターボタンを押すときのカメラのブレを防ぐことができます。

- 「セルフタイマーを使う」の手順 1（📖62）の操作で［⏲2］を選びます。
- 設定されると［⏲2］が表示されます。
- 「セルフタイマーを使う」の手順 2（📖62）の操作で撮影します。

セルフタイマーの時間と撮影枚数を変える

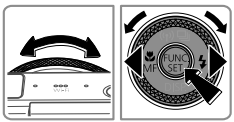
▶ 静止画　▶ 動画

撮影されるまでのタイマー時間（0 – 30 秒）と、撮影枚数（1 – 10 枚）を設定できます。



1 ［⏲C］を選ぶ

- 「セルフタイマーを使う」の手順 1（📖62）の操作で［⏲C］を選び、［RING FUNC.］ボタンを押します。



2 設定する

- ［◐］リングを回して［時間］を選び、［◀］か［▶］を押すか［◉］ホイールを回して［枚数］を選び、［FUNC. SET］を押します。
- 設定されると［⏲C］が表示されます。
- 「セルフタイマーを使う」の手順 2（📖62）の操作で撮影します。

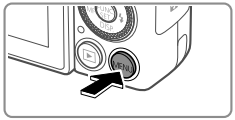
- 動画ボタンを押して撮影したときは、設定した［時間］で撮影がはじまりますが、［枚数］は反映されません。

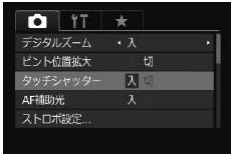
- 撮影枚数を 2 枚以上にしたときは、明るさや色あいは 1 枚目の撮影で固定されます。また、ストロボが光るときや撮影枚数が多いときは撮影間隔が長くなったり、カード容量がいっぱいになると自動的に撮影が終わります。
- タイマー時間を 2 秒以上にしたときは、撮影の 2 秒前にランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなります。

■画面をタッチして撮る（タッチシャッター）

▶ 静止画　▶ 動画

シャッターボタンを押す代わりに、画面をタッチするだけで被写体にピントと明るさを合わせ、かんたんに撮影することができます。





1 タッチシャッター機能を使えるようにする

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの［タッチシャッター］を選び、［入］を選びます（🕮40）。

2 撮影する

- 画面上の被写体を指で触れ、すぐに指を放します。
- シャッター音が鳴り撮影されます。
- タッチシャッターを使わないようにするときは、手順 1 の操作で [切] を選びます。

- 撮影した画像が表示されている状態でも、[↩] をタッチすると、次の撮影ができます。

連続して撮る

▶ 静止画　▶ 動画

［AUTO］モードでは、シャッターボタンを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。
連続撮影の速度は「連続撮影の速さ」（📖357）を参照してください。

1 設定する

- ［▲］を押したあと、［◀］か［▶］を押すか［◉］ホイールを回して項目の［⧉］を選び、［FUNC./SET］を押します。
- 設定されると［⧉］が表示されます。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。

- 連続撮影中はシャッターボタンを半押ししたときのピント位置と露出で固定されます。
- セルフタイマー（📖62）とは一緒に使えません。
- 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- マルチエリアホワイトバランス（📖48）は動作しません。また、［水銀灯自動補正］（📖77）は［切］に固定されます。
- タッチシャッター機能（📖64）では、画面に触れている間、連続撮影されます。連続撮影中は 1 枚目のピント位置と露出で固定されます。

再生したときの表示について

1 回に連続撮影された複数の画像は 1 つのグループにまとめられ（グループ化）、連続撮影の最初に撮影された画像のみが表示されます。また、この画像にはグループ化されていることを示す［SET］が画面左上に表示されます。

- グループ化された画像を消す（📖201）と、グループ内のすべての画像が消されますので十分注意してください。

- グループ化された画像を 1 枚ずつ見たり（📖189）、グループ化を解除できます（📖189）。
- グループ化された画像を保護（📖197）すると、グループ内のすべての画像が保護されます。
- 画像の検索（📖185）や連想再生（📖195）で、グループ化された画像を表示すると、グループ化が一時的に解除されて 1 枚ずつの表示になります。
- グループ化された画像は、個人認証情報の編集（📖191）、拡大（📖193）、お気に入り設定（📖206）、編集（📖210）、印刷（📖293）、1 枚ずつの印刷指定（📖301）、フォトブック指定（📖304）はできません。グループ化された画像を 1 枚表示（📖189）にするか、グループ化を解除（📖189）してから行ってください。

個人認証機能を使って撮る

カメラに登録した人の顔を検出して、他の人よりも優先的なピント合わせ、明るさ、色あいで撮影できます。[AUTO] モードでは、登録した誕生日から赤ちゃんやこどもを判別し、最適な設定で撮影することができます。
また、撮影した多くの画像の中から登録した人の画像を検索するとき（🕮186）にも便利です。

個人情報について

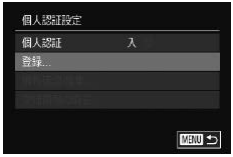
- 個人認証機能で登録した顔の画像（顔情報）や、設定した個人情報（名前、誕生日）は、カメラに記録されます。また、撮影した静止画には、検出された人の名前が記録されます。そのため個人認証機能を設定したあとは、カメラや撮影した静止画を他人に渡したり、撮影した静止画をインターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。
- 個人認証機能で顔の登録、名前、誕生日を設定しているカメラを譲渡や廃棄するときは、すべての登録情報を削除（🕮74）してください。

人物情報を登録する

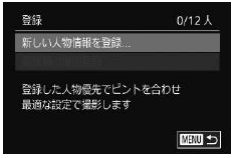
カメラに登録する人の人物情報（顔情報、名前、誕生日）を、最大 12 人まで登録することができます。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの［個人認証設定］を選び、[(SET)] を押します（📖40）。



- [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して［登録］を選び、[(SET)] を押します。



- [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して［新しい人物情報を登録］を選び、[(SET)] を押します。

2 顔情報を登録する

- 登録したい人の顔を、画面中央に表示される灰色の枠の中に収めます。
- 顔として認識されると枠が白くなりますので、この状態になったことを確認して撮影します。
- 顔として認識されないときは、登録できません。

- [登録しますか?] が表示されたら [◀] か [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して [OK] を選び、[(FUNC SET)] を押します。
- [プロフィール編集] 画面が表示されます。

3 名前と誕生日を登録する

- [(FUNC SET)] を押してキーボードを表示し、名前を入力します (📖42)。

- 誕生日を登録するときは、[プロフィール編集] 画面で [▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回して [誕生日] を選び、[(FUNC SET)] を押します。
- [◀] か [▶] を押して項目を選びます。
- [▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回して設定します。
- すべての項目を設定したら、[(FUNC SET)] を押します。

4 登録する

- [▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回して [保存] を選び、[(FUNC SET)] を押します。
- メッセージが表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して [はい] を選び、[(FUNC SET)] を押します。

5 続けて顔情報を登録する

- 手順 2 の操作を繰り返して、残り 4 つの顔情報を登録します。
- 顔情報は正面以外にも、笑顔、少し横を向いたときの顔を、屋内や屋外など撮影条件を変えて登録することで検出されやすくなります。

- 手順２の操作で撮影したときは、ストロボは光りません。
- 手順３で誕生日を登録しないと、[AUTO] モードのときに赤ちゃんやこどものアイコンは表示されません（📖55）。

- 登録されている顔情報を入れ換えたり、５つの顔情報を登録していないときは、あとで追加することができます（📖68）。

撮る

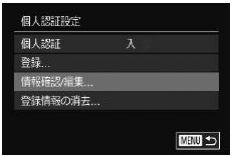
カメラに登録した人の顔を優先的に主被写体と判断して、最適なピント合わせ、明るさ、色あいで撮影できます。

- カメラを人に向けると、検出された人の名前が最大３人まで画面に表示されます。
- 撮影します。
- 表示された人の名前が、静止画に記録されます。さらに画面に表示されていない人でも、検出されると名前が記録されます（合計５人まで）。

- 登録した顔と特徴が似ている顔を、誤って検出することがあります。

- 登録したときの顔情報と撮影したときの顔や撮影シーンが大きく違うときは、正しく検出されないことがあります。
- 登録した顔が検出されないときや、検出されにくいときは、登録されている顔情報を入れ換えてください。撮影する直前に顔情報を登録すると検出されやすくなります。
- 誤って検出されたまま撮影したときは、再生時に名前を入れ換えたり消したりすることができます（🕮191、🕮192）。
- 赤ちゃんやこどもは成長とともに顔が変わるため、定期的な顔情報の入れ換えをおすすめします（🕮68）。
- [📷] タブの［情報表示設定］（🕮169）で［撮影情報］の［✓］を外すと、名前は表示されませんが、撮影される画像には名前が記録されます。
- 記録される静止画に名前を記録したくないときは、[📷] タブの［個人認証設定］の［個人認証］を［切］にします。
- 記録された名前は、再生画面（簡易情報表示）で確認することができます（🕮181）。
- [🌄] モードでは、名前は撮影画面に表示されませんが、静止画には記録されます。
- 連続撮影（🕮65、🕮146）すると、名前は 1 枚目に記録された位置に固定されます。被写体が動いても、2 枚目以降も 1 枚目と同じ位置に記録されます。

登録した情報を確認／編集する



1 ［情報確認 / 編集］画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順 1（🕮68）の操作で［情報確認 / 編集］を選び、[(FUNC/SET)] を押します。

2 確認／編集する人を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [◉] ホイールを回して確認／編集したい人を選び、[(FUNC/SET)] を押します。

3 確認／編集する

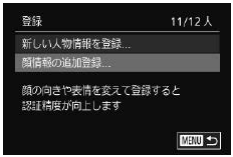
- 名前や誕生日を確認するときは、[▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して [プロフィール編集] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。表示された画面では、「人物情報を登録する」の手順 3（🕮68）の操作で名前や誕生日を変えることもできます。
- 顔情報を確認するときは、[▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して [顔情報の一覧] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。表示された画面で [(FUNC/SET)] を押したあと、[▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [◉] ホイールを回して顔情報を選び、[(FUNC/SET)] を押すと [消去しますか?] が表示されます。[◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [OK] を選んで [(FUNC/SET)] を押すと顔情報を消去できます。

- [プロフィール編集] で名前を変えても、変更前に撮影された静止画に記録されている名前には反映されません。

- 登録した名前は、ソフトウェア（🕮288）を使って編集することもできます。なお、ソフトウェアを使って入力した文字が、カメラで表示されないことがありますが、画像には正しく記録されます。

顔情報を入れ換え／追加する

新しい顔情報に入れ換えることができます。顔が検出されにくいときや、特に赤ちゃんやこどもは成長とともに顔が変わるため、定期的な顔情報の入れ換えをおすすめします。
また、顔情報を 5 つ登録していないときは、追加で顔情報を登録します。



1 [顔情報の追加登録] 画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順 1（🕮68）の操作で [顔情報の追加登録] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。

2 入れ換える人の名前を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [◉] ホイールを回して入れ換える人の名前を選び、[(FUNC/SET)] を押します。
- 5つの顔情報が登録されているときは、メッセージが表示されるので、[◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [OK] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。
- 登録されている顔情報が4つ以下のときは、手順4に進んで顔情報を追加します。

3 入れ換えたい顔情報を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [◉] ホイールを回して入れ換えたい顔情報を選び、[(FUNC/SET)] を押します。

4 顔情報を登録する

- 「人物情報を登録する」の手順2（📖68）の操作で撮影し、新しい顔情報を登録します。
- 顔情報は正面以外にも、笑顔、少し横を向いたときの顔を、屋内や屋外など撮影条件を変えて登録することで検出されやすくなります。

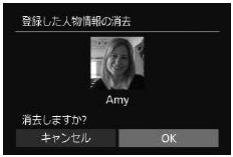
- 顔情報が5つ登録されているときは、追加はできません。上記の操作で顔情報を入れ換えてください。
- 登録している顔情報が4つ以下のときは、上記の操作であらたに顔情報を登録はできますが、入れ換えはできません。いったん顔情報を消して（📖71）から、新しい顔情報を登録（📖68）してください。

登録した情報を消す

カメラに登録した人物情報（顔情報、名前、誕生日）を消すことができます。なお、撮影した画像に記録されている名前は消えません。

1 ［登録情報の消去］画面を表示する

- 「人物情報を登録する」の手順1（📖68）の操作で［登録情報の消去］を選びます。



2 人物情報を消す人の名前を選ぶ

- ［▲］［▼］［◀］［▶］を押すか［⊛］ホイールを回して人物情報を消す人の名前を選び、［FUNC/SET］を押します。
- ［消去しますか?］が表示されたら、［◀］か［▶］を押すか［⊛］ホイールを回して［OK］を選び、［FUNC/SET］を押します。

- 登録情報を消すと、名前の表示（📖184）や、入れ換え（📖191）、検索（📖186）はできなくなります。

- 画像に記録された名前を消すこともできます（📖192）。

縦横比（アスペクト比）を変える

▶ 静止画　▶ 動画

画像の縦横の比率を変えられます。

- [FUNC SET] を押して、メニュー項目の [3:2] を選んだあと、目的の項目を選びます（📖38）。
- 設定されると画面の縦横比が変わります。
- 戻すときは、上記の操作で [3:2] を選びます。

16:9	HD（ハイビジョン）対応テレビなどのワイド画面へ表示するときに適しています。
3:2	このカメラの画面と同じ縦横比です。35mm フィルムと同じ縦横比です。2L 判、はがきなどでの印刷に適しています。
4:3	HD（ハイビジョン）非対応テレビなどの画面へ表示するときや、L 判、A 判などでの印刷に適しています。
1:1	正方形です。
4:5	肖像画などによく見られる縦横比です。

- [ ] リングを回して縦横比を変えるようにも設定できます（📖165）。
- [ ] モードでは設定できません。

記録画素数（画像の大きさ）を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の記録画素数を 4 種類から選べます。それぞれの記録画素数で 1 枚のカードに撮影できる枚数については「1 枚のカードに撮影できる枚数」（📖355）を参照してください。

- [㊗] を押して、メニュー項目の [L] を選び、目的の項目を選びます（📖38）。
- 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で［L］を選びます。

用紙の大きさで選ぶときの目安（縦横比 3:2 のとき）

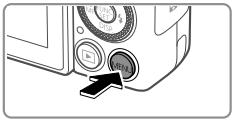
L	A2 相当
M1	A3 ～ A5 相当
M2	2L 判、はがき、L 判相当
S	電子メールで画像を送るときなど

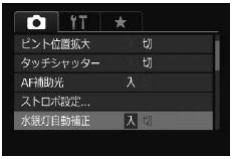
- ［🖼］モードでは設定できません。

水銀灯で緑がかった部分を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

[AUTO] モードでは、水銀灯の灯りの影響を受ける夜景シーンなどを撮影すると、撮影した画像の被写体や背景全体が緑がかってしまうことがあります。この緑がかることを撮影時に自動補正することができます（マルチエリアホワイトバランス）。





- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの［水銀灯自動補正］を選んだあと、[入] を選びます（📖40）。
- 設定されると［🖧］が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で［切］を選びます。

- 水銀灯の灯りの影響を受けるシーンでの撮影が終わったあとは、［水銀灯自動補正］を［切］に戻すことをおすすめします。[入] のままにしておくと、水銀灯の影響ではない緑がかった色が誤って補正されることがあります。

- シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがあるので、事前に試し撮りをすることをおすすめします。
- 連続撮影（📖65）では［切］に固定されます。

動画の画質を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

4 種類の画質から選べます。それぞれの画質で 1 枚のカードに撮影できる時間については「1 枚のカードに撮影できる時間」(📖356) を参照してください。

- [FUNC.SET] を押して、メニュー項目の [FHD 30P] を選んだあと、目的の項目を選びます (📖38)。
- 設定した項目が表示されます。
- 戻すときは、上記の操作で [FHD 30P] を選びます。

画質	記録画素数	フレーム数	内容
FHD 60P	1920 x 1080 画素	60 フレーム / 秒	Full HD（フルハイビジョン）画質で撮影できます。[FHD 60P] では、よりなめらかな動画を撮影できます。
FHD 30P	1920 x 1080 画素	30 フレーム / 秒	
HD 30P	1280 x 720 画素	30 フレーム / 秒	HD（ハイビジョン）画質で撮影できます。
VGA 30P	640 x 480 画素	30 フレーム / 秒	SD（スタンダード）画質で撮影できます。

- [FHD 60P] [FHD 30P] [HD 30P] では画面の上下に、[VGA 30P] では画面の左右に黒帯が表示されます。この部分は撮影できません。

■ 水準器を使う（デュアルアクシス電子水準器）

▶ 静止画　▶ 動画

カメラの前後（あおり）と左右（水平）の傾きを確認するための目安となる水準器を表示することができます。

1 水準器を表示する

- [▼]を何回か押して水準器を表示します。

2 カメラの傾きを調整する

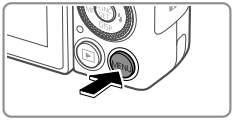
- (1) は前後方向、(2) は左右方向の傾きを表しています。
- 赤い線が緑色に変わるようにカメラを動かして調整します。

- 手順 1 で水準器が表示されないときは、[MENU] ボタンを押して［📷］タブの［情報表示設定］で、［📷］または［📷］の水準器に［✓］をつけてください。
- 動画撮影中は水準器が表示されません。
- カメラを縦位置で構えると、水準器の向きが変わります。
- 水準器を使っても傾きが気になるときは、水準器を調整します（📖272）。
- ［📷］モードでは設定できません。

ピント位置を拡大表示する

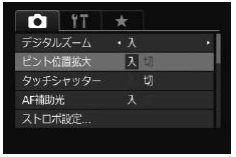
▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを半押ししたときに、AF フレーム（ピント合わせの枠）の位置を拡大表示してピントを確認することができます。



1 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの［ピント位置拡大］を選び、［入］を選びます（📖40）。



2 ピントを確認する

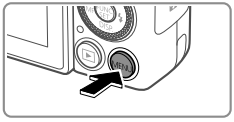
- シャッターボタンを半押しすると、主被写体として検出された顔が、拡大表示されます。
- 戻すときは、手順 1 の操作で［切］を選びます。

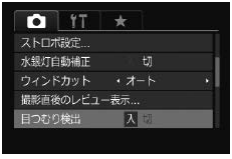
- 次のときはシャッターボタンを半押ししても拡大表示されません。
  - 顔が検出できないとき、顔がカメラに近すぎて画面に対して大きく表示されているとき、顔が動いていると判別されたとき
  - デジタルズーム（📖60）をしているとき
  - テレビに表示しているとき（📖283）
- [📷] モードでは設定できません。

目をつむった人を確認する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影時に目をつむった可能性のある人を検出したときは、[🙂] を表示してお知らせします。





1 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの［目つむり検出］を選び、［入］を選びます（📖40）。

2 撮影する

- 目をつむった人を検出したときは、[🙂] が点滅表示されます。
- 戻すときは、手順 1 の操作で［切］を選びます。

- [🔇] で撮影枚数を 2 枚以上に設定したときは、最後に撮影した画像でのみ動作します。
- ［表示時間］を［2 秒］、［4 秒］、［8 秒］、または［ホールド］にしているとき（📖83）は、目をつむった人の顔に枠が表示されます。
- [AI] で連続撮影されたとき（📖57）は、動作しません。
- 連続撮影（📖65、📖146）を設定すると［切］固定になります。

自分好みに機能を変える

MENU の［📷］タブで、カメラの撮影機能を好みの設定に変えることができます。
なお、メニュー機能の操作方法は、「MENU（メニュー）の表示と操作方法」（📖40）を参照してください。

AF 補助光（ランプ）を切る

▶ 静止画 ▶ 動画

暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピントを合わせるためにランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。

- ［MENU］ボタンを押して、［📷］タブの［AF 補助光］を選び、［切］を選びます（📖40）。
- 戻すときは、上記の操作で［入］を選びます。

赤目緩和機能（ランプ）を切る

▶ 静止画 ▶ 動画

暗いところでのストロボ撮影では、人の目が赤く撮影されることを緩和するため、ランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。

1 ［ストロボ設定］画面を表示する

- ［MENU］ボタンを押して、［📷］タブの［ストロボ設定］を選び、［㊗］を押します（📖40）。

2 設定する

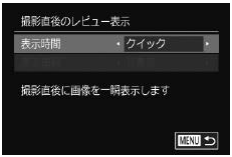
- ［赤目緩和ランプ］を選んでから、［切］を選びます（📖40）。
- 戻すときは、上記の操作で［入］を選びます。

撮影直後の画面表示を変える

▶ 静止画　▶ 動画

撮影直後に画像が表示される時間を変えたり、画面の表示を変えることができます。

撮影直後の画像表示時間を変える



1 ［撮影直後のレビュー表示］画面を表示する

- ［MENU］ボタンを押して、［📷］タブの［撮影直後のレビュー表示］を選び、［SET］を押します（📖40）。

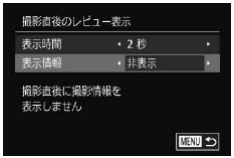
2 設定する

- ［▲］か［▼］を押すか［🎛］ホイールを回して［表示時間］を選び、［◀］か［▶］を押して、目的の項目を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で［クイック］を選びます。

クイック	次の撮影ができるようになるまでの間だけ画像を表示します。
2秒、4秒、8秒	設定した時間だけ画像を表示します。画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影ができます。
ホールド	シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。
切	画像は表示されません。

撮影直後に表示される画面を変える

撮影直後の画像表示を変えることができます。



1 **［表示時間］を［2 秒］、［4 秒］、［8 秒］または［ホールド］にする（🕮83）**

2 **設定する**

- ［▲］か［▼］を押すか［ ］ホイールを回して［表示情報］を選び、［◀］か［▶］を押して、目的の項目を選びます。
- 戻すときは、上記の操作で［非表示］を選びます。

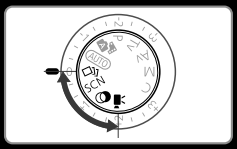
非表示	撮影した画像だけを表示します。
詳細表示	詳細情報表示（🕮321）になります。

- ［表示時間］（🕮83）で［クイック］または［切］を選んでいるときは、［非表示］に固定されます。
- 撮影直後に画像が表示されているときに［▼］を押すと、表示情報を切り換えられます。ただし、［表示情報］で設定した内容は変わりません。また、［ ］ボタンを押して画像を消すことができます。

3

いろいろな撮影モード

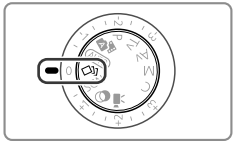
いろいろなシーンをより効果的に撮ったり、ユニークな効果や特殊な機能で演出された画像を撮る



多彩な写真を撮る（クリエイティブショット）

▶ 静止画　▶ 動画

カメラが被写体や撮影状況を判別して、自動で効果をつけたり被写体を切り出して、1 回の撮影で 6 枚の静止画を記録します。カメラまかせで多彩な静止画を撮ることができます。



1 ［🎨］モードにする

- モードダイヤルを［🎨］にします。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、シャッター音が 3 回鳴って撮影されます。
- 6 枚の画像が順番に表示されたあと、すべての画像が約 2 秒間表示されます。
- 画像の表示中に［FUNC/SET］を押すと、シャッターボタンを半押しするまで画像が表示されるようになります。この状態で［▲］［▼］［◀］［▶］を押すか［◉］ホイールを回して画像を選び［FUNC/SET］を押すと、選んだ画像が画面いっぱいに表示されます。
- ［MENU］ボタンを押すともとの表示に戻ります。

- ストロボが発光するときは撮影に時間がかかりますが、3 回シャッター音が鳴るまでカメラを構え続けてください。
- 撮影した 6 枚の画像はグループ化（📖189）されます。
- 6 枚の画像が手順 2 のような並びで表示されるのは、撮影直後だけです。

効果を選ぶ

▶ **静止画** ▶ 動画

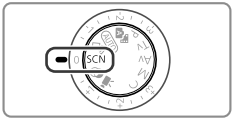
［🎨］モードで記録する画像の効果を選ぶことができます。

- ［🎨］モードを選んだあと、［◉］リングを回して効果を選びます。

オート	すべての効果
レトロ	古い写真のような雰囲気の効果
モノクロ	単色の効果
スペシャル	特殊で大胆な効果
ナチュラル	自然な印象の抑えめな効果

いろいろなシーンで撮る

撮影シーンにあったモードを選ぶと、最適な撮影ができるようにカメラが自動的に設定を行います。



1 [SCN] モードにする

- モードダイヤルを［**SCN**］にします。

2 撮影モードを選ぶ

- ［(SET)］を押してメニュー項目の［🚶］を選び、撮影モードを選びます（📖38）。

3 撮影する

🚶 人を撮る（ポートレート）
▶ 静止画 ▶ 動画

- 人をやわらかい感じで撮影できます。

三脚を使わずに夜景を撮る（手持ち夜景）
▶ 静止画 ▶ 動画

- 三脚などでカメラを固定しなくても夜景や夜景を背景にした人をきれいに撮影できます。
- 連続撮影した画像を 1 枚に合成することで、手ブレやノイズが軽減されます。

水中で撮る（水中）

▶ 静止画　▶ 動画

- ウォータープルーフケース（別売）（📖281）を使って、水中にいる生き物や海中の景色などを、自然な色あいで撮影できます。
- ホワイトバランスを補正して、市販の色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます（📖91）。

雪景色で撮る（スノー）

▶ 静止画　▶ 動画

- 雪景色を背景に、人を明るく自然な色あいで撮影できます。

花火を撮る（打上げ花火）

▶ 静止画　▶ 動画

- 打上げ花火を色鮮やかに撮影できます。

- [📷] モードでは、他のモードに比べて被写体が大きく表示されます。
- [📷] [水中] モードでは、撮影シーンによってはISO感度（📖123）が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
- [📷] モードでは連続撮影するため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- [📷] モードでは、ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。
- [花火] モードでは手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします（📖154）。

- 三脚を使って夜景を撮影するときは、[🌃] モードではなく、[AUTO] モードで撮影することをおすすめします（📖48）。
- [▒] モードでは、最適なピント位置に設定されますが、シャッターボタンを半押ししても枠は表示されません。

■ 水中撮影の機能を使う

水中専用のフォーカスゾーンで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

[🐠] モード（📖88）のときに、フォーカスゾーンが [▲] でピントが合いにくいときは、水中専用のフォーカスゾーンにあわせると水中で最適な撮影ができます。

1 設定する

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（📖88）の操作で [🐠] を選びます。
- [◀] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して目的のフォーカスゾーンを選び、[(SET)] を押します。

2 撮影する

フォーカスゾーン		説明
🐠	水中マクロ	水中にいる生き物などに近づき、デジタルズームを使うことでさらに拡大して撮影することができます。
📷	クイック	シャッターチャンスを逃さずに、水中で少し離れた被写体を撮影することができます。特に、動き回る被写体を撮影するときに有効です。
MF	マニュアルフォーカス	手動でピントを合わせることができます（📖135）。

各フォーカスゾーンのピントが合う範囲は、「撮影距離」（📖357）を参照してください。

- [🌄]を選ぶと、光学ズーム位置はもっとも広角になり固定されます。
- [🌄]では、デジタルズームを使うと、記録画素数（📖76）によっては画像が粗くなることがあります。
- [🌷]では、被写体が近いときにピントが合わないことがあります。このときは、フォーカスゾーンを[🏔]に設定してください。

- [◀]を押したあと、目的のフォーカスゾーンをタッチして選び、もう一度タッチすることでも設定できます。

ホワイトバランスを補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

[🎇]モード（📖88）のときにホワイトバランスを手動で補正することができます。この機能を使うと、市販の色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます。

1 [🎇]を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（📖88）の操作で[🎇]を選びます。

2 ホワイトバランスを選ぶ

- [FUNC/SET]を押して、メニュー項目の[AWB]を選びます。

3 補正する

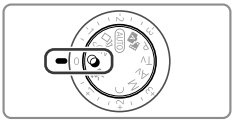
- [◉]リングを回してBとAの補正量を調整し、[FUNC/SET]を押します。
- 画面に[WB]が表示されます。

- 補正量を設定したあとに手順 2 でホワイトバランスの項目を変えても、補正量はそのまま保持されますが、マニュアルホワイトバランスで白データを取り込むと初期設定に戻ります。

- Bはブルー、Aはアンバーの意味です。
- マニュアルホワイトバランス（📖130）で白データを取り込んだあとに、上記の操作でホワイトバランスを補正することもできます。

効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）

いろいろな効果をつけて撮影することができます。



1 ［◎］モードにする

- モードダイヤルを［◎］にします。

2 撮影モードを選ぶ

- ［FUNC./SET］を押してメニュー項目の［HDR］を選び、撮影モードを選びます（📖38）。

3 撮影する

鮮烈な色で撮る（極彩色）

▶ 静止画　▶ 動画

- 色の濃さを強調して、高彩度の鮮烈な色で撮影できます。

イラスト風の効果をつけて撮る（オールドポスター）

▶ 静止画　▶ 動画

- 古いポスターのようなイラスト風の効果をつけて撮影できます。

- ［ ］［ ］モードでは、撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

明暗差の大きいシーンで撮る（ハイダイナミックレンジ）

▶ 静止画　▶ 動画

明るさの異なる３枚の画像を連続撮影し、明るさが適切な部分を合成して１枚の画像にします。明暗差の大きい風景などでの白トビや黒ツブレをおさえることができます。

1 [HDR] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順１～２（📖92）の操作で [HDR] を選びます。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、３枚連続して撮影されたあと、画像が合成されるため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。

- ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。

- 手ブレが大きくてうまく撮影できないときは、三脚などでカメラが動かないように固定することをおすすめします。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします（📖154）。
- 被写体が動くとブレた画像になります。
- 撮影後に合成処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- 明るい撮影シーンでは、シャッターボタンを半押ししたときに [ND] が表示され、最適な明るさになるよう自動的に調整されることがあります。

効果をつける

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順1～2（92）の操作で［HDR］を選びます。
- ［ ］リングを回して効果を選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

ナチュラル	自然な印象で撮影できます。
絵画調標準	コントラストをおさえて絵画のように撮影できます。
グラフィック調	鮮やかなグラフィックアートのように撮影できます。
油彩調	輪郭を強調し、鮮やかな油絵のように撮影できます。
ビンテージ調	輪郭を強調し、暗い感じにすることで、古い写真のように撮影できます。

■ 色あせた写真のような色調で撮る（ノスタルジック）

▶ 静止画　▶ 動画

画像の色を薄くしたり、粗くしたりすることにより、長い年月が経過したような写真にすることができます。効果は、5 段階から選べます。

1 [ ] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1 ～ 2（📖92）の操作で［ ］を選びます。

2 効果を選ぶ

- [ ] リングを回して効果を選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する

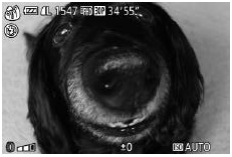
- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

- 撮影画面では、色調は変わりますが、粗さは表示されません。画像の粗さを確認するときは、再生して確認してください（📖178）。
- 動画では画像の粗さは変わりません。

魚眼レンズのような効果をつけて撮る（魚眼風）

▶ 静止画 ▶ 動画

魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影します。



1 [ ]を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順1～2（92）の操作で［ ］を選びます。

2 効果を選ぶ

- [ ]リングを回して効果のレベルを選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する

- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）

▶ 静止画　▶ 動画

指定した範囲の上下をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影します。
また、「再生時の速さ」を選んで動画を撮影すると、再生時には風景の中の人やものが早送りで動くので、ミニチュア模型のように見えます。なお、音声は録音されません。

1 [🏙] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1 ～ 2（📖92）の操作で［🏙］を選びます。
- 画面に白い枠（ぼかさない範囲）が表示されます。

2 ピントの合う範囲と位置を指定する

- ［▼］を押します。
- ズームレバーを動かして枠の大きさを変えたり、［◉］ホイールを回して枠の位置を変えます。

3 動画を撮るときは再生時の速さを選ぶ

- ［◉］リングを回して倍速（速さ）を選びます。

4 撮影画面に戻り、撮影する

- ［FUNC/SET］を押して撮影画面に戻り、撮影します。

倍速と再生時間の目安（動画を 1 分間撮影したとき）

倍速	再生時間
5x	約 12 秒
10x	約 6 秒
20x	約 3 秒

- 動画の撮影中は、ズームできません。撮影前に倍率を変えてください。
- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

- 手順 2 の画面で［◀］か［▶］を押すと枠が縦になります。［▲］か［▼］を押すと枠が横に戻ります。
- 枠が横のときは［▲］か［▼］、枠が縦のときは［◀］か［▶］を押して、枠の位置を変えます。
- カメラを縦位置で構えると、枠の向きが変わります。
- 動画の画質は、縦横比で［4:3］を選んだときは［VGA］に、［16:9］を選んだときは［HD］に固定されます（📖75）。

- 画面をタッチしたりドラッグして枠の位置を変えることもできます。

トイカメラのような効果をつけて撮る（トイカメラ風）

▶ 静止画　▷ 動画

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。

1 [📷] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1 ～ 2（📖92）の操作で［📷］を選びます。

2 色調を選ぶ

- ［◎］リングを回して色調を選びます。
- 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

標準	トイカメラ風の画像になります。
暖色	［標準］より暖色系のトイカメラ風画像になります。
寒色	［標準］より寒色系のトイカメラ風画像になります。

- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

被写体を浮き立たせて撮る（背景ぼかし）

▶ 静止画 ▶ 動画

背景をぼかして被写体を浮き立たせた画像を撮影することができます。背景ぼかしに適した設定で 2 枚の画像を連続撮影し、レンズ効果による背景ぼかしのほか、被写体や撮影シーンに応じて画像処理による背景ぼかしも行われます。

1 [🖼] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1 ～ 2（📖92）の操作で［🖼］を選びます。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると 2 枚連続して撮影されるため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- 画像処理が行われなかったときは、［🖼］が点滅表示されます。

- ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。

- 「被写体に近づく」「被写体と背景の距離を離す」とぼかし効果が得られやすくなります。
- 撮影後、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- ［🎛］リングを回して効果のレベルを選ぶことができます。

優しい雰囲気で撮る（ソフトフォーカス）

▶ 静止画　▶ 動画

ソフトフィルターを使ったような効果をつけて、優しい雰囲気の画像を撮影できます。効果の強さを設定できます。

1 [👤] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1 ～ 2（📖92）の操作で［👤］を選びます。

2 効果を選ぶ

- [◑] リングを回して効果のレベルを選びます。
- 設定した効果で画面が表示されます。

3 撮影する

- 撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

単色で撮る（モノクロ）

▶ 静止画　▶ 動画

画像を白黒、セピア調、青白にして撮影できます。

1 [◪] を選ぶ

- 「効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）」の手順 1 ～ 2（📖92）の操作で［◪］を選びます。

2 色調を選ぶ

- [◉] リングを回して色調を選びます。
- 設定した色調で画面が表示されます。

3 撮影する

白黒	白黒で撮影できます。
セピア	セピア調で撮影できます。
青	青白で撮影できます。

特殊なモードでいろいろな画像を撮る

■ 顔を見つけて撮る（オートシャッター）

▶ 静止画　▶ 動画

笑顔を見つけて撮る（スマイル）

▶ 静止画　▶ 動画

シャッターボタンを押さなくても、カメラが笑顔を検出するたびに、自動で撮影します。

1 [ ] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（88）の操作で［ ］を選んだあと、［▼］を押します。
- ［◀］か［▶］を押すか［ ］ホイールを回して［ ］を選び、［ ］を押します。
- 撮影準備に入り、［笑顔を検出中です］が表示されます。

2 カメラを人に向ける

- カメラが笑顔を検出するたびに、ランプ（前面）が光ったあと撮影されます。
- ［◀］を押すと笑顔の検出を中断できます。もう一度［◀］を押すと笑顔の検出を再開します。

- 笑顔を検出するたびに撮影し続けるので、撮影が終わったら、他の撮影モードに変えることをおすすめします。

- シャッターボタンを押して撮影することもできます。
- カメラの方を向いて、歯が見えるように口を開けて笑うと、笑顔が検出されやすくなります。
- 手順 1 で［ ］を選んだあと、［▲］か［▼］を押すと、撮影枚数を変えることができます。なお、［目つむり検出］（81）は、最後に撮影した画像でのみ動作します。

● 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（📖88）の操作で［📷］を選んだあと［DISP.］をタッチして設定画面を表示し、［🔄］をタッチしたあと、同じ項目か［SET］をタッチすることでも撮影モードを選べます。

ウインクしたら撮る（ウインクセルフタイマー）

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラを人に向けてシャッターボタンを押したあと、カメラがウインクを検出すると、約 2 秒後に撮影されます。

1 [😉] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（📖88）の操作で［📷］を選んだあと、[▼] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか［🎛］ホイールを回して［😉］を選び、［(FUNC/SET)］を押します。

2 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

- 画面の顔をタッチして、ウインクする人を選び（タッチ AF）、シャッターボタンを半押しします。
- ウインクする人の顔に緑色の枠が表示されていることを確認します。

3 シャッターボタンを全押しする

- 撮影準備に入り、[ウインクすると撮影します] が表示されます。
- ランプ（前面）が点滅し、電子音が鳴ります。

4 カメラに向かってウインクする

- 枠が表示された人のウインクが検出されると、約 2 秒後に撮影されます。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、[MENU] ボタンを押します。

- ウインクが検出されないときは、少し長めに、しっかりとウインクしてください。
- 帽子や髪で目が隠れていたり、眼鏡をかけていたりすると、ウインクが検出されないことがあります。
- 両目をつむってもウインクとして検出されます。
- ウインクが検出されないときは、約 15 秒後に撮影されます。
- 手順 1 で [ ] を選んだあと、[▲] か [▼] を押すと、撮影枚数を変えることができます。なお、[目つむり検出]（81）は、最後に撮影した画像でのみ動作します。
- 人がいない構図でシャッターボタンを全押ししたときは、あとから構図に入った人のウインクで撮影がはじまります。

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（88）の操作で [ ] を選んだあと [DISP.] をタッチして設定画面を表示し、[ ] をタッチしたあと、同じ項目か [SET] をタッチすることでも撮影モードを選べます。

人が増えたら撮る（顔セルフタイマー）

▶ 静止画　▶ 動画

シャッターボタンを押した人が構図に入って顔が検出（141）されると、約 2 秒後に撮影されます。集合写真などで撮影する人も一緒に写りたいときにおすすめです。

1 [ ] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（88）の操作で [ ] を選んだあと、[▼] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [ ] ホイールを回して [ ] を選び、[ ] を押します。

2 構図を決めてシャッターボタンを半押しする

- ピントが合った顔には緑色、それ以外の顔には白の枠が表示されていることを確認します。

3 シャッターボタンを全押しする

- 撮影準備に入り［顔が増えたら撮影します］が表示されます。
- ランプ（前面）が点滅し、電子音が鳴ります。

4 一緒に写る人が構図に入り顔をカメラに向ける

- 新しい顔が検出されると、ランプの点滅（ストロボ発光時は点灯）と電子音が速くなり、約 2 秒後に撮影されます。
- タイマーがはじまったあとに撮影を中止するときは、[MENU] ボタンを押します。

- 一緒に写る人が構図に入っても顔を検出できないときは、約 15 秒後に撮影されます。
- 手順 1 で［］を選んだあと、［▲］か［▼］を押すと撮影枚数を変えることができます。なお、［目つむり検出］（📖81）は、最後に撮影した画像でのみ動作します。

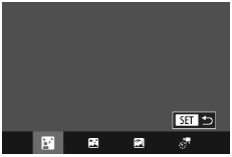
- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（📖88）の操作で［］を選んだあと［DISP.］をタッチして設定画面を表示し、［］をタッチしたあと、同じ項目か［SET］をタッチすることでも撮影モードを選べます。

星空を撮る（星空）

星空と人を一緒に撮る（星空ポートレート）

▶ 静止画 ▶ 動画

人と星空をきれいに撮影することができます。人をストロボ撮影したあと、続けてストロボを発光させずに 2 枚の画像が撮影されます。この 3 枚の画像を合成して星の光を強調処理することで、1 枚の画像として記録されます。
なお、ストロボ撮影できる範囲は「ストロボ調光範囲」（📖356）を参照してください。



1 [📷] を選ぶ

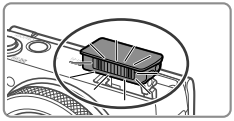
- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（📖88）の操作で［📷］を選んだあと、［▼］を押します。
- ［◀］か［▶］を押すか［⚙］ホイールを回して［📷］を選び、［FUNC/SET］を押します。
- ズーム位置がもっとも広角になり、固定されます。

2 ストロボを上げる

- ［⚡］スイッチを動かします。

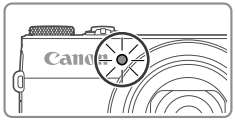
3 カメラを固定する

- 三脚などでカメラが動かないように固定します。



4 撮影する

- シャッターボタンを押すと、ストロボが発光して 1 枚目が撮影されます。
- 続けて 2 枚目が撮影され、3 枚目の撮影がはじまります（2 枚目、3 枚目はストロボ非発光）。



5 ランプ（前面）が点滅するまで撮影される人は動かないようにする

- 3 枚目の撮影（最長約 2 秒）が終わるとランプが 3 回点滅しますので、それまでは撮影される人が動かないようにしてください。
- 1 枚の画像が記録されます。

- 撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られないことがあります。
- 街灯などの光が人に当たっているときや、ストロボを上げずに撮影すると、人はきれいに撮影されません。
- 撮影後に処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- 手順 4 ～ 5 で撮影される人が動くとブレた画像になるため、撮影中は動かないよう注意してください。

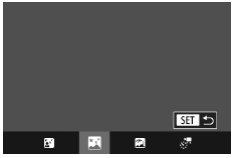
- MENUの［📷］タブで［暗所表示］を［入］にして撮影することをおすすめします（📖156）。
- 人が思いどおりの明るさにならないときは、調光補正（📖150）することで適正な明るさになることがあります。
- 星空が思いどおりの明るさにならないときは、露出補正（📖121）することで適正な明るさになることがあります。ただし、撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られなかったり、手順4～5の撮影時間が最長約15秒になるため撮影される人が動かないよう注意してください。
- 星をより多く、さらに明るく撮影したいときは、MENU（📖40）の［📷］タブで［星空ポートレート設定］を選び、［星の数と明るさ］を［多く / 明るく］に設定します。ただし、撮影シーンによっては思いどおりの効果が得られなかったり、手順4～5の撮影時間が最長約8秒になるため撮影される人が動かないよう注意してください。
- MENU（📖40）の［📷］タブの［星の強調］が［シャープ］のときは、星の光を明るく撮影できます。星がたくさんあるシーンで明るい星を強調させたいときは、［星の強調］を［ソフト］にします。明るい星は大きく、暗い星は薄く処理することで、より印象的な画像にすることができます。星の光を強調する処理をしないときは、［切］にします。

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順1～2（📖88）の操作で［📷］を選んだあと［DISP.］をタッチして設定画面を表示し、［📷］をタッチしたあと、同じ項目か［SET］をタッチすることでも撮影モードを選べます。

星空と夜景を撮る（星空夜景）

▶ 静止画 ▶ 動画

星空を夜景と一緒にきれいに撮影できます。星空をきれいに見せるために、カメラが自動で星の光を強調する処理を行います。



1 [🌃] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（📖88）の操作で［🌃］を選んだあと、［▼］を押します。
- ［◀］か［▶］を押すか［🎛］ホイールを回して［🌃］を選び、［FUNC/SET］を押します。
- ズーム位置がもっとも広角になり、固定されます。

2 カメラを固定する

- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定します。

3 撮影する

- 撮影後に処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。

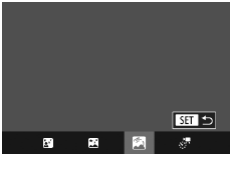
- MENU の［📷］タブで［暗所表示］を［入］にして撮影することをおすすめします（📖156）。
- MENU（📖40）の［📷］タブの［星の強調］が［シャープ］のときは、星の光を明るく撮影できます。星がたくさんあるシーンで明るい星を強調させたいときは、［星の強調］を［ソフト］にします。明るい星は大きく、暗い星は薄く処理することで、より印象的な画像にすることができます。星の光を強調する処理をしないときは、［切］にします。
- 星のピント位置をより細かく合わせたいときは、マニュアルフォーカス（📖135）でピント位置を調整してから撮影することをおすすめします。

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（📖88）の操作で［🌄］を選んだあと［DISP.］をタッチして設定画面を表示し、［🌠］をタッチしたあと、同じ項目か［SET］をタッチすることでも撮影モードを選べます。

星が動いた軌跡を撮る（星空軌跡）

▶ 静止画 ▶ 動画

星が動いた軌跡を 1 枚の画像として記録できます。撮影中は、カメラが決めたシャッタースピードや撮影枚数で連続撮影が行われます。なお、1 回の撮影に最長約 2 時間かかりますので、事前にバッテリーの残量を確認してください。



1 ［🌠］を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（📖88）の操作で［🌄］を選んだあと、［▼］を押します。
- ［◀］か［▶］を押すか［◉］ホイールを回して［🌠］を選び、［FUNC.］を押します。
- ズーム位置がもっとも広角になり、固定されます。

2 撮影時間を設定する

- ［⏱］リングを回して撮影時間を選びます。

3 カメラを固定する

- 三脚などでカメラが動かないように固定します。

4 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、撮影画面に［処理中］がしばらく表示されたあと、撮影がはじまります。
- 撮影中は、カメラに触らないようにしてください。
- 撮影を中止するときは、もう一度シャッターボタンを全押しします。ただし、撮影が中止されるまでに最長約 60 秒かかることがあります。

- 撮影の途中でバッテリーの残量が足りなくなると、撮影が中止され、途中までの撮影結果が保存されます。
- 撮影後に処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。

- MENU の［📷］タブで［暗所表示］を［入］にして撮影することをおすすめします（📖156）。
- 星のピント位置をより細かく合わせたいときは、マニュアルフォーカス（📖135）でピント位置を調整してから撮影することをおすすめします。

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（📖88）の操作で［🌃］を選んだあと［DISP.］をタッチして設定画面を表示し、［🌃］をタッチしたあと、同じ項目か［SET］をタッチすることでも撮影モードを選べます。

星の動きを撮る（星空インターバル動画）

▶ 静止画 ▶ 動画

一定間隔で撮影した静止画をつなげることで 1 つの動画を作成し、星の動きを早送りで見ることができます。また、撮影間隔や撮影時間などを変えることができます。
なお、1 回の撮影に長時間かかり、多くの画像を撮影しますので、事前にバッテリーの残量とカードの空き容量を確認してください。

1 [ ] を選ぶ

- 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（88）の操作で［ ］を選んだあと、［▼］を押します。
- ［◀］か［▶］を押すか［ ］ホイールを回して［ ］を選び、［ ］を押します。
- ズーム位置がもっとも広角になり、固定されます。

2 動画の設定をする

- ［▲］を押します。
- ［▲］か［▼］を押すか［ ］ホイールを回して項目を選び、［◀］か［▶］を押して目的の内容を選んだあと［MENU］ボタンを押します。

3 カメラを固定する

- 三脚などでカメラが動かないように固定します。

4 明るさを確認する

- シャッターボタンを全押しして、1 枚の静止画を撮影します。
- 再生モード（177）にして撮影した画像の明るさを確認します。
- 思いどおりの明るさにならないときは、撮影画面で露出補正ダイヤルを回して露出を調整したあと、もう一度シャッターボタンを全押しして 1 枚の静止画を撮影し、画像の明るさを確認します。

5 撮影する

- 動画ボタンを押すと、撮影画面に［処理中］がしばらく表示されたあと、撮影がはじまります。
- 撮影中は、カメラに触らないようにしてください。
- 撮影を中止するときは、もう一度動画ボタンを押します。ただし、撮影が中止されるまでに最長約 60 秒かかることがあります。
- 撮影中は、エコモード（267）になります。

項目	設定できる項目	内容
効果		軌跡など、動画の効果を選ぶことができます。
撮影間隔	15 秒、30 秒、1 分	撮影する間隔を選ぶことができます。
フレームレート	15 30	動画のフレームレートを選ぶことができます。
撮影時間	60 分、90 分、120 分、制限なし	撮影時間を選ぶことができます。［制限なし］のときは、バッテリー残量がなくなるまで撮影することができます。

撮影間隔およびフレームレートと再生時間の目安（動画を 60 分撮影したとき）

撮影間隔	フレームレート	再生時間
15 秒	15	16 秒
15 秒	30	8 秒
30 秒	15	8 秒
30 秒	30	4 秒
1 分	15	4 秒
1 分	30	2 秒

- 撮影後に処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- 撮影の途中でバッテリーの残量やカードの空き容量が足りなくなると、撮影が中止され、途中までの撮影結果が保存されます。
- 効果を [ ] [ ] [ ] [ ] にしているときは、撮影間隔の [1 分] は選べません。

- 音声は録音されません。
- MENU の [ ] タブで［暗所表示］を［入］にして撮影することをおすすめします（156）。
- MENU（40）の [ ] タブの［星空インターバル動画設定］を選んでも、手順 2 の画面を表示することができます。
- MENU（40）の [ ] タブの［ 素材の保存］を［入］にすると、連続撮影した動画作成前の画像を保存することができます。なお、これらの画像は 1 つのグループにまとめられ（グループ化）、再生したときは連続撮影の最初に撮影された画像のみが表示されます。また、この画像にはグループ化されていることを示す［SET］が画面左上に表示されます。グループ化された画像を消す（201）と、グループ内のすべての画像が消されますので、十分注意してください。
- 星のピント位置をより細かく合わせたいときは、マニュアルフォーカス（135）でピント位置を調整してから撮影することをおすすめします。
- AC アダプターキット（別売）（280）をお使いのときは、手順 2 の操作で［撮影時間］を［制限なし］に設定しても、最長約 8 時間で撮影が終わります。

● 「いろいろなシーンで撮る」の手順 1 ～ 2（📖88）の操作で［🎨］を選んだあと［DISP.］をタッチして設定画面を表示し、［🎨］をタッチしたあと、同じ項目か［SET］をタッチすることでも撮影モードを選べます。

色あいを調整する

▶ 静止画 ▶ 動画

［🎨］モードのときに色あいを手動で調整することができます。

1 撮影モードを選ぶ

● ［🎨］（📖107）［🎨］（📖110）［🎨］（📖111）［🎨］（📖113）のいずれかを選びます。

2 色あい調整を選ぶ

● ［FUNC/SET］を押して、メニュー項目の［WB +/-］を選びます（📖38）。

3 補正する

● ［◀］［▶］リングを回すか［◀］か［▶］を押してBとAの補正量を調整し、［FUNC/SET］を押します。

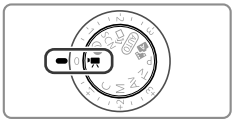
● 画面に［WB +/-］が表示されます。

● Bはブルー、Aはアンバーの意味です。
● ［🎨］では、色あいを調整しても人の色あいは変わりません。
● 手順2の画面で［MENU］ボタンを押すと詳細な設定もできます（📖130）。

● 手順2のバーをタッチしたりドラッグして補正量を選ぶこともできます。
● 手順2の画面で［MENU］をタッチして詳細な設定画面を表示することもできます（📖130）。

いろいろな動画を撮る

■ スタンダードモードで動画を撮る



1 [🎥] モードにする

- モードダイヤルを [🎥] にします。
- [FUNC/SET] を押してメニュー項目の [🎥] を選び、[🎥] を選びます（📖38）。
- 画面上下に黒い帯が表示され、被写体が少し大きく表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影できません。

2 目的に応じて各機能を設定する（📖323）

3 撮影する

- 動画ボタンを押します。
- 動画ボタンをもう一度押すと撮影が終わります。

- 撮影中に [AF] をタッチすると [MF] と表示され、ピント位置を固定することができます。

明るさを固定したり変えて撮る

撮影前や撮影中に露出を固定したり、露出を 1/3 段ずつ、− 3 段から+ 3 段の範囲で変えられます。

1 露出を固定する

- [✳] をタッチして露出を固定します。
- もう一度 [✳] をタッチすると解除されます。

2 露出を変える

- 画面の［］をタッチします。
- ［◀］か［▶］をタッチして露出を変えます。

3 撮影する（📖117）

- 露出補正ダイヤルは使えません。

- 撮影前は、［］リングを回して露出を変えることもできます。

iFrame 動画で撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

iFrame（アイフレーム）に対応したソフトウェアや機器での編集に適した動画が撮影できます。なお、撮影した動画は、ソフトウェア（📖288）を使うと、iFrame 動画の編集や保存などを高速に行うことができます。

1 ［］を選ぶ

- モードダイヤルを［］にします。
- ［］を押してメニュー項目の［］を選び、［］を選びます（📖38）。
- 画面上下に黒い帯が表示されます。この部分は撮影できません。

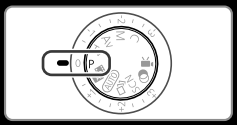
2 撮影する（📖117）

- iFrame とは、Apple 社が提唱する動画タイプです。
- 記録画素数は［FHD 30P］（📖78）に固定されます。

4

P モード

撮影スタイルにあわせた、ワンランク上の画像を撮る



- モードダイヤルが［**P**］モードになっていることを前提に説明しています。
- ［**P**］は、Program AE（プログラムエーイー）の略、AE は、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- この章で説明する機能を［**P**］モード以外で使うときは、それぞれの機能がどのモードで使えるか確認してください（📖323）。

プログラム AE で撮る（[P] モード）

▶ 静止画 ▶ 動画

いろいろな機能を自分好みに設定して撮影できます。

1 **[P] モードにする**

- モードダイヤルを [P] にします。

2 **目的に応じて各機能を設定（📖121 ～ 📖156）し、撮影する**

- シャッターボタンを半押ししたときに適正露出が得られないと、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。ISO 感度を変えたり（📖123）、被写体が暗いときにストロボを発光させる（📖148）と、適正露出が得られることがあります。
- [P] モードでも、動画ボタンを押すと動画が撮影できます。ただし、FUNC.（📖38）や MENU（📖40）の一部が動画撮影の設定にあわせて自動的に変わることがあります。

明るさ（露出）に関する機能を使う

■ 明るさを変える（露出補正）

▶ 静止画　▶ 動画

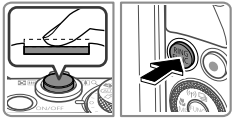
カメラが決めた標準的な露出を 1/3 段ずつ、－ 3 段から＋ 3 段の範囲で補正できます。

- 画面の表示を見ながら、露出補正ダイヤルを回して明るさを補正します。
- 設定した補正量が表示されます。

■ 明るさ（露出）を固定する（AE ロック）

▶ 静止画　▶ 動画

露出を固定して撮影したり、ピントと露出を個別に設定して撮影することもできます。



1 露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま、[RING FUNC.] ボタンを押します。
- [✳] が表示され、露出が固定されます。
- シャッターボタンから指を放してもう一度 [RING FUNC.] ボタンを押すと、[✳] が消え解除されます。

2 構図を決めて撮影する

- タッチシャッター機能（📖64）と一緒には使えません。

- AE は、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。
- 露出を固定したあとに [⊛] ホイールを回すと、シャッタースピードと絞り数値の組みあわせを変えることができます（プログラムシフト）。

■ 測光方式を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、測光方式（明るさを測る特性）を変えられます。

- [ ] を押して、メニュー項目の [ ] を選び、目的の項目を選びます（📖38）。
- 設定した項目が表示されます。

[ ] 評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シーンに応じて、被写体が常に適正露出になるように自動補正します。
[ ] 中央部重点平均測光	画面中央部に重点をおいて、画面全体を平均的に測光します。
[ ] スポット測光	[ ]（スポット測光枠）の範囲のみを測光します。スポット測光枠は AF フレームに連動させることもできます（📖122）。

スポット測光枠を AF フレームに連動させる

▶ 静止画 ▶ 動画

1 [ ] にする

- 「測光方式を変える」（📖122）の操作で [ ] を選びます。

2 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[ ] タブの [スポット測光枠] を選び、[AF 枠連動] を選びます（📖40）。
- AF フレームを動かす（📖140）と、スポット測光枠も連動して移動します。

● ［AF フレーム］が［顔優先 AiAF］（🕮141）のときは設定できません。

ISO 感度を変える

▶ 静止画　▶ 動画

● [ ]リングを回してISO感度を選びます。
● 設定した項目が表示されます。

AUTO	撮影モードと撮影シーンに応じて自動設定	
125、160、200	低い	晴天の屋外
250、320、400、500、640、800	やや低い	曇り空、夕方
1000、1250、1600、2000、2500、3200、4000、5000、6400	やや高い	夜景、暗い室内
8000、10000、12800	高い	

● ISO 感度が［AUTO］のときは、シャッターボタンを半押しすると自動設定された ISO 感度が画面に表示されます。
● ISO 感度を低くすると粗さが目立たない画像になりますが、撮影シーンによっては被写体ブレや手ブレがおきやすくなることがあります。
● ISO 感度を高くするとシャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、ストロボの光が遠くの被写体まで届くようになりますが、画像が粗くなります。
● ［SET］を押して［ISO AUTO］を選んだあと［◀］か［▶］を押すか、［◉］ホイールを回して項目を選び、［SET］を押して設定することもできます。また、設定画面を表示しているときに［RING FUNC.］ボタンを押すと、［AUTO］にすることができます。

ISO オートの設定を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

[AUTO] にしたときに自動設定される ISO 感度の上限を [400] ～ [12800] の範囲から選んだり、ISO 感度の上がりかたを 3 種類から選ぶことができます。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [ISO オート設定] を選び、[SET] を押します（📖40）。

2 設定する

- 設定するメニュー項目を選び、目的の項目を選びます（📖40）。

- [ISO オート設定] 画面は、FUNC. で ISO 感度を選んでいるときに [MENU] ボタンを押すことでも表示できます。

■ ノイズ低減の強さを変える（高感度時 NR）

ノイズ低減（Noise Reduction）の強さを [弱] [標準] [強] の 3 種類から選べます。特に高い ISO 感度で撮影するときに有効です。

- [MENU] ボタンを押して [📷] タブの [高感度時 NR] を選んだあと、目的の項目を選びます（📖40）。

- [RAW] [RAW+JPEG] （📖153）では設定できません。

露出を自動的に変えて撮る（AEB 撮影）

▶ 静止画　▶ 動画

カメラが自動的に露出を変えながら、標準露出、マイナス補正、プラス補正の順に 3 枚連続で撮影されます。補正量は標準露出を中心に 1/3 段ずつ、－ 2 段から＋ 2 段の範囲で設定できます。

1 [ ] を選ぶ

- [ ] を押して、メニュー項目の [ ] を選んだあと、項目の [ ] を選びます（38）。

2 設定する

- [RING FUNC.] ボタンを押したあと、[◀] か [▶] を押すか [ ] ホイールを回して設定します。

- [ ]（148）以外では、AEB 撮影はできません。
- 連続撮影（146）はできません。

- 露出補正（121）をしているときは、設定している値が中心になります。
- 露出補正（121）の画面で、[MENU] ボタンを押すと、手順 2 の設定画面を表示できます。
- [ ]（63）で撮影枚数を設定しても、撮影される枚数は 3 枚です。
- [目つむり検出]（81）は、最後に撮影した画像でのみ動作します。

- 手順 1 の画面で［RING FUNC.］をタッチするか、露出補正（📖121）の画面で［MENU］をタッチすると、手順 2 の設定画面を表示できます。
- 手順 2 の設定画面でバーの上をタッチしたりドラッグして値を選び、［RING FUNC.］をタッチすることでも設定できます。

■ 明るさを補正して撮る（i- コントラスト）

▶ 静止画 ▶ 動画

人の顔や背景など、一部が明るすぎたり暗すぎたりするときは、その部分を検出し、適切な明るさに自動補正して撮影することができます。
白トビをおさえたいときは「ダイナミックレンジ補正」、黒ツブレをおさえたいときは「暗部補正」を設定します。

- 撮影シーンによっては画像が粗くなったり、正しく補正されないことがあります。

- 撮影した画像を補正することもできます（📖214）。
- ［⚙］リングを回して「ダイナミックレンジ補正」や「暗部補正」を変えるようにも設定できます（📖165）。

ダイナミックレンジ補正（D レンジ補正）

▶ 静止画 ▶ 動画

明るすぎて白トビしてしまう部分をおさえて撮影することができます。

- [FUNC/SET] を押して、メニュー項目の [D-OFF] を選び、目的の項目を選びます（📖38）。
- 設定した項目が表示されます。

項目	内容	設定できる ISO 感度（📖123）
D-OFF	–	
D-AUTO	白トビがおさえられるよう自動補正します。	[AUTO]、[125] ～ [12800]
D-200%	[D-OFF] のときに対して、約 2 倍の明るさまで白トビがおさえられるよう自動補正します。	[AUTO]、[250] ～ [6400]

- ISO 感度（📖123）を「設定できる ISO 感度」以外に設定しているときは、範囲内の ISO 感度に変わります。

暗部補正

▶ 静止画 ▶ 動画

暗すぎて黒ツブレしてしまう部分がおさえられるよう自動補正して撮影することができます。

- [FUNC/SET] を押して、メニュー項目の [D-OFF] を選び、項目の [D-AUTO] を選びます（📖38）。
- 設定されると [D-AUTO] が表示されます。

ND フィルターを使う

光量を 1/8 に減少（3 段分）するため、シャッタースピードを遅くしたり、絞り数値を小さくできます。

- [㊞] を押して、メニュー項目の [ND] を選び、項目の [ND] を選びます（📖38）。
- 設定されると [ND] が表示されます。

- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします（📖154）。

- ND は、Neutral Density（ニュートラルデンシティー）の略です。

色あいを調整する（ホワイトバランス）

▶ 静止画 ▶ 動画

ホワイトバランス（WB）は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。

- [FUNC SET] を押して、メニュー項目の [AWB] を選び、目的の項目を選びます（📖38）。
- 設定した項目が表示されます。

AWB オート	撮影シーンに応じて自動設定
太陽光	晴天の屋外
日陰	日陰
くもり	曇り空や薄暮
電球	電球
蛍光灯	白色蛍光灯
蛍光灯 H	昼光色蛍光灯
ストロボ	ストロボ使用時
水中	水中（📖88）
マニュアル	マニュアルホワイトバランス（手動設定）（📖130）

マニュアルホワイトバランス

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源のもとで設定してください。

- 「色あいを調整する（ホワイトバランス）」（📖129）の操作で［📷¹］または［📷²］を選びます。
- 画面いっぱいに白い無地の被写体が入るようにして、［RING FUNC.］ボタンを押します。
- 白データが取り込まれて設定されると、画面の色あいが変わります。

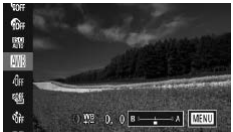
- 白データを取り込んだあとにカメラの設定を変えると、適切な色あいにならないことがあります。

- 上記の画面で［RING FUNC.］をタッチすることでも白データを取り込めます。

ホワイトバランスを補正する

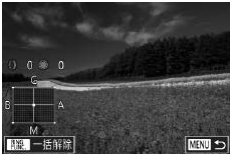
▶ 静止画 ▶ 動画

ホワイトバランスを補正することができます。この機能を使うと、市販の色温度変換フィルターや色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます。



1 設定する

- 「色あいを調整する（ホワイトバランス）」（📖129）の操作で［AWB］を選びます。
- ［◑］リングを回してBとAの補正量を調整します。
- 画面に［WB］が表示されます。



2 詳細な設定をする

- さらに詳細な設定をするときは、[MENU] ボタンを押し、[ ] リングか [ ] ホイールを回すか [▲] [▼] [◀] [▶] を押して補正量を調整します。
- 補正量を戻すときは、[RING FUNC.] ボタンを押します。
- [MENU] ボタンを押すと設定されます。

- 補正量を設定したあとに、「色あいを調整する（ホワイトバランス）」（📖129）の操作でホワイトバランスの項目を変えても、補正量はそのまま保持されますが、マニュアルホワイトバランスで白データを取り込むと初期設定に戻ります。

- B はブルー、A はアンバー、M はマゼンタ、G はグリーンの意味です。
- [ ] リングを回すだけで B と A の調整画面を表示させるようにもできます（📖165）。
- ブルー／アンバー方向の 1 段は、色温度変換フィルターの約 7 ミレッドに相当します（ミレッド：色温度変換フィルターの濃度を表すときなどに使用される色温度の単位）。

- 手順 1 のバーや手順 2 の枠をタッチしたりドラッグして補正量を選ぶこともできます。
- 手順 1 の画面で［MENU］をタッチして手順 2 の画面を表示することができます。
- 手順 2 の画面で［RING FUNC.］をタッチして補正量を戻したり、［MENU］をタッチして撮影画面に戻ることができます。

画像の色調を変える（マイカラー）

▶ 静止画 ▶ 動画

通常の撮影画像とは違った印象の画像にしたり、セピア調や白黒画像に変えることができます。

- [(SET)] を押して、メニュー項目の [MyColor] を選び、目的の項目を選びます（📖38）。
- 設定した項目が表示されます。

MyColor マイカラー切	–
V くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした印象の色調になります。
N すっきりカラー	コントラストと色の濃さをおさえ、すっきりとした印象の色調になります。
Se セピア	セピア調になります。
BW 白黒	白黒になります。
P ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」、「あざやかグリーン」、「あざやかレッド」の効果をあわせたもので、ポジフィルムのように自然で色鮮やかになります。
L 色白肌	人の肌が色白になります。
D 褐色肌	人の肌が褐色になります。
B あざやかブルー	青色を強調します。空や海などがより鮮やかになります。
G あざやかグリーン	緑色を強調します。山や草花などがより鮮やかになります。
R あざやかレッド	赤色を強調します。赤い被写体がより鮮やかになります。
C カスタムカラー	画像の色調を自分好みに設定できます(📖133)。

- [Se] [BW] では、ホワイトバランス（📖129）は設定できません。
- [L] [D] では、人の肌の色以外が変わることがあります。また、肌の色によっては、思いどおりの色にならないことがあります。

カスタムカラー

▶ 静止画 ▶ 動画

画像のコントラスト（明暗差）、シャープネス（鮮鋭度）、色の濃さ、赤、緑、青、肌色を、それぞれ５段階から選んで設定できます。

1 設定画面を表示する

- 「画像の色調を変える（マイカラー）」（📖132）の操作で［C］を選び、［RING FUNC.］ボタンを押します。

2 設定する

- ［▲］か［▼］を押して項目を選び、［◀］か［▶］を押すか［◉］ホイールを回して値を設定します。
- 設定値が右側に行くほど強く／濃く／褐色（肌色）になり、左に行くほど弱く／薄く／色白（肌色）になります。
- ［RING FUNC.］ボタンを押すと設定されます。

- バーの上をタッチしたりドラッグして値を設定することもできます。

近くの被写体を撮る（マクロ撮影）

▶ 静止画 ▶ 動画

[🌷] に設定すると、近いものだけにピントを合わせます。ピントが合う範囲は「撮影距離」（📖357）を参照してください。

- [◀] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [🌷] を選び、[(SET)] を押します。
- 設定されると [🌷] が表示されます。

- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。

- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラを固定し、[⏲2] で撮影することをおすすめします（📖63）。

- [◀] を押したあと、[🌷] をタッチして選び、もう一度タッチすることでも設定できます。

マニュアルフォーカスで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。手動でおおよそのピントを合わせてからシャッターボタンを半押しすると、手動で合わせたピント位置の近傍で、もっともピントの合う位置に微調整されます。ピントが合う範囲は「撮影距離」(📖357)を参照してください。

(1)

1 [MF] を選ぶ

- [◀] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して [MF] を選び、[(SET)] を押します。
- [MF] と MF インジケーターが表示されます。

2 おおよそのピントを合わせる

- MF インジケーター (1) の距離表示とピント位置を示すバーを目安にして、拡大表示を見ながら、[▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回しておおよそのピントを合わせ、[(SET)] を押します。
- [▶] を押すと、拡大倍率を変えることができます。
- 拡大表示しているときに画面をドラッグすると、ピント合わせのフレーム位置を移動することができます。

3 ピントを微調整する

- シャッターボタンを半押しすると、もっともピントが合う位置に微調整されます (セーフティ MF)。

- マニュアルフォーカス中は、AF フレームモード (📖139) は [一点] 固定、AF フレームの大きさ (📖140) は [標準] 固定になります。
- デジタルズーム (📖60)、デジタルテレコンバーター (📖138) を使用しているとき、テレビに表示しているとき (📖283) は拡大表示されませんが、ピント合わせはできます。

- [ ] リングを回してピントを合わせることもできます（165）。
- 正確なピント合わせを行うには、三脚などでカメラを固定することをおすすめします。
- MENU（40）で［］タブの［MF 拡大表示］で拡大倍率をさらに大きくしたり、拡大表示しないようにすることもできます。
- MENU（40）で［］タブの［セーフティ MF］で［切］を選ぶと、シャッターボタンを半押ししてもピントが微調整されなくなります。

- 動画撮影中に［AF］をタッチすると［MF］と表示され、ピント位置が固定されます。

ピント合わせをしやすい表示にする（MF ピーキング）

▶ 静止画 ▶ 動画

ピントが合った被写体の輪郭を色つきの強調表示にすることで、マニュアルフォーカス時のピント合わせをしやすくすることができます。また、輪郭の検出感度（レベル）や色を変えることもできます。

1 設定画面を表示する

- ［MENU］ボタンを押して、［］タブの［MF ピーキング設定］を選び、［入］を選びます（40）。

2 設定する

- 設定するメニュー項目を選び、目的の項目を選びます（40）。

- MF ピーキングで表示した色は画像に記録されません。

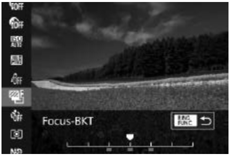
ピント位置を自動的に変えて撮る（フォーカスブラケット撮影）

▶ 静止画 ▶ 動画

マニュアルフォーカスで設定したピント位置、後ろ寄りのピント位置、前寄りのピント位置の順に、3 枚連続で撮影されます。また、ピント位置は 3 段階で設定できます。

1 [ ] を選ぶ

- [ ] を押して、メニュー項目の [ ] を選び、項目の [ ] を選びます（ 38）。



2 設定する

- [ ] ボタンを押したあと、[◀] か [▶] を押すか [ ] ホイールを回して設定します。

- [ ]（ 148）以外では、フォーカスブラケット撮影はできません。
- 連続撮影（ 146）はできません。

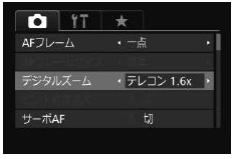
- 「マニュアルフォーカスで撮る」の手順 2（ 135）で [MENU] ボタンを押すと、手順 2 の設定画面を表示できます。
- [ ]（ 63）で撮影枚数を設定しても、撮影される枚数は 3 枚です。
- [目つむり検出]（ 81）は、最後に撮影した画像でのみ動作します。

- 手順 1 の画面で［RING FUNC.］をタッチするか、マニュアルフォーカス（📖135）の画面で［MENU］をタッチすると、手順 2 の画面を表示できます。
- 手順 2 の画面でバーの上をタッチしたりドラッグして値を選び、［RING FUNC.］をタッチすることでも設定できます。

デジタルテレコンバーターを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

レンズの焦点距離を 1.6 倍 / 2.0 倍にできます。ズーム操作（デジタルズーム含む）で同じ倍率に拡大したときよりも、シャッタースピードが速くなるため手ブレを軽減できます。



- ［MENU］ボタンを押して、［📷］タブの［デジタルズーム］を選んだあと、目的の項目を選びます（📖40）。
- 画面が拡大表示されて、倍率が表示されます。

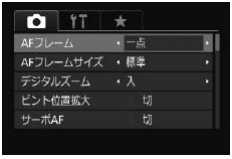
- デジタルズーム（📖60）、ピント位置の拡大表示（📖80）と一緒には使えません。

- ズームレバーを［🔍］側に押してもっとも望遠側にしたときのシャッタースピードは、「被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）」の手順 2（📖60）の操作で被写体を同じような大きさに拡大したときのシャッタースピードと同じになることがあります。

AF フレームモードを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影シーンにあわせて、AF（自動ピント合わせ）フレームモードを変えられます。



- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの［AF フレーム］を選び、目的の項目を選びます（📖40）。

一点

▶ 静止画 ▶ 動画

AF フレームが 1 点になります。確実なピント合わせに有効です。また、画面をタッチして枠の位置を変えることができます（📖145）。

- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、黄色の AF フレームと［❗］が表示されます。

- 被写体が画像の端や隅にくるよう撮影するときは、被写体に AF フレームをあわせてシャッターボタンを半押しし、この状態で構図を変えてシャッターボタンを全押しして撮影します（フォーカスロック撮影）。
- ［ピント位置拡大］（📖80）を［入］にしているときは、シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、AF フレームの位置が拡大して表示されます。

AF フレームの位置や大きさを変える（一点）

▶ 静止画 ▶ 動画

AF フレームモードが［一点］のときは、AF フレームの位置や大きさを変えることができます。

1 AF フレームの位置を変える

- 画面をタッチすると、タッチした位置に AF フレームがオレンジ色で表示されます（タッチ AF）。
- ［◉］ホイールを回して AF フレームを移動したり、［▲］［▼］［◀］［▶］を押して微調整することができます。
- ［MENU］ボタンを押すと、AF フレームがもとの位置（中央）に戻ります。

2 AF フレームの大きさを変える

- ［◉］リングを回すと、AF フレームが小さくなり、もう一度回すともとの大きさに戻ります。

3 設定を終える

- ［(SET)］を押します。

- デジタルズーム（📖60）やデジタルテレコンバーター（📖138）使用時、マニュアルフォーカス（📖135）時は、AF フレームの大きさは標準の大きさになります。

- スポット測光枠の位置を AF フレームに連動させることができます（📖122）。
- AF フレームの大きさは、［MENU］ボタンを押して［📷］タブの［AF フレームサイズ］で設定することもできます（📖40）。

- 手順 2 の画面では、画面をタッチして AF フレームの位置を変えたり、[MENU] をタッチして AF フレームをもとの位置に戻したり、[SET] をタッチして設定を終えることもできます。

顔優先 AiAF

▶ 静止画 ▶ 動画

- 人の顔を検出して、ピント、露出（評価測光時のみ）、色あい（[WB] 時のみ）を合わせます。
- カメラを被写体に向けると、主被写体と判断した顔に白のフレーム、他の顔には最大 2 つの灰色のフレームが表示されます。
- 検出した顔が動いていると判別したときは、一定の範囲で追尾します。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った顔には緑色のフレーム（最大 9 個）が表示されます。

- 顔が検出されないときや、白のフレームが表示されず灰色のフレームのみが表示されたときは、シャッターボタンを半押しすると、ピントの合った位置に緑色のフレームが表示されます。なお、縦横比（🕮75）の設定によって、フレームの最大表示数は変わります。
  - [3:2] [4:3] のときは 31 個
  - [1:1] [4:5] のときは 25 個
  - [16:9] のときは 21 個
- サーボ AF（🕮142）が［入］で顔が検出されないときに、シャッターボタンを半押しすると中央にフレームが表示されます。
- 顔として検出できない例
  - 被写体までの距離が遠い、または極端に近い。
  - 被写体が暗い、または明るい。
  - 顔が横や斜めを向いている、または一部が隠れている。
- 人の顔以外を、誤って検出することがあります。
- シャッターボタンを半押ししてピントが合わないときは、AF フレームは表示されません。

サーボ AF で撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッターボタンを半押ししている間は被写体にピントと露出を合わせ続けるため、動いている被写体のシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。

1 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの［サーボ AF］を選び、［入］を選びます（📖40）。

2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししている間、青色で AF フレームが表示され、ピントと露出を合わせ続けます。

- 撮影シーンによっては、ピントが合わなくなることがあります。
- 暗い場所では、シャッターボタンを半押ししても AF フレームが青色にならないときがあります。そのときは、設定している AF フレームモードでピントと露出を合わせます。
- 適正露出が得られなくなると、シャッタースピードと絞り数値がオレンジ色で表示されます。いったんシャッターボタンから指を放して、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。
- AF ロック撮影はできません。
- MENU（📖40）の［📷］タブの［ピント位置拡大］は設定できません。
- セルフタイマー（📖62）使用時は設定できません。

フォーカス設定を切り換える

▶ 静止画 ▶ 動画

通常は、シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた方向の被写体へ常にピントを合わせますが、シャッターボタンを半押ししたときだけ、ピントを合わせるようにすることができます。

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの［コンティニュアス AF］を選び、[切] を選びます（📖40）。

入	シャッターボタンを半押しするまで常にピントを合わせ続けるので、とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。
切	通常はピント合わせを行わないため、消費電力をおさえることができます。

ピントを合わせたい人を選んで撮る（顔セレクト）

▶ 静止画 ▶ 動画

特定の人の顔を選んでピントを合わせ、撮影できます。

1 顔セレクトができるようにする

- AF フレームを［顔優先 AiAF］にします（📖141）。
- [RING FUNC.] ボタンに［⊡］を登録します（📖170）。

2 顔セレクトモードにする

- カメラを人に向け、[RING FUNC.] ボタンを押します。
- [顔セレクト：入] が表示されたあと、主被写体として検出された顔に [ ] が表示されます。
- [ ] は、人が動いても一定の範囲で追尾します。
- 顔が検出されないと [ ] は表示されません。

3 ピントを合わせたい顔を選ぶ

- [RING FUNC.] ボタンを押すと、検出された別の顔に [ ] が移動します。
- 検出された顔を一巡すると [顔セレクト：切] が表示され、設定している AF フレームモードの画面に戻ります。

4 撮影する

- シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、[ ] が [ ] に変わります。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。

- [個人認証] を [入] にしていて、登録されている人の顔が検出されていてもほかの顔を選んでいると名前は表示されませんが、撮影した静止画には記録されます（📖67）。

ピントを合わせたい被写体を選んで撮る（タッチ AF）

▶ 静止画　▶ 動画

目的の人の顔や被写体を選んでピントを合わせ、撮影できます。

1 AF フレームを［顔優先 AiAF］にする（🕮141）

2 ピントを合わせたい顔または被写体を選ぶ

- 画面上の人や被写体にタッチします。
- 被写体として認識すると電子音が鳴り、［⁅ ⁆］が表示されます（動いていてもピントを合わせ続けます）。
- 解除するときは、［⮌］をタッチします。

3 撮影する

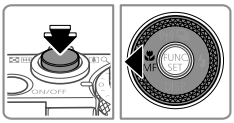
- シャッターボタンを半押ししてピントが合うと、［⁅ ⁆］が緑色の［▢］に変わります。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。

- タッチすると撮影されるときは、画面の［MENU］ボタンを押して［📷］タブの［タッチシャッター］を［切］にします（🕮40）。
- 被写体が小さすぎたり動きが速いときや、被写体と背景との明暗差が小さいときは、追尾できないことがあります。
- ［🤳］に設定しても（🕮134）、ピントを合わせる位置を指定すると、［▲］に戻ります。
- ［個人認証］を［入］にしていて、登録されている人の顔が検出されたときは、名前は表示されませんが、撮影した静止画には記録されます（🕮67）。ただし、被写体として指定した人が検出された人のときは名前が表示されます。

AF ロックで撮る

▶ 静止画　▶ 動画

ピントを固定できます。固定後はシャッターボタンから指を放しても、ピント位置は固定されたままになります。



1 ピントを合わせて固定する

- シャッターボタンを半押ししたまま、[◀] を押します。
- ピントが固定され、[MF] と MF インジケーターが表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたまま、もう一度 [◀] を押すと解除されます。

2 構図を決めて撮影する

- タッチシャッター機能（📖64）と一緒には使えません。

ピント合わせしながら連続して撮る

▶ 静止画　▶ 動画

ピント合わせをしながら連続撮影できます。連続撮影の速度は「連続撮影の速さ」（📖357）を参照してください。

1 設定する

- [▲] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して項目の [AF] を選び、[FUNC. SET] を押します。
- 設定されると [AF] が表示されます。

2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。
- 撮影した画像はグループ化されます（📖189）。

- [▒] モード時（📖88）、マニュアルフォーカス撮影時（📖135）、AF ロック撮影時（📖146）は、[AF] が [LV] になります。
- セルフタイマー（📖62）とは一緒に使えません。
- 撮影シーン、カメラの設定、ズーム位置によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- タッチシャッター機能（📖64）では、画面に触れている間、連続撮影されます。

ストロボに関する機能を使う

ストロボモードを変える

▶ 静止画　▶ 動画

撮影シーンにあわせて、ストロボモードを変えられます。ストロボ撮影できる範囲は、「ストロボ調光範囲」(📖356)を参照してください。

1 ストロボを上げる

- [ϟ] スイッチを動かします。

2 設定する

- [▶] を押したあと、[◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回してストロボモードを選び、[FUNC SET] を押します。
- 設定した項目が表示されます。

> ⚠ ● ストロボがカメラに収納されていると、[▶] を押しても設定画面は表示されません。[ϟ] スイッチを動かしてストロボを上げて操作してください。

オート

暗いところでは自動的にストロボが光ります。

常時発光

ストロボを常に発光させて撮影できます。

スローシンクロ

人などの主被写体は、ストロボが発光することで明るく撮影され、ストロボの光が届かない背景は、シャッタースピードを遅くすることで暗くなるのを軽減することができます。

- ［］では、手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、［手ブレ補正］を［切］にして撮影することをおすすめします（154）。
- ［］では、ストロボが光っても、シャッター音が鳴り終わるまでは主被写体が動かないようにしてください。

発光禁止

ストロボを光らせないで撮影することができます。

- 手ブレしやすい暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、画面に［］が点滅表示されることがあります。そのときはカメラが動かないよう三脚などで固定してください。

- ［▶］を押したあと、設定したい項目をタッチして選び、もう一度タッチすることでも設定できます。

ストロボの調光量を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ撮影時の露出を露出補正（📖121）と同様に、1/3 段ずつ、－ 2 段から＋ 2 段の範囲で補正できます。

- ストロボを上げて、[▶] を押したあと、すぐに [◉] リングを回して補正量を選び、[SET] を押します。
- 設定した補正量が表示されます。

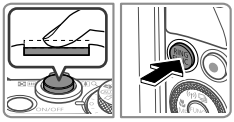
- ストロボ発光時に、露出オーバーで適正露出が得られないときは、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変わって白トビを軽減し、適正露出で撮影できます。ただし、MENU（📖40）の [📷] タブの［ストロボ設定］で［セーフティ FE］を［切］に設定すると、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変わらなくなります。
- ストロボ調光補正は、MENU（📖40）の [📷] タブの［ストロボ設定］にある［調光補正］でも設定することができます。
- MENU（📖40）の［ストロボ設定］画面は、ストロボを上げているときに [▶] を押してからすぐに [MENU] ボタンを押すことでも表示できます。

- MENU（📖40）の［ストロボ設定］画面は、[▶] を押してから [MENU] をタッチすることでも表示できます。

FE ロックで撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ撮影時の露出を、AE ロック撮影（📖121）と同様に固定できます。



1 ストロボを上げて、[ϟ] にする（📖148）

2 ストロボ露出を固定する

- 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししたまま、[RING FUNC.] ボタンを押します。
- ストロボが発光し、[✳] が表示され、ストロボ発光量が記憶されます。
- シャッターボタンから指を放してもう一度 [RING FUNC.] ボタンを押すと、[✳] が消え解除されます。

3 構図を決めて撮影する

- 1 枚撮影すると、[✳] が消え解除されます。

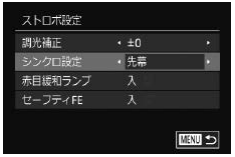
- 画面をタッチすると FE ロックが解除されるので、タッチシャッター（📖64）、タッチ AF（📖145）と一緒には使えません。

- FE は、Flash Exposure（フラッシュエクスポージャー）の略でストロボ露出のことです。

ストロボ発光のタイミングを変える

▶ 静止画 ▶ 動画

ストロボ発光とシャッターのタイミングを変えることができます。



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの［ストロボ設定］を選び、[SET] を押します（📖40）。

2 設定する

- ［シンクロ設定］を選んでから、目的の項目を選びます（📖40）。

先幕	撮影開始直後にストロボが発光します。
後幕	撮影終了直前にストロボが発光します。

RAW（ロウ）画像を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

RAW 画像はカメラ内での画像処理による劣化がほとんどない「生データ」です。「Digital Photo Professional」（🕮288）で劣化を最小限におさえて思いどおりの画像調整を行うことができます。

● [Q]を押して、メニュー項目の [JPEG] を選び、目的の項目を選びます（🕮38）。

JPEG	JPEG 画像が記録されます。JPEG 画像は、最適な画質になるようカメラ内で画像処理を行い、ファイルサイズを圧縮して記録されています。非可逆圧縮方式のため、「生データ」の状態には戻せません。また、画像処理を行うと画質が劣化することがあります。
RAW	RAW 画像が記録されます。RAW 画像は、カメラ内での画像処理による劣化がほとんどない「生データ」です。そのままの状態ではパソコンで見たり印刷したりできないため、ソフトウェア「Digital Photo Professional」を使って一般的な JPEG 画像や TIFF 画像に変換（現像）する必要があります。また、現像時に画質劣化を最小限におさえた画像調整を行うことができます。 記録画素数や撮影できる枚数については、「1 枚のカードに撮影できる枚数」（🕮355）を参照してください。
RAW+JPEG	1 回の撮影で、RAW 画像と JPEG 画像の 2 つの画像が記録されます。 JPEG 画像も同時に記録されるため、ソフトウェアを使わなくても、パソコンで見たり印刷することができます。

● RAW 画像や同時に記録された JPEG 画像をパソコンに取り込むときは、必ず専用のソフトウェア（🕮288）をお使いください。
● [RAW] [RAW+JPEG] では、ノイズ低減の強さ（🕮124）、i- コントラスト（🕮126）、マイカラー（🕮132）は設定できません。

● JPEG 画像の拡張子は「.JPG」、RAW 画像の拡張子は「.CR2」です。

撮影スタイルにあわせて機能を変える

■ 圧縮率（画質）を変える

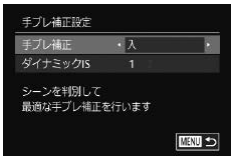
▶ 静止画　▶ 動画

圧縮率を 2 種類から選べます。高画質から順に［S］（スーパーファイン）、［◢］（ファイン）となります。それぞれの圧縮率で 1 枚のカードに撮影できる枚数については「1 枚のカードに撮影できる枚数」（📖355）を参照してください。

● ［(SET)］を押して、メニュー項目の［◢］を選び、目的の項目を選びます（📖38）。

■ 手ブレ補正の設定を変える

▶ 静止画　▶ 動画



1 設定画面を表示する

● ［MENU］ボタンを押して、［📷］タブの［手ブレ補正設定］を選び、［(SET)］を押します（📖40）。

2 設定する

● ［MENU］ボタンを押して、［📷］タブの［手ブレ補正］を選び、［◀］か［▶］を押して目的の項目を選びます（📖40）。

入	撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定（マルチシーン IS）されます（📖58）。
撮影時*	撮影される瞬間のみ手ブレを補正します。
切	手ブレ補正を切ります。

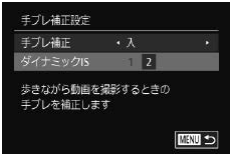
* 動画を撮影するときは、［入］の設定に変わります。

● 手ブレを補正しきれないときは、三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[切]にすることをおすすめします。

撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影する

▶ 静止画 ▶ **動画**

動画撮影では大きな手ブレも補正するため、撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。この大きな手ブレの補正を行わないことで、撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影することができます。



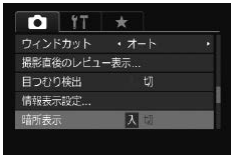
- 「手ブレ補正の設定を変える」(📖154)の操作で[手ブレ補正設定]画面を表示します。
- [ダイナミックIS]を選んでから、[2]を選びます(📖40)。

● [手ブレ補正]が[切]のときも、撮影前の画面と同じ大きさで動画を撮影することができます。

撮影画面に表示される情報の色を変える

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影画面に表示される情報やメニュー画面の色を、暗いところで撮影をするときに適した色に変えられます。[📷] モード（📖107）などで撮影するときは、[入] にすることをおすすめします。



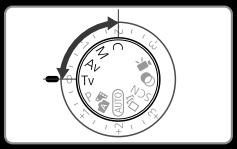
- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [暗所表示] を選び、[入] を選びます（📖40）。

- 再生モードでは、色は変わりません。

5

Tv、Av、M、C モード

作画を意図したハイレベルな静止画を撮ったり、撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする



- それぞれのモードになっていることを前提に説明しています。

シャッタースピードを決めて撮る（[Tv] モード）

▶ 静止画　▶ 動画

シャッタースピードを目的の値に設定して撮影できます。設定したシャッタースピードに応じて、カメラが自動的に絞り数値を設定します。
設定できるシャッタースピードは「シャッタースピード」（🕮358）を参照してください。

1 [Tv] モードにする

- モードダイヤルを［Tv］にします。

2 シャッタースピードを設定する

- ［ ］リングを回してシャッタースピードを設定します。

シャッタースピード（秒）	設定できる ISO 感度（🕮123）
15 ～ 1.3	[AUTO]、[125] ～ [3200]
1 ～ 1/2000	[AUTO]、[125] ～ [12800]

- シャッタースピードが遅いときなど撮影条件によっては、撮影後にノイズ低減処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- シャッタースピードを遅くしたときに三脚などでカメラを固定するときは、［手ブレ補正］を［切］にして撮影することをおすすめします（🕮154）。
- ストロボ発光時のシャッタースピードは、設定した値より遅い速度に自動設定されて撮影されることがあります。
- シャッターボタンを半押ししたときに絞り数値がオレンジ色で表示されるときは、適正露出から外れています。絞り数値が白字で表示されるまで、シャッタースピードを変えます（セーフティシフトも使えます（🕮159））。
- ISO 感度を高くすると、画像が粗くなることがあります。

- ［Tv］は、Time value（タイムバリュー）の略で時間量のことです。
- ［ ］ホイールを回してシャッタースピードを変えるようにも設定できます（🕮165）。

絞り数値を決めて撮る（[Av] モード）

▶ 静止画 ▶ 動画

絞り数値を目的の値に設定して撮影できます。設定した絞り数値に応じて、カメラが自動的にシャッタースピードを設定します。
設定できる絞り数値は「絞り」（📖358）を参照してください。

1 [Av] モードにする

- モードダイヤルを［Av］にします。

2 絞り数値を設定する

- ［ ］リングを回して絞り数値を設定します。

- シャッターボタンを半押ししたときにシャッタースピードがオレンジ色で表示されるときは、適正露出から外れています。シャッタースピードが白字で表示されるまで、絞り数値を変えます（セーフティシフトも使えます（下記））。

- ［Av］は、Aperture value（アパーチャーバリュー）の略でレンズの中に入っている「絞り」の開口量のことです。
- ［Tv］、［Av］モードのとき、［MENU］ボタンを押して、［ ］タブの［セーフティシフト］を［入］にする（📖40）と、適正露出が得られないときでも、自動的にシャッタースピードや絞り数値が変更されて、適正露出で撮影できます。ただし、ストロボ発光時は機能しません。
- ［ ］ホイールを回して絞り数値を変えるようにも設定できます（📖165）。

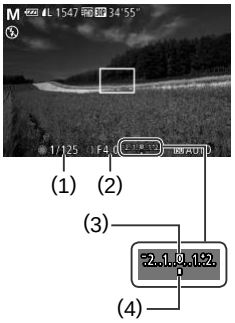
シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る（[M] モード）

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッタースピードと絞り数値を個別に設定して、目的の露出で撮影できます。
設定できるシャッタースピードや絞り数値は「シャッタースピード」（📖358）や「絞り」（📖358）を参照してください。

1 [M] モードにする

- モードダイヤルを [M] にします。



2 設定する

- [◉] ホイールを回してシャッタースピード (1)、[◉] リングを回して絞り数値 (2) を設定します。

シャッタースピード（秒）	設定できる ISO 感度（📖123）
250 ～ 40	[125]
30 ～ 1.3	[125] ～ [3200]
1 ～ 1/2000	[125] ～ [12800]

- 設定後にズーム操作をしたり構図を変えると、露出レベルマークが移動することがあります。
- シャッタースピードと絞り数値の設定により、画面の明るさが変わります。ただし、ストロボを上げてストロボモードを [ϟ] にすると画面の明るさは変わりません。
- ISO 感度を高くすると、画像が粗くなることがあります。

- [M] は、Manual（マニュアル）の略です。
- ISO 感度が [AUTO] 以外のときは、設定したシャッタースピードと絞り数値に連動して、露出レベルマーク (4) が移動し、適正露出 (3) からの差が確認できます。また、適正露出から± 2 段を超えると、[◀] か [▶] が表示されます。
- 適正露出は設定している測光方式（🕮122）で算出されます。
- [ ] リングを回してシャッタースピード、[ ] ホイールを回して絞り数値を変えるようにも設定できます（🕮165）。

ストロボ発光量を設定する

▶ 静止画 ▶ 動画

[M] モードでは、ストロボの発光量を 3 段階から選べます。

1 [M] モードにする

- モードダイヤルを [M] にします。

2 発光モードを設定する

- [MENU] ボタンを押して、[ ] タブの［ストロボ設定］を選び、[SET] を押します（🕮40）。
- [▲] か [▼] を押して［発光モード］を選び、[◀] か [▶] を押して［マニュアル］を選んだあと [MENU] ボタンを押します。

3 設定する

- ストロボを上げて [▶] を押したあと、すぐに [ ] リングを回して発光量を選び、[SET] を押します。
- 設定されると発光量が表示されます。[ ]：小、[ ]：中、[ ]：大

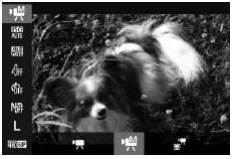
- ストロボ発光量は、MENU（📖40）の［📷］タブの［ストロボ設定］にある［発光量］でも設定することができます。
- ［Tv］モードや［Av］モードでも、MENU（📖40）の［📷］タブの［ストロボ設定］で［発光モード］を［マニュアル］に設定するとストロボ発光量が設定できます。
- MENU（📖40）の［ストロボ設定］画面は、ストロボを上げているときに［▶］を押してからすぐに［MENU］ボタンを押すことでも表示できます。

- MENU（📖40）の［ストロボ設定］画面は、［▶］を押してから［MENU］をタッチすることでも表示できます。

シャッタースピードと絞り数値を決めて動画を撮る

▶ 静止画 ▶ 動画

シャッタースピード、絞り数値、ISO 感度を個別に設定して撮影できます。設定できるシャッタースピードは「シャッタースピード」(📖358)、絞り数値は「絞り」(📖358)、ISO 感度は「ISO 感度を変える」(📖123) を参照してください。



1 [🎥] モードにする

- モードダイヤルを [🎥] にします。
- [Ⓢ] を押してメニュー項目の [🎥] を選び、[🎥] を選びます (📖38)。

2 設定する

- [⊛] ホイールを回してシャッタースピードを設定します。
- [◉] リングを回して絞り数値を設定します。
- [Ⓢ] を押してメニュー項目の [ISO] を選び、目的の項目を選びます (📖38)。

- ISO 感度を [ISO] に設定しているときは、シャッターボタンを半押しすると露出レベルマークが移動し、適正露出からの差が確認できます。
- ISO 感度を [ISO] 以外に設定しているときは、設定したシャッタースピードと絞り数値に連動して、露出レベルマークが表示され、適正露出からの差が確認できます。

タッチ操作で設定を変える

タッチ操作でシャッタースピード、絞り数値、ISO 感度を個別に設定できます。動画撮影中も設定を変えることができます。

- 画面の［ ］、［ ］、［ISO AUTO］のいずれかをタッチしたあと、［◀］か［▶］をタッチして設定します。

- 蛍光灯や LED などの照明下で撮影しているとき、設定したシャッタースピードによっては、画面のちらつきが記録されることがあります。

- 動画撮影中は、［ ］ホイールや［ ］リングを回しても設定は変えられません。

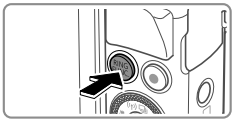
- 撮影前や撮影中に［✳］をタッチして露出を固定することができます。
- 撮影中に［AF］をタッチすると［MF］と表示され、ピント位置が固定されます。

撮影スタイルにあわせてカメラをカスタマイズする

コントローラーリングの設定を変える

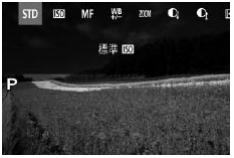
▶ 静止画 ▶ 動画

コントローラーリングに割り当てる機能を変えることができます。コントローラーリング操作によって、マニュアルカメラのような操作感を楽しめます。

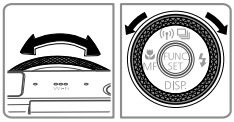


1 [◐] リングに割り当てる機能を選ぶ

- [RING FUNC.] ボタンを押します。



- [RING FUNC.] ボタンまたは [◀] か [▶] を押すか、[◐] リングか [◉] ホイールを回して項目を選びます。
- [FUNC SET] を押すと設定されます。



2 割り当てた機能を設定する

- [◐] リングや [◉] ホイールを回して、割り当てた機能を設定します。

- [RING FUNC.] ボタンを押したあと、項目をタッチして選び、もう一度タッチすることでも設定できます。

コントローラーリングに割り当てられる機能

コントローラーリングに割り当てられる機能は、撮影モードによって変わります。また、コントローラーホイールに割り当てられる機能もそれにあわせて変わります。

項目		撮影モード		
		Av	**Tv**	**P**
STD	◑	Av	Tv	ISO
	●	–	–	–
ISO	◑	ISO	ISO	ISO
	●	Av	Tv	–
MF	◑	マニュアルフォーカスができます（📖135）。		
WB +/–	◑	ホワイトバランスを補正できます（📖130）。		
ZOOM	◑	ステップズームができます（📖61）。		
◐↑	◑	ダイナミックレンジ補正を設定できます（📖127）。		
◐↑	◑	暗部補正を設定できます（📖127）。		
↔	◑	縦横比を変えられます（📖75）。		
C	–	割り当てる機能を自分好みに登録できます（📖167）。		

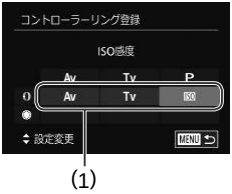
- ISO：ISO 感度（📖123）、MF：マニュアルフォーカス（📖135）、Tv：シャッタースピード（📖158）、Av：絞り数値（📖159）
- [◑] に [MF] [WB] [ZOOM] [◐↑] [◐↑] [↔] を割り当てたとき、[●] に割り当てられる機能は、[ISO] と同じです。

- アイコン右下の［⃠］は、設定している撮影モードや設定している機能の状態では使えないことを示しています。
- [AUTO]、[SCN]、動画モードのときは、[◑] でステップズーム操作ができます（📖61）。
- [M] モードのときは、絞り数値またはシャッタースピードを割り当てられます。

コントローラーリングに機能を登録する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影モードごとに、コントローラーリングに割り当てる機能を登録できます。



(1)

1 [C] を選ぶ

- 「コントローラーリングの設定を変える」の手順 1 (📖165) の操作で [C] を選び、[MENU] ボタンを押します。

2 設定する

- [◀] か [▶] を押すか [⚙] ホイールを回して設定する撮影モードを選びます。
- [▲] か [▼] を押すか [⚙] リングを回して、コントローラーリングに登録する機能 (1) を選びます。
- コントローラーホイールに割り当てられる機能が自動的に変わります。
- [MENU] ボタンを押して撮影画面に戻ります。

- 「コントローラーリングの設定を変える」の手順 1 (📖165) の操作で [C] を選び、[MENU] をタッチすることでも設定画面を表示できます。
- 設定画面でコントローラーリングに登録する機能をタッチして切り換え、[MENU] をタッチすることでも設定できます。

■ コントローラーリングの機能を切り換えながら設定する

▶ 静止画 ▶ 動画

画面をタッチして設定する機能を切り換えながら、コントローラーリングを回すことで、ISO 感度、シャッタースピード、絞り数値を素早く設定できます。

- 画面の右端（図の枠内）をタッチすると項目が表示されるので、そのままさらに上下方向にドラッグして項目を選び、[ ]を回して値を設定します。

設定できる項目は、撮影モードによって変わります。なお、[**M**]［**Av**］［**Tv**］モードのときは、コントローラーリングに割り当てている機能（🕮165）は表示されません。

M	Av	Tv	P
ISO Tv Av	ISO Av	ISO Tv	ISO

- ISO：ISO 感度（🕮123）、Tv：シャッタースピード（🕮158）、Av：絞り数値（🕮159）

情報の表示内容を設定する

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影画面で［▼］を押したときの表示先（📖37）の数や、それぞれの表示先に表示する情報を設定します。

1 設定画面を表示する

- ［MENU］ボタンを押して、［📷］タブの［情報表示設定］を選び、［SET］を押します（📖40）。

2 設定する

- ［▲］［▼］［◀］［▶］を押すか［⚙］ホイールを回して項目を選び、［SET］を押して、表示したい項目に［✓］をつけます。
- ［✓］のある項目が表示されるようになります。

撮影情報	撮影情報（📖319）が表示されます。
グリッドライン	格子線が画面に表示されます。
水準器	水準器（📖79）が表示されます。
ヒストグラム	［M］［Av］［Tv］［P］［🎥］［🎥］［🎥］モードで、ヒストグラム（📖182）が表示されます。

- シャッターボタンを半押しして情報表示設定画面から撮影画面に戻ると、設定内容は保存されません。
- 項目が灰色になっていても設定できますが、撮影モードによっては表示されないことがあります。

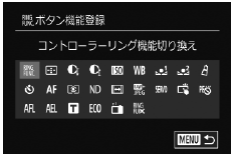
- 「グリッドライン」は画像に記録されません。

- 表示したい項目をタッチして選ぶこともできます。

ボタンによく使う機能を登録する

▶ 静止画 ▶ 動画

[RING FUNC.] ボタンか動画ボタンによく使う機能を登録しておくと、素早くかんたんに呼び出すことができます。



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの [RING FUNC.ボタン機能登録] か [▶ボタン機能登録] を選び、[SET] を押します (📖40)。

2 設定する

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [⚙] ホイールを回して、登録する項目を選び、[SET] を押します。

3 登録した機能を使う

- 機能を登録したボタンを押すと登録した機能が呼び出されます。

- 初期状態に戻すときは、[RING FUNC.ボタン機能登録]では[RING FUNC.]を選び、[動画ボタン機能登録]では[動画]を選びます。
- アイコン右下の[⃠]は、設定している撮影モードや設定している機能の状態では使えないことを示しています。
- [AF枠]では、AFフレームモードが[一点]のときに[RING FUNC.]ボタンを押すとAFフレームの位置や大きさを変えることができます(📖139、📖140)。
- [WB][WB2]では、登録したボタンを押すたびに白データの取り込みが行われ(📖130)、ホワイトバランスも[WB][WB2]に設定されます。
- [AFL]では、登録したボタンを押すたびにピント位置が調整されたあと固定され、画面に[AFL]が表示されます。
- [スリープ]では、登録したボタンを押すと画面の表示が消えます。次のいずれかの操作で復帰します。
  - 電源ボタン以外のボタンを押す
  - カメラの縦・横の向きを変える
  - 液晶モニターを開閉する
  - ストロボを開閉する
- 動画ボタンに機能を登録していても、[静止画][動画][動画][静止画]モードにすると、動画を撮影することができます。

- 設定したい項目をタッチし、同じ項目をもう一度タッチするか[MENU]をタッチすることでも設定できます。

FUNC. メニューの表示を変える（FUNC. カスタマイズ）

FUNC. のメニュー項目を自分好みに変えることができます。なお、FUNC. で非表示にした機能は、メニュー画面の［📷］タブに表示されます。

■ 表示するメニュー項目を選ぶ

▶ 静止画　▶ 動画

1 設定画面を表示する

- ［MENU］ボタンを押して、［📷］タブ［FUNC. カスタマイズ］を選び、［SET］を押します（📖40）。

2 表示するアイコンを選ぶ

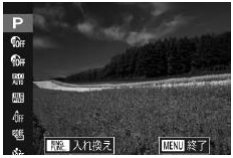
- ［▲］［▼］［◀］［▶］を押すか［⚙］ホイールを回してアイコンを選び、［SET］を押して、FUNC. メニューに表示させたいアイコンに［✓］を付けます。
- ［✓］のある項目が表示されるようになります。
- ［✓］のない機能は、メニュー画面の［📷］タブに表示されます。

3 設定する

- ［MENU］ボタンを押したあと、［◀］か［▶］を押すか［⚙］ホイールを回して［OK］を選び、［SET］を押します。

- FUNC. メニューが表示されているときに［SET］を押したままにしても、手順 2 の画面を表示することができます。
- いったん FUNC. メニューで非表示にした機能をマイメニュー（📖175）で登録したあと、再度 FUNC. メニューに表示したときは、マイメニューの登録は解除されます。

メニュー項目の表示順を変える



1 設定画面を表示する

- 「表示するメニュー項目を選ぶ」の手順 2（📖172）の画面で［RING FUNC.］ボタンを押します。
- ［SET］か［▶］を押して入れ換えたいアイコンを選んだあと、［▲］か［▼］を押すか［◉］ホイールを回して入れたい場所を選び、［SET］か［◀］を押します。

2 設定する

- ［MENU］ボタンを押したあと、［◀］か［▶］を押すか［◉］ホイールを回して［OK］を選び、［SET］を押します。

■ 撮影の設定を登録する

▶ 静止画 ▶ 動画

よく使う撮影モードと、自分好みに設定した各機能の設定を登録することができます。登録された設定へは、モードダイヤルを［C］にするだけで、切り換えることができます。また、撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると解除されてしまう設定（セルフタイマーなど）も記憶します。

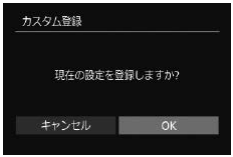
登録できる設定

- 撮影モード（［P］［Tv］［Av］［M］）
- ［P］［Tv］［Av］［M］モードで設定できる項目（📖121 ～ 📖160）
- 撮影メニューの設定内容
- ズーム位置
- マニュアルフォーカス位置（📖135）
- マイメニューの設定内容（📖175）

1 登録したい撮影モードにして、各種機能を設定する

2 設定する

- [MENU] ボタンを押して、[📷] タブの［カスタム登録］を選び、[SET] を押します。



3 登録する

- [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して［OK］を選び、[SET] を押します。

- 一度登録した、設定の一部（撮影モード以外）を変えるときは、[C] を選んで設定を変え、もう一度手順 2 ～ 3 を行います。この設定内容は、他の撮影モードには反映されません。

- [C] に登録した設定を初期状態に戻すときは、モードダイヤルを [C] にして［カメラ設定初期化］（📖276）を行います。

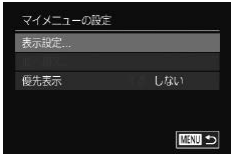
よく使う撮影メニューを登録する（マイメニュー）

▶ 静止画 ▶ 動画

よく使う撮影メニューの項目を、[★] タブに 5 項目まで登録できます。[★] タブに登録すると、項目を 1 つの画面で表示できるため、素早く設定を変えられます。

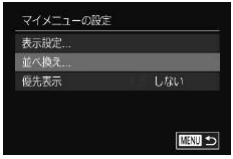
1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[★] タブの [マイメニューの設定] を選んだあと、[(FUNC SET)] を押します（📖40）。



2 設定する

- [▲] か [▼] を押すか [(ダイヤル)] ホイールを回して [表示設定] を選び、[(FUNC SET)] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [(ダイヤル)] ホイールを回して登録したい撮影メニュー項目（5 つまで）を選び、[(FUNC SET)] を押します。
- [✓] が表示されます。
- 登録を解除するときは、[(FUNC SET)] を押して [✓] を消します。
- [MENU] ボタンを押します。



3 項目の表示順を変える

- [▲] か [▼] を押すか [(ダイヤル)] ホイールを回して [並べ換え] を選び、[(FUNC SET)] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [(ダイヤル)] ホイールを回して表示順を変えたい項目を選び、[(FUNC SET)] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [(ダイヤル)] ホイールを回して表示順を変え、[(FUNC SET)] を押します。
- [MENU] ボタンを押します。

- 手順 2 で、項目が灰色になっていても設定はできますが、撮影モードによっては使えないことがあります。

- ［優先表示］を選び、［◀］か［▶］を押して［する］を選ぶと、撮影モードで［MENU］ボタンを押したときに、すぐにマイメニューを表示することができます。

- ［表示設定］の画面では、タッチして登録 / 解除する項目を選ぶこともできます。
- ［並べ換え］の画面では、項目をドラッグして表示順を変えることもできます。

6

再生モード

撮った画像を見て楽しんだり、いろいろな機能を使って画像の検索や編集をする

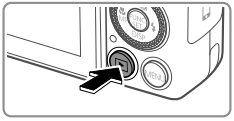
- [▶] ボタンを押して、再生モードにしてから操作してください。

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、再生や編集ができないことがあります。

見る

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像を画面で見ることができます。



1 再生モードにする

- [▶] ボタンを押します。
- 最後に撮影した画像が表示されます。

2 画像を選ぶ

- [◀] を押すか [◉] ホイールを反時計方向に回すと前の画像が表示され、[▶] を押すか [◉] ホイールを時計方向に回すと次の画像が表示されます。
- [◀] か [▶] を押したままにすると、画像が速く切り換わります。

- [◉] ホイールを速く回すとこの画面が表示されます（スクロール再生）。この状態で [◉] ホイールを回して画像を選びます。
- [MENU] を押すと 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に [▲] か [▼] を押すと、日付ごとにジャンプして画像を探せます。

- 動画では、[SET ▶] が表示されます。動画を再生するときは手順 3 に進みます。

3 動画を再生する

- [(FUNC/SET)] を押して動画操作パネルを表示し、[◀] か [▶] を押すか [(ダイヤル)] ホイールを回して [▶] を選び、もう一度 [(FUNC/SET)] を押すと再生がはじまります。

4 音量を調整する

- [▲] か [▼] を押して調節します。
- 音量バー (1) が消えても、[▲] か [▼] を押して調節することができます。

5 一時停止する

- [(FUNC/SET)] を押すたびに、一時停止／再開できます。
- 再生が終わると [SET ▶] が表示されます。

- 再生モードの状態でシャッターボタンを半押しすると撮影モードになります。
- スクロール再生を使わないようにするには、MENU (📖40) で [▶] タブの [スクロール再生] を選び、[切] を選びます。
- 再生モードにしたときに表示される画像を最新の撮影画像からにしたいときは、MENU (📖40) で [▶] タブの [再生開始位置] を選び、[最新の画像] を選びます。
- 画像を切り換えたときの効果を変えるには、MENU (📖40) で [▶] タブの [画像切り換え効果] を選び、目的の効果を選びます。

画面をタッチして操作する

- 画面を左方向にドラッグ（指を画面に触れたまま移動）すると、次の画像が表示され、右方向にドラッグすると前の画像が表示されます。

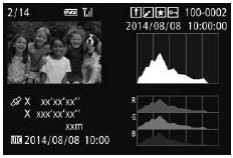
- 連続して素早くドラッグすると、スクロール再生の画面を表示できます。
- スクロール再生でも、画面を左右にドラッグして画像を選べます。
- 中央の画像をタッチすると 1 枚表示に戻ります。
- スクロール再生中に画面を上下方向に素早くドラッグすると、日付ごとにジャンプして画像を探せます。
- 「見る」の手順 2（178）で［▶］をタッチすると動画の再生がはじまります。
- 動画の再生中に画面を上下方向に素早くドラッグすると音量を調節できます。

- 再生中に画面をタッチすると停止して左の画面が表示され、次の操作ができるようになります。
- ［🔊］をタッチすると音量パネルが表示され、［▲］か［▼］をタッチすると音量を変えられます。音量が 0 のときは［🔇］が表示されます。
- スクロールバーをタッチしたり、左右方向にドラッグしたりすると、表示するフレームを変えられます。
- ［▶］をタッチすると再開されます。
- ［⮌］をタッチすると「見る」の手順 2（178）の画面に戻ります。

表示を切り換える

▶ 静止画　▶ 動画

画面表示は、[▼]を押して切り換えます。画面に表示される情報の詳細については、「再生時（詳細情報表示）」（321）を参照してください。

	情報表示なし
	簡易情報表示
	詳細情報表示
	RGB ヒストグラム / GPS 情報表示

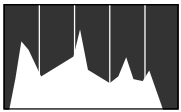
高輝度（ハイライト）警告

▶ 静止画 ▶ 動画

「詳細情報表示」（🕮181）にすると、画像上の白トビした部分が点滅表示されます。

ヒストグラム

▶ 静止画 ▶ 動画

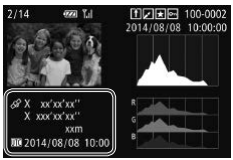


- 「詳細情報表示」（🕮181）のグラフは、画像中の明るさの分布を示したヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの量を示していて、露出の傾向を確認できます。
- ヒストグラムは撮影時に表示することもできます（🕮169、🕮319）。

RGB ヒストグラム /GPS 情報表示

▶ 静止画 ▶ 動画

- 「RGB ヒストグラム」は画像中の赤、緑、青の分布を示す RGB ヒストグラムが表示されます。横軸は各色の明るさ、縦軸は色の明るさごとの量を示していて、色の傾向を確認できます。



- カメラとスマートフォンを Wi-Fi でつなぐと、スマートフォンを操作してカメラ内の画像に GPS 情報（緯度、経度、標高など）を記録することができます（🕮256）。「GPS 情報表示」は、この記録した情報を確認できます。
- 表示内容は上から順に緯度、経度、標高、[UTC]（撮影日時）です。

- お使いのスマートフォンにない項目や正しく記録できなかった項目の数値には「---」が表示されます。

- [UTC] は Coordinated Universal Time の略で、協定世界時であるグリニッジ標準時とほぼ同じ日時です。
- GPS 情報がない画像では、「GPS 情報表示」は表示されません。

- 「詳細情報表示」の状態で、画面の下半分を上下にドラッグしても「RGB ヒストグラム」（静止画のみ）や「GPS 情報表示」に切り換えることができます。

静止画を撮影したときに作成された短編動画（ダイジェスト動画）を見る

▶ 静止画 ▶ 動画

[🎞] モード（📖51）で静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画を見ることができます。

1 画像を選ぶ

- [SET 🎞] が表示された静止画を選び [FUNC SET] を押します。

2 短編動画を再生する

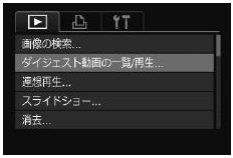
- [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [OK] を選びます。
- 静止画を撮影した日に作成された短編動画が先頭から再生されます。

- 情報表示なし（📖181）にしているときは、一定時間で [SET 🎞] が消えます。

● 手順 1 の画面で［SET］をタッチしたあと、手順 2 の画面で［OK］をタッチすることでもダイジェスト動画を再生できます。

日付ごとに選んで見る

ダイジェスト動画を、日付で選んで見ることができます。



1 再生する動画を選ぶ

● ［MENU］ボタンを押して、［▶］タブの［ダイジェスト動画の一覧 / 再生］を選び、目的の日付を選びます（📖40）。

2 再生する

● ［(SET)］を押すと、動画が再生されます。

■ 個人認証機能で検出された人を確認する

▶ 静止画　▶ 動画

簡易情報表示（📖181）にすると、個人認証機能（📖67）に登録している人として検出された最大 5 人までの名前が表示されます。

● ［▼］を何回か押して簡易情報表示にしたあと、［◀］か［▶］を押すか［⚙］ホイールを回して画像を選びます。

● 検出された人に名前が表示されます。

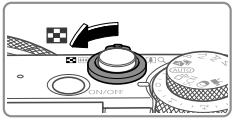
● 個人認証機能で撮影した画像に名前を表示させたくないときは、MENU（📖40）で［▶］タブの［認証情報］から［名前表示］を選び、［切］を選びます。

画像を探したり、特定の画像だけを見る

■ 一覧表示（インデックス表示）で画像を探す

▶ 静止画　▶ 動画

複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。



1 一覧表示にする

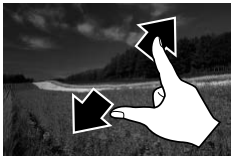
- ズームレバーを［▪▪］側に押すと一覧表示になり、さらに押すと表示される画像の数が増えます。
- ズームレバーを［Q］側に押すごとに、表示される画像の数が減ります。

2 画像を選ぶ

- ［◉］ホイールを回して表示画像を切り換えます。
- ［▲］［▼］［◀］［▶］を押して画像を選びます。
- 選ばれている画像にはオレンジ色の枠が表示されます。
- ［(FUNC/SET)］を押すと選ばれている画像が 1 枚表示になります。

> ● ［▲］か［▼］を押したままにするか［◉］ホイールを速く回すと、奥行きのある表示になりますが、MENU（📖40）で［▶］タブの［一覧表示の効果］を［切］にすると、この効果をつけずに表示することができます。

画面をタッチして操作する



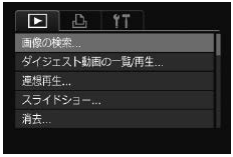
- 1 枚表示の状態で、2 本の指で画面をタッチし、指の間隔を縮めて画面をつまむように動かすと一覧表示になります。
- 同じ動作を繰り返すたびに、表示される画像の数が増えます。
- 画面を上下方向にドラッグすると、指の動きにあわせて表示が切り換わります。
- 2 本の指で画面をタッチし、指の間隔を広げるように動かすと、表示される画像の数が減ります。
- 画像をタッチして選び、もう一度タッチすると、タッチした画像が 1 枚表示になります。

■ 指定した条件で画像を探す

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。また、検索した画像だけをまとめて保護したり（🕮197）、消したり（🕮201）することもできます。

★ お気に入り	お気に入り設定した画像（🕮206）を表示
⊙ 日付	指定した撮影日の画像を表示
人物	顔が検出された画像を表示
静止画／動画	静止画、動画、[A] モード（🕮51）で作成された動画のいずれかを表示
名前	登録した人の画像（🕮68）を表示



1 [画像の検索] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [画像の検索] を選びます (📖40)。

2 1 つ目の条件を選ぶ

- [▲] か [▼] を押して条件を選びます。
- [★] [👥] を選んだときは、[◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して検索された画像だけを見ることができます。検索した画像だけをまとめて操作したいときは、[(FUNC/SET)] を押して、手順 4 に進みます。

3 2 つ目の条件を選んで、検索した画像を見る

- 1 つ目の条件に [♡] [👥] を選んだときは [◀] か [▶] を押して 2 つ目の条件を選び、[◉] ホイールを回すと検索された画像だけを見ることができます。
- 検索された画像だけの表示に切り換えるときは、[(FUNC/SET)] を押して手順 4 に進みます。
- 1 つ目の条件に [👤] を選んだときは [(FUNC/SET)] を押して表示された画面で [▲] [▼] [◀] [▶] を押して人物を選びます。

4 検索した画像を見る

- 検索した画像が黄色の枠つきで表示され、[◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回すと検索した画像だけを見ることができます。
- 検索した画像の表示を解除するときは、[▲] を押します。

- 目的の条件と一致する画像がないときは、条件を選ぶことはできません。

- 手順4で[▼]を押すと、情報の非表示／表示を切り換えられます。
- 検索した画像を表示しているとき（手順 4）は、「一覧表示（インデックス表示）で画像を探す」（🕮185）、「拡大して見る」（🕮193）、「スライドショーで見る」（🕮194）などの操作で画像を見ることもできます。また、「保護する」（🕮197）で［検索した全画像を保護］、「まとめて消す」（🕮202）、「印刷指定（DPOF）」（🕮300）、「フォトブック指定」（🕮304）で［検索したすべての画像を指定］を選ぶと、検索した画像だけをまとめて操作することができます。
- 画像を編集して新規保存（🕮210 ～ 🕮217）などを行うとメッセージが表示されて、検索した画像の表示が解除されます。

- 手順 2、3 で画面をタッチして条件を選ぶこともできます。
- 条件を選んだあと、1 つ目の条件をもう一度タッチすると検索した画像を見ることができます。

コントローラーリングを使って画像をとばす

▶ 静止画 ▶ 動画

コントローラーリングを使って、指定した条件で画像をとばして、目的の画像を素早く探せます。

お気に入りジャンプ	お気に入り設定した画像（🕮206）を表示
日付ジャンプ	各撮影日の先頭画像を表示
10 枚ジャンプ	画像を 10 枚ずつとばして表示
100 枚ジャンプ	画像を 100 枚ずつとばして表示

1 条件を選ぶ

- 1 枚表示の状態で［◉］リングを回したあと、［▲］か［▼］を押して条件（ジャンプ方法）を選びます。

2 選んだ条件の画像を見たり、画像をとばす

- [ ] リングを回すと選んだ条件の画像だけを見たり、選んだ条件の単位で画像をとばします。

画面をタッチして操作する

- 2本の指で左右方向にドラッグすることでも「コントローラーリングを使ってとばす」の手順1（188）で選んだジャンプ方法で、画像をとばして表示できます。

- インデックス表示のときに [ ] リングを回すと、1枚表示のときに選んだジャンプ方法で、画像をとばして表示します。ただし、[ ] [ ] を選んでいるときは、[ ] になります。

グループ化された画像を1枚ずつ見る

▶ 静止画 ▶ 動画

連続撮影（65、146）された画像、[ ] モード（86）で撮影された画像、[ ] モード（113）で保存された素材画像はグループ化されて表示されますが、グループ内の画像を1枚ずつ見ることもできます。

1 グループ化された画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [ ] ホイールを回して [SET] が表示された画像を選び、[ ] を押します。

2 グループ内の画像を 1 枚ずつ見る

- [◀] か [▶] を押すか [⚙] ホイールを回すとグループ内の画像のみが表示されます。
- [▲] を押すと [全画像再生に戻ります] と表示され、[(SET)] を押すとグループ再生が解除されます。

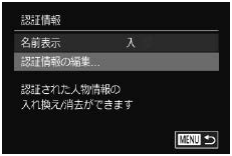
- グループ再生の状態（手順 2）で「一覧表示（インデックス表示）で画像を探す」（📖185）ことや、「拡大して見る」（📖193）ことができます。また、「保護する」（📖197）で［グループ内の全画像を保護］、「まとめて消す」（📖202）、「印刷指定（DPOF）」（📖300）、「フォトブック指定」（📖304）で「グループ内の全画像」を指定すると、グループ内のすべての画像をまとめて操作することができます。
- グループ化を解除して、1 枚ずつの画像として表示したいときは、MENU（📖40）で［▶］タブの［グループ表示］を選び、[切] を選びます（📖40）。ただし、グループ化された画像を 1 枚ずつ見ているときは、グループ化を解除できません。
- [📷] モードで「多彩な写真を撮る（クリエイティブショット）」の手順 2（📖86）のような並びで表示されるのは、撮影直後だけです。

- 手順 1 の画面で［SET］をタッチすることでもグループ内の画像を 1 枚ずつ見ることができます。

個人認証情報を編集する

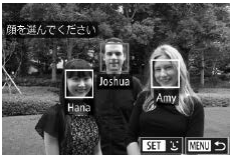
再生時に画面に表示された名前が誤っているときは、正しい名前に入れ換えたり、消したりすることもできます。
ただし、検出されず名前が表示されなかった人や名前を消した人に、あとから名前を付けることはできません。

名前を入れ換える



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの［認証情報］を選びます（📖40）。
- [▲] か [▼] を押すか [🎛] ホイールを回して［認証情報の編集］を選び、[FUNC/SET] を押します。



2 画像を選ぶ

- 「個人認証機能で検出された人を確認する」（📖184）の操作で画像を選び、[FUNC/SET] を押します。
- 選択された顔にオレンジ色の枠が表示されるので、複数の名前が表示されているときは、[◀] か [▶] を押すか [🎛] ホイールを回して入れ換えたい顔を選び、[FUNC/SET] を押します。

3 編集内容を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [🎛] ホイールを回して［入れ換え］を選び、[FUNC/SET] を押します。

4 入れ換える人の名前を選ぶ

- 「顔情報を入れ換え／追加する」の手順 2（📖72）の操作で入れ換える人の名前を選びます。

- 手順２で画像を選んだあと、[SET] をタッチしてオレンジ色の枠を表示し、入れ換えたい顔をタッチすることでも［認証情報の編集］画面を表示できます。
- 手順３で編集内容をタッチして選ぶこともできます。

名前を消す

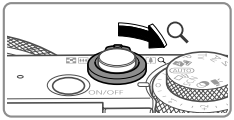
- 「名前を入れ換える」の手順３（191）で表示された画面で［消去］を選び、[FUNC SET] を押します。
- ［消去しますか？］が表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して［OK］を選び、[FUNC SET] を押します。

- ［消去しますか？］が表示されたら［OK］をタッチして名前を消すこともできます。

いろいろな方法で画像を見る

■ 拡大して見る

▶ 静止画　▶ 動画



(1)

1 拡大する

- ズームレバーを［Q］側に押すと拡大表示になり、押したままにすると最大約 10 倍まで拡大できます。
- 画面には表示位置の目安 (1) が表示されます。
- ズームレバーを［▪▪］側に押すと縮小表示になり、押したままにすると 1 枚表示に戻ります。

2 表示位置を移動したり、画像を切り換える

- ［▲］［▼］［◀］［▶］を押すと、表示位置が移動します。
- ［◉］ホイールを回すと拡大したまま画像を切り換えられます。

- 拡大表示のときに［MENU］ボタンを押すと、1 枚表示に戻すことができます。
- ［SET］が表示されているときに［(設定)］を押すと、ピント合わせを行った位置が表示され、ピント位置を確認できます（フォーカスチェッカー）。ピントが合った位置が複数あるときは、［(設定)］を押すたびに、拡大される位置が移動します。

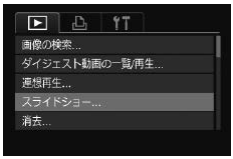
画面をタッチして操作する

- 2 本の指で画面をタッチし、指の間隔を広げるように動かすと拡大表示になります。
- 同じ動作を繰り返すと、最大約 10 倍まで画像を拡大できます。
- 画面をドラッグすると、表示位置が移動します。
- 2 本の指で画面をタッチし、指の間隔を縮めて画面をつまむように動かすと、縮小表示になります。
- [MENU] をタッチすると 1 枚表示に戻ります。

スライドショーで見る

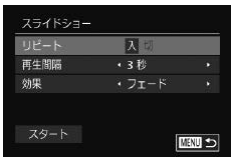
▶ 静止画 ▶ 動画

カードに記録されている画像を自動的に再生します。



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [スライドショー] を選びます (📖40)。



2 設定する

- 設定するメニュー項目を選び、目的の項目を選びます (📖40)。

3 自動再生をはじめる

- [▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回して [スタート] を選び、[(SET)] を押します。
- [画像読み込み中] が数秒間表示されたあと、スライドショーがはじまります。
- [MENU] ボタンを押すと終わります。

- スライドショー中に節電機能（📖33）は働きません。

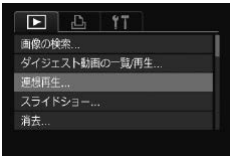
- 再生中に [(SET)] を押すと一時停止／再開ができます。
- 再生中に [◀] か [▶] を押すか [⊛] ホイールを回すと画像を切り換えられ、[◀] か [▶] を押したままにすると早送りできます。

- 画面をタッチしてスライドショーを終えることもできます。

いろいろな画像を表示する（連想再生）

▶ 静止画 ▶ 動画

表示している画像をもとに、４つの画像をカメラが選んで表示します。その中から１つ選ぶとさらに４つの画像が表示されるので、思いがけない順番の再生が楽しめます。いろいろなシーンの画像をたくさん撮ったあとなどにおすすめです。



1 連想再生にする

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [連想再生] を選び、[(SET)] を押します（📖40）。
- ４枚の画像が候補として表示されます。

2 画像を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して次に見たい画像を選びます。
- 選んだ画像が画面中央に表示され、次の 4 枚の候補が表示されます。
- [FUNC.] を押すと画面中央の画像が画面いっぱいに表示されます。もう一度 [FUNC.] を押すともとの表示に戻ります。
- [MENU] ボタンを押すと 1 枚表示に戻ります。

- 次のときは連想再生を使えません。
  - このカメラで撮影した静止画が 50 枚に満たないとき
  - 対象の画像以外を表示しているとき
  - 検索した画像を表示しているとき（📖186）
  - グループ再生しているとき（📖189）

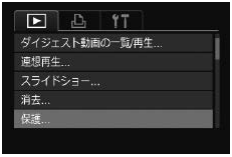
- 手順 2 の画面で上下左右の画像をタッチすると選んだ画像が画面中央に表示され、次の 4 枚の候補が表示されます。
- 手順 2 の画面で画面中央の画像をタッチすると、その画像が画面いっぱいに表示されます。もう一度画面をタッチするともとの表示に戻ります。

保護する

▶ 静止画　▶ 動画

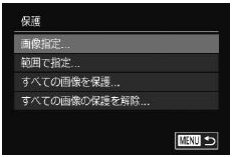
大切な画像をカメラの消去機能（📖201）で誤って消さないよう、保護することができます。

指定方法を選ぶ



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの［保護］を選びます（📖40）。



2 指定方法を選ぶ

- 目的のメニュー項目を選び、目的の項目を選びます（📖40）。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

- カードを初期化（📖269、📖270）すると、保護された画像も消えます。

- 保護された画像は、カメラの消去機能では消えません。画像を消すときは、保護を解除してください。

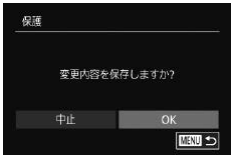
1 枚ずつ指定する

1 ［画像指定］を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順 2（📖197）の操作で［画像指定］を選び、［(SET)］を押します。

2 画像を選び指定する

- ［◀］か［▶］を押すか［⚙］ホイールを回して画像を選び、［(SET)］を押すと［🔑］が表示されます。
- もう一度［(SET)］を押すと［🔑］が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。



3 保護する

- ［MENU］ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- ［◀］か［▶］を押すか［⚙］ホイールを回して［OK］を選び、［(SET)］を押します。

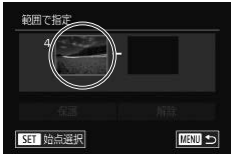
- 手順 3 の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、保護されません。

- 手順 2 で画面をタッチすることでも画像を選んだり解除したりすることができ、［MENU］をタッチすると確認画面が表示されます。
- 手順 3 の画面で［OK］をタッチして保護することもできます。

範囲で指定する

1 [範囲で指定]を選ぶ

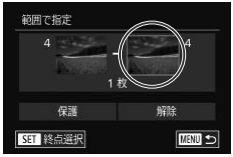
- 「指定方法を選ぶ」の手順2（197）の操作で［範囲で指定］を選び、［(SET)］を押します。



2 始点の画像を指定する

- ［(SET)］を押します。

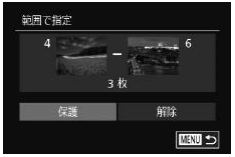
- ［◀］か［▶］を押すか［(ダイヤル)］ホイールを回して画像を選び、［(SET)］を押します。



3 終点の画像を指定する

- ［▶］を押して［終点選択］にし、［(SET)］を押します。

- ［◀］か［▶］を押すか［(ダイヤル)］ホイールを回して画像を選び、［(SET)］を押します。
- 始点より前の画像は選べません。



4 保護する

- [▼] を押して［保護］を選び、[(SET)] を押します。

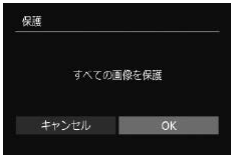
- 手順 2、3 の上側の画面では、[◉] ホイールを回して、始点、終点の画像を選ぶこともできます。
- 手順 4 で [解除] を選ぶと、選んだ画像の保護をまとめて解除することができます。

- 手順 2、3 の上側の画面で画像をタッチして始点、終点の画像を選ぶ画面を表示することができます。
- 手順 4 の画面で［保護］をタッチして画像を保護することもできます。

■ すべての画像を保護する

1 ［すべての画像を保護］を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順 2（📖197）の操作で［すべての画像を保護］を選び、[(SET)] を押します。



2 保護する

- [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して［OK］を選び、[(SET)] を押します。

すべての画像の保護を解除する

すべての画像の保護をまとめて解除することができます。
解除するときは、「すべての画像を保護する」の手順 1 の操作で［すべての画像の保護を解除］を選び、手順 2 の操作を行います。

消す

▶ 静止画　▶ 動画

不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像はもとに戻せないので十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像（197）は消えません。

1 消したい画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して画像を選びます。

2 消す

- [🗑] ボタンを押します。
- [消去?] が表示されたら、[◀] か [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して [消去] を選び、[SET] を押します。
- 表示していた画像が消えます。
- 中止するときは、[◀] か [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して [キャンセル] を選び、[SET] を押します。

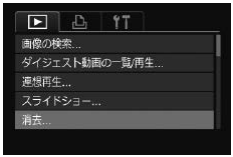
- [RAW+JPEG] の画像を表示して [🗑] ボタンを押すと、[RAWのみ消去] [JPEGのみ消去] [RAW+JPEG消去] が表示されるので、項目を選んで消すことができます。

- 手順 2 の画面で [消去] をタッチすることでも表示していた画像を消すことができます。
- タッチアクションで消すこともできます（208）。

まとめて消す

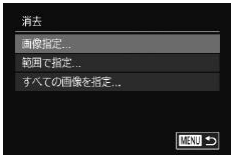
画像を選んでまとめて消すことができます。消した画像はもとに戻せないので十分に確認してから消してください。ただし、保護された画像（📖197）は消えません。

指定方法を選ぶ



1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの［消去］を選びます（📖40）。



2 指定方法を選ぶ

- 目的のメニュー項目を選び、目的の項目を選びます（📖40）。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

1 枚ずつ指定する

1 ［画像指定］を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順 2（📖202）の操作で［画像指定］を選び、[(SET)] を押します。

2 画像を選ぶ

- 「1 枚ずつ指定する」の手順 2（📖198）の操作で画像を選ぶと、[✓] が表示されます。
- もう一度 [(SET)] を押すと［✓］が消え、解除されます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。

3 消す

- [MENU] ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- [◀] か [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して [OK] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。

範囲で指定する

1 [範囲で指定] を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順 2 (📖202) の操作で [範囲で指定] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。

2 画像を指定する

- 「範囲で指定する」の手順 2 ～ 3 (📖199) の操作で指定します。

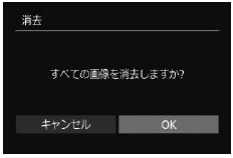
3 消す

- [▼] を押して [消去] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。

すべての画像を指定する

1 [すべての画像を指定] を選ぶ

- 「指定方法を選ぶ」の手順 2 (📖202) の操作で [すべての画像を指定] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。



2 消す

- [◀] か [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して [OK] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。

回転する

▶ 静止画 ▶ 動画

画像の向きを変えて保存することができます。

1 [回転] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [回転] を選びます (📖40)。

2 回転する

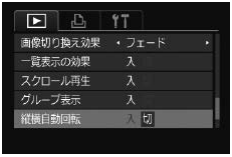
- [◀] か [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して画像を選びます。
- [(FUNC/SET)] を押すたびに 90 度単位で回転します。
- [MENU] ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

- [縦横自動回転] が [切] のときは回転できません (📖205)。

- 手順 2 の画面で [SET] をタッチして画像を回転させたり、[MENU] をタッチしてメニュー画面に戻ることもできます。

自動回転機能を切る

カメラの向きに応じて画像を自動回転する機能を使わないようにすることができます。



- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの［縦横自動回転］を選び、項目の［切］を選びます（📖40）。

- ［切］にすると、画像の回転（📖204）はできません。また、すでに回転させていた画像も、もとの向きで表示されます。
- 連想再生（📖195）では、［切］に設定しても、縦位置で撮影された画像は縦位置で、撮影後に回転させた画像は回転した状態で表示されます。

お気に入り設定をする

▶ 静止画 ▶ 動画

お気に入りを設定して、撮影した画像を分類できます。設定した画像だけを検索して、次の操作をすることができます。

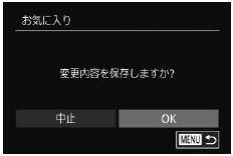
- 「見る」(📖178)、「スライドショーで見る」(📖194)、「保護する」(📖197)、「消す」(📖201)、「印刷指定(DPOF)」(📖300)、「フォトブック指定」(📖304)

1 [お気に入り]を選ぶ

- [MENU]ボタンを押して、[▶]タブの[お気に入り]を選びます(📖40)。

2 画像を選ぶ

- [◀]か[▶]を押すか[⚙]ホイールを回して画像を選び、[(FUNC/SET)]を押すと[★]が表示されます。
- もう一度[(FUNC/SET)]を押すと[★]が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。



3 設定する

- [MENU]ボタンを押すと確認画面が表示されます。
- [◀]か[▶]を押すか[⚙]ホイールを回して[OK]を選び、[(FUNC/SET)]を押します。

> ● 手順3の操作をする前に、撮影モードに切り換えたり電源を切ったときは、お気に入りが設定されません。

- Windows 8、Windows 7 をお使いのときは、お気に入り設定した画像をパソコンに取り込むと、評価が 3（★★★☆☆）に設定されます（RAW 画像と動画を除く）。

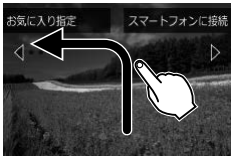
- 手順 2 で画面をタッチすることでも表示中の画像の選択／解除ができます。
- タッチアクションでお気に入りを設定することもできます（📖208）。

タッチアクションでかんたんに操作する

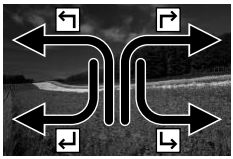
▶ 静止画 ▶ 動画

1 枚表示のとき、特定の 4 方向に画面をドラッグすると、それぞれの方向に登録してある機能を素早く、かんたんに呼び出すことができます。

タッチアクションの機能を使う



- 画面を図のようにドラッグします。
- [↰] に登録されている機能が呼び出されます。



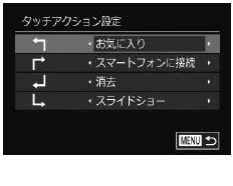
- [↱] [↵] [↳] に登録されている機能も同じように画面をドラッグして呼び出すことができます。
- タッチアクションに登録されている機能は変えられます。

タッチアクションの機能を変える

それぞれの方向のドラッグ操作に登録されている機能を、自分好みに変えて使いやすくすることができます。

1 設定画面を表示する

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの［タッチアクション設定］を選びます (📖40)。



2 タッチアクションに機能を登録する

- [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回してタッチアクションの方向を選び、[◀] か [▶] を押してタッチアクションに登録する機能を選びます。

登録できる機能

お気に入り	画像をお気に入りに設定したり、解除したりします。
次のお気に入り画像	次のお気に入り設定された画像を表示します。
前のお気に入り画像	前のお気に入り設定された画像を表示します。
次の日の画像	次の日に撮影した最初の画像を表示します。
前の日の画像	前の日に撮影した最初の画像を表示します。
連想再生	連想再生を開始します。
カメラに接続	Wi-Fi 接続の画面を表示します。 Wi-Fi 機能については、「Wi-Fi 機能」（219）を参照してください。
スマートフォンに接続	
パソコンに接続	
プリンターに接続	
Web サービスに接続	
スライドショー	スライドショーを開始します。
消去	画像を消去します。
保護	画像を保護したり、解除したりします。
回転	画像を回転します。

静止画を編集する

- 静止画の編集機能（📖210～📖215）は、カードに空き容量がないと使えません。

- [MENU] で機能を選んだあと、画像を選んでタッチすることで、それぞれの機能の編集画面を表示することができます。
- 編集画面に［MENU］が表示されているときは、［MENU］をタッチすることでも［MENU］ボタンと同じ操作ができます。
- 編集画面に［SET］が表示されているときは、［SET］をタッチすることでも［(FUNC SET)］ボタンと同じ操作ができます。

■ 画像を小さくする（リサイズ）

▶ 静止画 ▶ 動画

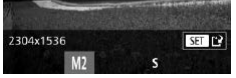
撮影した画像を小さな記録画素数にして、別画像として保存できます。

1 ［リサイズ］を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、［▶］タブの［リサイズ］を選びます（📖40）。

2 画像を選ぶ

- ［◀］か［▶］を押すか［⊛］ホイールを回して画像を選び、［(FUNC SET)］を押します。



3 大きさを選ぶ

- ［◀］か［▶］を押すか［⊛］ホイールを回して大きさを選び、［(FUNC SET)］を押します。
- ［新規保存しますか？］が表示されます。

4 新規保存する

- ［◀］か［▶］を押すか［⊛］ホイールを回して［OK］を選び、［(FUNC SET)］を押します。
- 別画像として保存されます。

5 画像を確認する

- [MENU] ボタンを押すと［保存した画像を表示します］が表示されます。
- [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して［はい］を選び、[SET] を押します。
- 保存した画像が表示されます。

- 記録画素数（📖76）が [S] の画像は、編集できません。
- RAW 画像は編集できません。

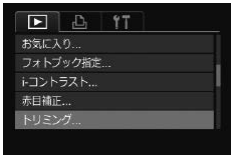
- 撮影した画像の記録画素数よりも大きくはできません。

- 手順 3 の画面で大きさをタッチして選び、もう一度タッチしたあと、[OK] をタッチすることでも設定できます。
- 手順 5 で［はい］をタッチすることでも保存した画像を表示できます。

■ 画像を切り抜く（トリミング）

▶ 静止画 ▶ 動画

撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。



1 ［トリミング］を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの［トリミング］を選びます（📖40）。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して画像を選び、[SET] を押します。

3 切り抜く範囲を調整する

- 画像を切り抜く範囲 (1) が枠で表示されます。
- 左上にもと画像、右下に切り抜き後の画像 (2) が表示されます。また、切り抜き後の記録画素数 (3) も確認できます。
- ズームレバーを動かすと枠の大きさが変えられます。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すと枠の位置が移動できます。
- [㊗] を押すと枠の縦横が変えられます。
- 顔が検出された画像では、左上の画面の顔の位置に灰色の枠が表示されます。[◉] ホイールを回すと別の枠に切り換わり、枠を中心にトリミングできます。
- [MENU] ボタンを押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする（リサイズ）」の手順 4 ～ 5（📖210）の操作を行います。

- 記録画素数が [S] の画像（📖76）や、リサイズした [S] の画像（📖210）は、編集できません。
- RAW 画像は編集できません。

- トリミングできる画像の縦横比率は編集前と同じです。
- トリミングした画像の記録画素数は、トリミング前の画像より小さくなります。
- 個人認証機能（📖67）で撮影した静止画をトリミングしたときは、トリミング後に表示されている人の名前だけが残ります。

- 手順 3 の画面で左上の画像や右下の画像をドラッグすると枠の位置を移動できます。
- 手順 3 の画面が表示されているときに、2 本の指で画面をタッチして指の間隔を広げたり縮めたりする（📖194）ことでも枠の大きさを変えることができます。

画像の色調を変える（レタッチマイカラー）

▶ 静止画　▶ 動画

画像の色調を変え、別画像として保存できます。各項目の内容は「画像の色調を変える（マイカラー）」（🕮132）を参照してください。

1 ［レタッチマイカラー］を選ぶ

- ［MENU］ボタンを押して、［▶］タブの［レタッチマイカラー］を選びます（🕮40）。

2 画像を選ぶ

- ［◀］か［▶］を押すか［◉］ホイールを回して画像を選び、［(SET)］を押します。

3 項目を選ぶ

- ［◀］か［▶］を押すか［◉］ホイールを回して項目を選び、［(SET)］を押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする（リサイズ）」の手順4～5（🕮210）の操作を行います。

- 同じ画像に対して色調を繰り返し変えると、画質が徐々に低下したり、思いどおりの色にならないことがあります。
- RAW 画像の色調は変えられません。

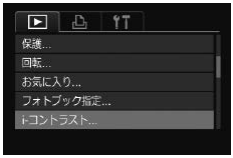
- 撮影時のマイカラー（🕮132）と色調が若干異なることがあります。

- 手順3の画面で項目をタッチして選び、もう一度タッチすることでも設定できます。

明るさを補正する（i- コントラスト）

▶ 静止画 ▶ 動画

人の顔や背景など、一部が暗く撮影された画像は、その部分を検出し、最適な明るさに自動補正します。また、画像全体で明暗差が小さい画像は、くっきりした印象となるように自動補正します。補正方法は 4 種類から選べ、別画像として保存できます。



1 [i- コントラスト] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [i- コントラスト] を選びます（📖40）。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🎛] ホイールを回して画像を選び、[(FUNC)] を押します。

3 項目を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [🎛] ホイールを回して項目を選び、[(FUNC)] を押します。

4 新規保存して画像を確認する

- 「画像を小さくする（リサイズ）」の手順 4 ～ 5（📖210）の操作を行います。

- 画像によっては、画像が粗くなったり、正しく補正されないことがあります。
- 同じ画像に対して補正を繰り返すと、画像が粗くなることがあります。
- RAW 画像の補正はできません。

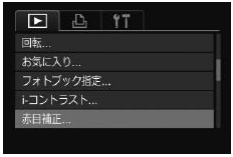
- [オート] で思いどおりに補正されないときは、[弱] [中] [強] のいずれかを選んで補正します。

- 手順 3 の画面で、[◀] か [▶] をタッチして項目を選ぶこともできます。

赤目を補正する

▶ 静止画 ▶ 動画

目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正して、別画像として保存できます。



1 [赤目補正] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの [赤目補正] を選びます（📖40）。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [⚙] ホイールを回して画像を選びます。

3 補正する

- [(SET)] を押します。
- 検出された赤目部分が補正され、補正した部分に枠が表示されます。
- 「拡大して見る」（📖193）の操作で画像を拡大／縮小できます。

4 新規保存して画像を確認する

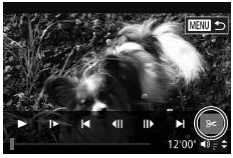
- [▲][▼][◀][▶] を押すか [⚙] ホイールを回して [新規保存] を選び、[(SET)] を押します。
- 別画像として保存されます。
- 「画像を小さくする（リサイズ）」の手順5（📖210）の操作を行います。

- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。
- 手順 4 で［上書き保存］を選んだときは、補正内容で上書きされるため、補正前の画像は残りません。
- 保護されている画像は上書き保存できません。
- RAW 画像の補正はできません。
- [RAW] で撮影した JPEG 画像は赤目補正ができますが、上書き保存はできません。

- 手順 4 の画面で［新規保存］や［上書き保存］をタッチすることでも画像を保存できます。

動画を編集する

撮影した動画の前後を削除できます（ダイジェスト動画（📖51）を除く）。



(1)

(2)

1 [✂] を選ぶ

- 「見る」の手順 1 ～ 5（📖178）の操作で［✂］を選び、［(FUNC/SET)］を押します。
- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。

2 編集範囲を指定する

- (1) は動画編集パネル、(2) は動画編集バーです。
- ［▲］か［▼］を押して［✂前］または［✂後］を選びます。
- ［◀］か［▶］を押すか［◉］ホイールを回して［▮］を動かすと、編集できるところで［✂］が表示されます。［✂前］を選ぶと［✂］位置より前部、［✂後］を選ぶと後部が削除されます。
- ［▮］を［✂］以外の位置に指定しても、［✂前］では 1 つ左側の［✂］位置よりも前部、［✂後］では 1 つ右側の［✂］位置よりも後部が削除されます。

3 編集した動画を確認する

- ［▲］か［▼］を押して［▶］を選び、［(FUNC/SET)］を押すと、編集した動画が再生されます。
- もう一度編集するときは手順 2 の操作を行います。
- 編集を中止するときは、［MENU］ボタンを押したあと、［◀］か［▶］を押すか［◉］ホイールを回して［OK］を選び、［(FUNC/SET)］を押します。

4 編集した動画を保存する

- [▲] か [▼] を押して [🎞] を選び、[FUNC/SET] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [⚙] ホイールを回して [新規保存] を選び、[FUNC/SET] を押します。
- [圧縮せず新規保存] を選び、[FUNC/SET] を押します。
- 別動画として保存されます。

- 手順 4 で [上書き保存] を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
- カードの空き容量が足りないときは、[上書き保存] しか選べません。
- 動画の保存中にバッテリーがなくなると、保存できないことがあります。
- 編集するときは、フル充電されたバッテリーか AC アダプターキット（別売）（📖280）を使うことをおすすめします。

ファイルサイズを小さくする

動画を圧縮して保存することで、ファイルサイズを小さくできます。

- 「動画を編集する」の手順 2 の画面で [🎞] を選んだあと [新規保存] を選び、[FUNC/SET] を押します。
- [圧縮して新規保存] を選び、[FUNC/SET] を押します。

- 圧縮した動画は、[HD 30P] で保存されます。
- [VGA 30P] の動画は、圧縮できません。
- 編集した動画を保存するときに [上書き保存] を選ぶと、圧縮できません。

● 動画編集パネルや動画編集バーをタッチして編集することもできます。

ダイジェスト動画を編集する

▶ 静止画 ▶ 動画

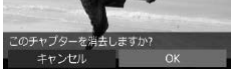
[🅰] モードで作成されたチャプター（📖51）を 1 つずつ選んで消すことができます。消したチャプターはもとに戻すことはできません。十分に確認してから消してください。

1 チャプターを選ぶ

- 「静止画を撮影したときに作成された短編動画（ダイジェスト動画）を見る」の手順 1 ～ 2（📖183）の操作で [🅰] モードで作成された動画を再生し、[㊗] を押して動画操作パネルを表示します。
- [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [|◀] か [▶|] を選び [㊗] を押します。

2 [🗑] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [🗑] を選び、[㊗] を押します。
- 選んだチャプターが繰り返し再生されます。



3 確認して消す

- [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [OK] を選び、[㊗] を押します。
- チャプターが消去され、上書き保存されます。

● プリンターとつないだときは、チャプターを選んでも [🗑] は表示されません。

7

Wi-Fi 機能

カメラで撮影した画像を無線でいろいろな無線対応機器へ送ったり、Web サービスを利用する

Wi-Fi でできること

このカメラは、以下の機器やサービスと Wi-Fi で接続して、画像の送受信やカメラの操作ができます。

- スマートフォン、タブレット端末
  Wi-Fi 機能を持つスマートフォンやタブレット端末に画像を送信できます。また、スマートフォンやタブレット端末を使ってリモート撮影したり、カメラで撮影した画像に位置情報を記録することができます。なお、以降、スマートフォンとタブレット端末をあわせて「スマートフォン」と記載しています。
- パソコン
  カメラとパソコンを Wi-Fi で接続し、ソフトウェアを使ってカメラの画像を取り込むことができます。
- Web サービス
  キヤノンのオンラインフォトサービス CANON iMAGE GATEWAY や、いろいろな Web サービスをカメラに登録して、カメラ内の画像を送信できます。また、カメラ内の未転送画像を CANON iMAGE GATEWAY 経由でパソコンや Web サービスに自動で送ることもできます。
- プリンター
  Wi-Fi で使える PictBridge（DPS over IP）に対応したプリンターに画像を送って印刷できます。
- 別のカメラ
  キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラ同士で画像を送信できます。

スマートフォンに画像を送る

カメラとスマートフォンを接続して画像を送るには次の 2 つの方法があります。

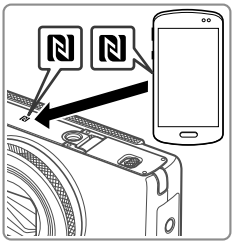
- [📱] ボタンに登録して接続する（📖222）
  [📱] ボタンを押すだけで、スマートフォンと接続するようにできます。スマートフォンから画像取り込みの操作（📖222）をするときにおすすめです。なお、[📱] ボタンに登録できるスマートフォンは 1 台です。
- Wi-Fi メニューを使って接続する（📖225）
  パソコンなどほかの接続先と同様の操作で接続できます。また、複数のスマートフォンを登録できます。

カメラと接続する前に、お使いのスマートフォンに専用のアプリケーション「CameraWindow」（無料）をインストールする必要があります。アプリケーションの詳細（対応するスマートフォンや機能など）については、弊社 Web サイトで確認してください。

- どの方法でも、カメラ内画像への GPS 情報の記録（📖256）やリモート撮影（📖257）もできます。

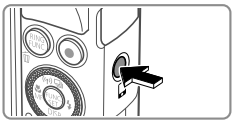
ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る

[📖] ボタンを押してスマートフォンと接続すると、次回からは [📖] ボタンを押すだけで、スマートフォンと接続して、カメラ内の画像を見たり取り込んだりできるようになります。
なお、ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます(📖227)。



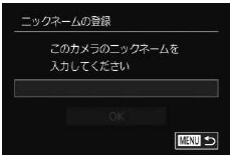
1 CameraWindow をインストールする

- Android（OS バージョン 4.0 以上）で NFC に対応しているスマートフォンでは、NFC 機能を有効にしてスマートフォンとカメラの N（N マーク）同士をタッチすると、スマートフォンで Google Play が自動的に起動します。CameraWindow のダウンロード画面が表示されたら、ダウンロードしてインストールします。
- その他の Android のスマートフォンでは、Google Play から CameraWindow を検索してダウンロードし、インストールします。
- iPhone や iPad では、App Store から CameraWindow を検索してダウンロードし、インストールします。

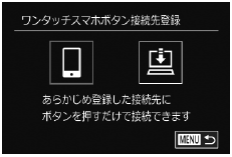


2 [📖] ボタンを押す

- [📖] ボタンを押します。

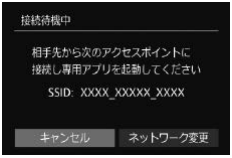


- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[(FUNC/SET)] を押して表示されたキーボード(📖42)でニックネームを入力したあと、[ニックネームの登録] 画面で [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して [OK] を選び [(FUNC/SET)] を押します。



3 [ ] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [ ] ホイールを回して [ ] を選び、[ ] を押します。



- 画面にカメラの SSID が表示されます。

4 スマートフォンをネットワークに接続する

- スマートフォンの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名)を選択して接続します。

5 CameraWindow を起動する

- Android（OS バージョン 4.0 以上）で NFC に対応しているスマートフォンでは、NFC 機能を有効にしてスマートフォンとカメラの N（N マーク）同士をタッチすると、スマートフォンで CameraWindow が自動的に起動します。
- そのほかのスマートフォンでは、スマートフォンを操作して CameraWindow を起動します。
- カメラがスマートフォンを認識すると、スマートフォンを選択する画面がカメラに表示されます。

6 接続するスマートフォンを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回してスマートフォンの名前を選び、[㊗] を押します。
- スマートフォンが接続され、カメラの画面にスマートフォンの名前が表示されます（約 1 分後に画面は消えます）。

7 画像を取り込む

- スマートフォンを操作してカメラ内の画像をスマートフォンに取り込みます。
- スマートフォンを操作して接続を切断すると、カメラの電源は自動的に切れます。

- NFC 機能をお使いになるときは、次のことに注意してください。
  - スマートフォンをカメラに強く当てないでください。スマートフォンやカメラに傷がつくことがあります。
  - スマートフォンによっては、認識されにくいことがあるので、位置をずらすなどしてゆっくりタッチしてください。
  - カメラとスマートフォンの間にものを置かないでください。また、カメラやスマートフォンにケースなどをつけていると、通信できないことがあります。

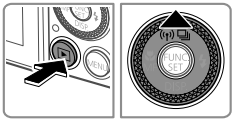
- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- ニックネームの 1 文字目に記号やスペースを入力しようとするとメッセージが表示されます。[㊗] を押してから入力しなおしてください。
- MENU (📖40) で [🔧] タブの [Wi-Fi 設定] を選び、[パスワード] を [入] にすると、手順 3 の画面に [パスワード] が表示されるようになり、セキュリティを強化できます。このときは、手順 4 でスマートフォンを操作するときに、カメラに表示されたパスワードをパスワード欄に入力してください。
- [📱] ボタンに登録できるスマートフォンは 1 台です。ほかのスマートフォンを [📱] ボタンに登録するときは、MENU (📖40) の [🔧] タブの [ワンタッチスマホボタン設定] で登録済みのスマートフォンを解除してから登録してください。
- NFC に対応したスマートフォンでも Ⓝ がないものがあります。詳しくはスマートフォンの使用説明書を参照してください。

Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する

ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます（📖227）。

1 CameraWindow をインストールする

- 「ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る」（📖222）の手順 1 の操作で CameraWindow をスマートフォンにインストールします。

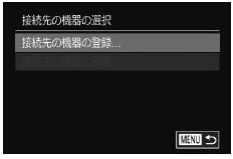


2 Wi-Fi メニューを表示する

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- [▲] を押します。
- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、ニックネームを入力します（📖222）。

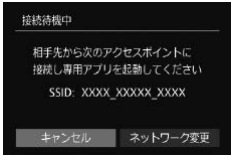
3 [📱] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して [📱] を選び、[(FUNC SET)] を押します。

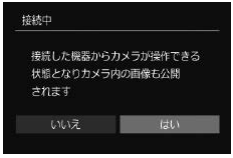


4 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回して [接続先の機器の登録] を選び、[(FUNC SET)] を押します。



- 画面にカメラの SSID が表示されます。
- 「ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る」（📖222）の手順 4 ～ 6 の操作で接続するスマートフォンを選びます。



5 公開設定する

- [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [はい] を選び、[(FUNC SET)] を押します。
- スマートフォンの操作で、カメラ内の画像の閲覧や取り込み、GPS 情報の記録、リモート撮影ができるようになります。

6 画像を送る

- [◉] ホイールを回して送信したい画像を選び、[◀] か [▶] を押して、[この画像を送信] を選び、[(FUNC SET)] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [送信] を選び、[(FUNC SET)] を押します。
- 画像の送信が開始されます。画像の送信中は画面が暗くなります。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、[MENU] を押して表示される確認画面で [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [OK] を選び [(FUNC SET)] を押します。スマートフォンを操作して接続を切断することもできます。
- 複数のスマートフォンを登録するときは、手順 1 から繰り返します。

- 手順 5 で [はい] を選ぶと、接続したスマートフォンから、カメラ内のすべての画像を見ることができるようになります。スマートフォンにカメラ内の画像を表示したくないときは、手順 5 の操作で [いいえ] を選んでください。
- 登録済みのスマートフォンに対する画像の公開設定を変更することもできます (259)。

- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [(SET)] を押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (📖40) の [🔧] タブにある [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます (📖250)。

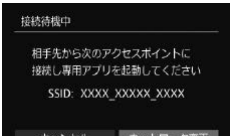
ほかのアクセスポイントを使う

[□] ボタンや Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンとカメラを接続するときは、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます。

1 接続待機の状態にする

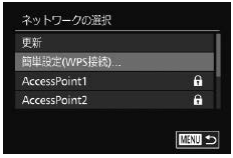
- 「ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る」(📖222) の手順 1 ～ 3 または「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(📖225) の手順 1 ～ 4 の操作で接続待機中の画面を表示します。

2 スマートフォンをアクセスポイントに接続する



3 [ネットワーク変更] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [⚙] ホイールを回して [ネットワーク変更] を選び、[(SET)] を押します。
- 検索されたアクセスポイントの一覧が表示されます。



4 アクセスポイントに接続してスマートフォンを選ぶ

- WPS に対応したアクセスポイントでは、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(📖234) の手順 5 ～ 8 の操作でアクセスポイントに接続して、スマートフォンを選びます。
- WPS に対応していないアクセスポイントでは、「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(📖238) の手順 2 ～ 4 の操作でアクセスポイントに接続して、スマートフォンを選びます。

5 公開設定して画像を送る

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(📖225) の手順 5 ～ 6 の操作で公開設定して、画像を送ります。

■ 接続したことのあるアクセスポイントがあるとき

接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、「ボタンにスマートフォンを登録して画像を送る」(📖222) の手順 3 や、「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(📖225) の手順 4 の操作で、カメラが自動でそのアクセスポイントに接続します。

- カメラをアクセスポイントにするときは、接続の最中に表示される画面の [ネットワーク変更] を選び、表示された画面で [カメラアクセスポイントモード] を選びます。
- 接続したことのあるアクセスポイントを使って接続するときは、「ほかのアクセスポイントを使う」(📖227) の手順 5 から操作してください。
- 別のアクセスポイントを使うときは、接続の最中に表示される画面の [ネットワーク変更] を選んだあと、「ほかのアクセスポイントを使う」(📖227) の手順 4 から操作してください。

パソコンに画像を取り込む

パソコンを登録するための準備をする

パソコンの環境を確認する

カメラと Wi-Fi 接続できるパソコンは以下のとおりです。詳細なシステム構成や最新の OS を含む対応状況については、弊社 Web サイトを確認してください。

- Windows 8/8.1
- Windows 7 SP1
- Mac OS X 10.9
- Mac OS X 10.8.2 以降

> ⚠
> - Windows 7 Starter / Home Basic には対応していません。
> - Windows 7 N（欧州版）/KN（韓国版）では、Windows Media Feature Pack を別途マイクロソフトのサポートページからダウンロードしてインストールする必要があります。
> 詳しくは、次の Web サイトで確認してください。
> http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=159730

インストールする

ここでは、Windows 7 と Mac OS X 10.8 を使って説明をしています。

用意するもの

- パソコン
- USB ケーブル（カメラ側端子は Mini-B）*

* USB ケーブルは付属されていません。なお、ケーブルを使わなくてもソフトウェアをインストールできますが、一部の機能は追加されません。

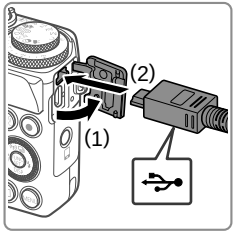
1 **ソフトウェアをダウンロードする**

- パソコンからインターネットへ接続し、「http://cweb.canon.jp/e-support/software/index.html」に接続します。
- ソフトウェアをダウンロードします。

2 インストールをはじめる

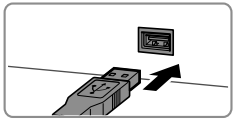
- ［おまかせインストール］をクリックし、表示される画面にしたがって操作を進めます。

3 カメラの接続をうながすメッセージが表示されたら、接続する／しないを選ぶ



カメラをパソコンとつなぐとき

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き（1）、USB ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます（2）。



- USB ケーブルの大きい方のプラグをパソコンの USB 端子に差し込みます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。
- カメラの電源を入れて、表示される画面にしたがって必要な操作を行い、インストールを進めます。

カメラをパソコンとつながないとき

- ［カメラを接続せずにインストールする］をチェックして、表示される画面にしたがって必要な操作を行い、インストールを進めます。

4 インストールする

- お使いのパソコンやインターネット環境によってはインストールに時間がかかることがあります。
- インストールを終えると表示される画面の［完了］または［再起動］をクリックします。
- カメラをパソコンとつないでインストールしたときは、カメラの電源を切ってからケーブルを抜きます。

- カメラによってソフトウェアの機能や内容が異なるため、カメラを複数お持ちのときは、それぞれのカメラを使って、ソフトウェアを最新バージョンに更新してください。

Wi-Fi 接続するための設定をする（Windows のみ）

お使いのパソコンが Windows のときは、カメラと Wi-Fi で接続するために、次の手順で Windows の設定を行ってください。

1 パソコンがアクセスポイントに接続していることを確認する

- 確認方法はパソコンの使用説明書を参照してください。

2 設定する

- ［スタート］メニュー►［すべてのプログラム］►［Canon Utilities］►［CameraWindow］►［Wi-Fi 接続のための設定］の順にクリックします。
- 起動したアプリケーションの画面にしたがって、設定してください。

- 手順 2 のアプリケーションを実行すると、Windows に次の設定が行われます。
  - メディアストリーミングを有効にする
    Wi-Fi で接続するパソコンをカメラが参照（検索）できるようになります。
  - ネットワーク探索を有効にする
    パソコンがカメラを参照（検索）できるようになります。
  - ICMP（Internet Control Message Protocol）を有効にする
    ネットワーク接続の通信状態を確認できるようになります。
  - UPnP（Universal Plug & Play）を有効にする
    ネットワーク機器を自動認識できるようになります。
- パソコンにインストールされているセキュリティーソフトによっては、上記の操作を行っても設定できないことがあります。セキュリティーソフトの設定を確認してください。

カメラとパソコンと接続して画像を取り込む

既存のアクセスポイントにカメラを Wi-Fi 接続します。
お使いのアクセスポイントの使用説明書もあわせて参照してください。

アクセスポイントを確認する

アクセスポイントとなる Wi-Fi 親機（Wi-Fi ルーターなど）は、「Wi-Fi」（353）に記載している Wi-Fi 規格に対応しているものをお使いください。
アクセスポイントが WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応しているとき（234）と対応していないとき（238）で、接続方法は異なります。また、WPS に対応していないアクセスポイントでは、次の項目を確認してください。

- ネットワーク名（SSID/ESSID）
  お使いのアクセスポイントの SSID または ESSID です。「アクセスポイント名」や「ネットワーク名」とも呼ばれることもあります。
- ネットワークの認証 / データの暗号化（暗号化方式 / 暗号化モード）
  無線通信時のデータを暗号化する方式です。「WPA2-PSK（AES）」「WPA2-PSK（TKIP）」「WPA-PSK（AES）」「WPA-PSK（TKIP）」「WEP（オープンシステム認証）」「なし」のいずれであるかを確認してください。
- パスワード（暗号化キー / ネットワークキー）
  無線通信時のデータを暗号化するために使われるキー（鍵）です。「暗号化キー」や「ネットワークキー」と呼ばれることもあります。
- キーのインデックス（送信キー）
  「ネットワークの認証 / データの暗号化」が「WEP」のときに設定するキーです。「1」にしてください。

- システム管理者がいるネットワーク内で設定するときは、ネットワーク管理者にネットワーク設定の詳細をお問いあわせください。
- これらの情報はセキュリティー上大変重要なものです。お取り扱いには十分ご注意ください。

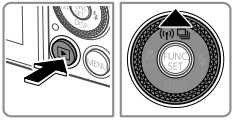
- アクセスポイントが WPS に対応しているかどうかや、設定の確認方法は、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- ルーターとは、複数のパソコンなどを接続して、ネットワーク（LAN）を構築するときに使われる機器です。さらに、Wi-Fi 機能を内蔵しているルーターを「Wi-Fi ルーター」と呼びます。
- 本書では、Wi-Fi ルーターなどの Wi-Fi 親機すべてを「アクセスポイント」と呼びます。
- お使いの Wi-Fi で MAC アドレスをフィルタリングしているときは、アクセスポイントにカメラの MAC アドレスを登録してください。カメラの MAC アドレスは、MENU（📖40）の［🔧］タブにある［Wi-Fi 設定］の［MAC アドレスの確認］を選ぶと確認できます。

WPS に対応したアクセスポイントを使う

WPS とは、Wi-Fi 機器同士を接続する際の各種設定をかんたんに行う仕組みです。WPS に対応した機器では、設定方式としてプッシュボタン方式と PIN コード方式を使用できます。

1 パソコンがアクセスポイントに接続されていることを確認する

- 確認方法はそれぞれの機器およびアクセスポイントの使用説明書を参照してください。



2 Wi-Fi メニューを表示する

- ［▶］ボタンを押して電源を入れます。
- ［▲］を押します。

- ［ニックネームの登録］画面が表示されたら、［🔲］を押して表示されたキーボード（📖42）でニックネームを入力したあと、［ニックネームの登録］画面で［▲］か［▼］を押すか［◉］ホイールを回して［OK］を選び［🔲］を押します。

3 [🖳] を選ぶ

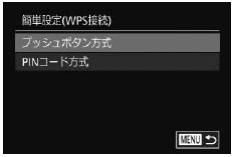
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して [🖳] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。

4 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回して [接続先の機器の登録] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。

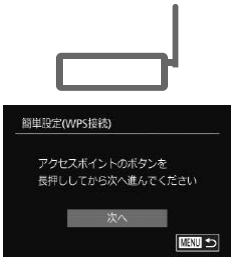
5 [簡単設定（WPS 接続)] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回して [簡単設定（WPS 接続)] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。



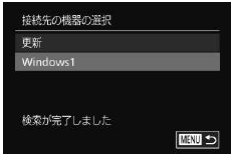
6 [プッシュボタン方式] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回して [プッシュボタン方式] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。



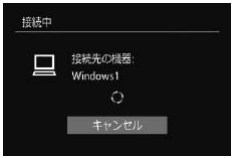
7 接続をはじめる

- アクセスポイントにある WPS 接続用のボタンを数秒間押したままにします。
- カメラの [(FUNC/SET)] を押して次に進みます。
- カメラがアクセスポイントに接続し、そのアクセスポイントに接続している機器の一覧が [接続先の機器の選択] 画面に表示されます。



8 接続先の機器を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して接続先の機器の名前を選び、[(SET)] を押します。



9 ドライバーをインストールする (Windows の初回接続時のみ)

- カメラにこの画面が表示されたら、パソコンのスタートメニューから[コントロールパネル] をクリックし、[デバイスの追加] をクリックします。

- 接続したカメラのアイコンをダブルクリックします。
- ドライバーのインストールがはじまります。
- ドライバーのインストールが終わってカメラとパソコンの接続が完了すると、[自動再生] 画面が表示されます。このとき、カメラの液晶画面には何も表示されなくなります。

10 CameraWindow を表示する

- Windows では、[画像をキヤノンカメラからダウンロードします] をクリックすると、CameraWindow が表示されます。
- Mac OS では、カメラとパソコンが Wi-Fi で通信できる状態になると、CameraWindow が自動的に表示されます。

11 画像を取り込む

- ［カメラ内の画像の取り込み］をクリックしたあと、［未転送画像を取り込む］をクリックします。
- 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。
- 取り込みの完了画面で、［OK］をクリックします。パソコンで画像を見る操作は、「ソフトウェアの使用説明書」（🕮288）を参照してください。

- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、［▲］か［▼］を押して項目を選び［(SET)］を押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは［◀］か［▶］で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU（🕮40）の［🔧］タブにある［Wi-Fi 設定］の［接続先履歴の表示］で［切］を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- ニックネームの 1 文字目に記号やスペースを入力しようとするとメッセージが表示されます。［(SET)］を押してから入力しなおしてください。
- パソコンとの接続中、カメラの画面には何も表示されません。
- Mac OS で CameraWindow が表示されないときは、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の［CameraWindow］アイコンをクリックします。
- カメラとの接続を切断するには、カメラの電源を切ってください。
- 手順 6 で［PIN コード方式］を選択したときは、画面に表示された PIN コードをアクセスポイントに設定します。次に［接続先の機器の選択］画面で接続する機器を選びます。詳しくは、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。

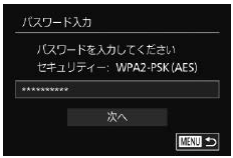
一覧に表示されたアクセスポイントを使う

1 アクセスポイントの一覧を表示する

- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」（📖234）の手順 1 ～ 4 の操作で、ネットワーク（アクセスポイント）の一覧を表示します。

2 アクセスポイントを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回してネットワーク（アクセスポイント）を選び、[(SET)] を押します。



3 アクセスポイントのパスワードを入力する

- [(SET)] を押してキーボードを表示し、パスワードを入力します（📖42）。
- [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して［次へ］を選び、[(SET)] を押します。

4 ［自動］を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して［自動］を選び、[(SET)] を押します。
- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」（📖234）の手順 8 以降の操作で、パソコンと接続して画像を取り込みます。

- アクセスポイントのパスワードについては、アクセスポイントの本体あるいは使用説明書を参照してください。
- アクセスポイントは最大 16 個まで表示されます。手順 2 で［更新］を選んで一覧を更新してもアクセスポイントが検出されないときは、手順 2 で［手動設定］を選ぶと、アクセスポイントを手動で設定できます。画面の指示にしたがって SSID の入力、セキュリティー設定、パスワードの入力を行ってください。
- 接続したことのあるアクセスポイントを使って他の機器に接続するときは、手順 3 でパスワードが「＊」で表示されます。同じパスワードを使うときは、そのまま、［▲］か［▼］を押すか［◉］ホイールを回して［次へ］を選び、［(SET)］を押します。

接続したことのあるアクセスポイントがあるとき

接続したことのあるアクセスポイントがあるときは、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」（🕮234）の手順 4 の操作で、カメラが自動でそのアクセスポイントに接続します。

- そのアクセスポイントを使って接続するときは、接続先の機器がそのアクセスポイントに接続されていることを確認し、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」（🕮234）の手順 8 から操作してください。
- 別のアクセスポイントを使うときは、接続の最中に表示される画面の［ネットワーク変更］を選んだあと、「WPS に対応したアクセスポイントを使う」（🕮234）の手順 5 または「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」（🕮238）の手順 2 から操作してください。

Web サービスを登録して画像を送る

利用する Web サービスの情報を登録する

パソコンまたはスマートフォンを使って、利用する Web サービスの情報をカメラに登録します。

- CANON iMAGE GATEWAY をはじめとする各種 Web サービスの設定には、インターネットに接続できるパソコンまたはスマートフォンおよびブラウザーが必要です。
- CANON iMAGE GATEWAY に接続する際にお使いいただくブラウザー（Microsoft Internet Explorer など）のバージョンや設定条件については、CANON iMAGE GATEWAY のサイトで確認してください。
- CANON iMAGE GATEWAY のサービスに対応している国 / 地域の情報は、弊社 Web サイト（http://www.canon.com/cig/）で確認してください。
- CANON iMAGE GATEWAY 以外の Web サービスも利用するときは、その Web サービスのアカウントが必要です。詳しくは、各 Web サービスの Web サイトを確認してください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

CANON iMAGE GATEWAY を登録する

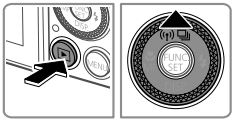
CANON iMAGE GATEWAY とカメラを連携できるようにした上で、CANON iMAGE GATEWAY をカメラに登録します。

1 CANON iMAGE GATEWAY にアクセスして、カメラ連携設定のページをを表示する

- パソコンまたはスマートフォンを操作して、インターネットで CANON iMAGE GATEWAY サイト「http://www.canon.com/cig/」へアクセスします。
- ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。また、CANON iMAGE GATEWAY のアカウントをお持ちでないときは、画面の指示にしたがって会員登録（無料）を行ってください。

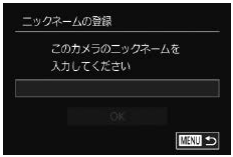
2 カメラのタイプを選ぶ

- このカメラは、Wi-Fi メニューに［☁］が表示される機種です。
- ［☁］を選ぶと、認証コード入力画面が表示されます。この画面には、手順 3 ～ 6 でカメラを操作して表示される認証コードを入力するので、手順 7 までそのままにしておいてください。



3 Wi-Fi メニューを表示する

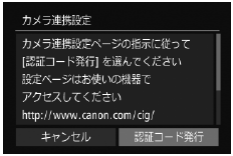
- ［▶］ボタンを押して電源を入れます。
- ［▲］を押します。



- [ニックネームの登録] 画面が表示されたら、[㊗] を押して表示されたキーボード (📖42) でニックネームを入力したあと、[ニックネームの登録] 画面で [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して [OK] を選び [㊗] を押します。

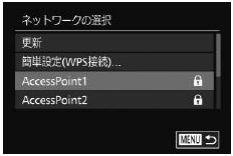
4 [☁] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [☁] を選び、[㊗] を押します。



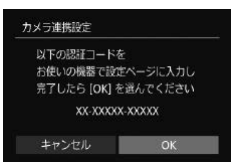
5 [認証コード発行] を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [認証コード発行] を選び、[㊗] を押します。



6 アクセスポイントへの接続をはじめる

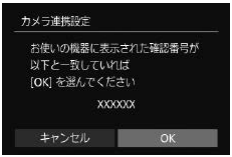
- 「WPS に対応したアクセスポイントを使う」(📖234) の手順 5 ～ 7 または「一覧に表示されたアクセスポイントを使う」(📖238) の手順 2 ～ 4 の操作でアクセスポイントへの接続を行います。



- カメラがアクセスポイントを経由して CANON iMAGE GATEWAY に接続すると、認証コードが表示されます。

7 認証コードを入力する

- パソコンまたはスマートフォンを操作して、カメラに表示された認証コードを入力し、次へ進みます。
- 数字 6 桁の確認番号が表示されます。



8 確認番号を確認して設定を終える

- 画面表示された確認番号が、パソコンまたはスマートフォンに表示された確認番号と一致していることを確認します。
- [◀] か [▶] を押すか [🎛] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。
- パソコンまたはスマートフォンを操作して設定を終えます。

- [🖶] (📖253) と CANON iMAGE GATEWAY が送信先として追加され、[☁] が [🔄] になります。
- パソコンまたはスマートフォンには、完了画面が表示されます。続けて Web サービスを追加することもできます。このときは、「他の Web サービスを登録する」(📖244) の手順 2 から操作してください。

- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示されるので、[◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。

他の Web サービスを登録する

CANON iMAGE GATEWAY 以外の Web サービスをカメラに登録します。なお、事前に、CANON iMAGE GATEWAY をカメラに登録する必要があります（241）。

1 Web サービスの設定画面を表示する

- 「CANON iMAGE GATEWAY を登録する」（241）の手順 1 の操作で CANON iMAGE GATEWAY にログインし、Web サービスの設定画面を表示します。

2 利用する Web サービスの設定をする

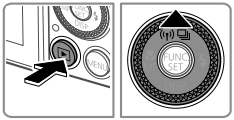
- パソコンまたはスマートフォンを操作し、画面の指示にしたがって、利用する Web サービスの設定をします。

3 [ ] を選ぶ

- 再生モードで［▲］を押して Wi-Fi メニューを表示します。
- ［▲］［▼］［◀］［▶］を押すか［⊛］ホイールを回して［ ］を選び、［(FUNC/SET)］を押します。
- Web サービスの設定が更新されます。

- 一度設定した内容を変更するときも同じ操作でカメラの設定を更新してください。

Web サービスに画像を送る



1 Wi-Fi メニューを表示する

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- [▲] を押します。

2 接続先を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して接続先の Web サービスのアイコンを選び [(SET)] を押します。
- 同じ Web サービスに複数の送信先や公開範囲などがあるときは、[送信先の選択] 画面が表示されるので、[▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して項目を選び [(FUNC/SET)] を押します。

3 画像を送る

- [◉] ホイールを回して送信したい画像を選び、[◀] か [▶] を押して、[この画像を送信] を選び、[(SET)] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [送信] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。
- YouTube へ送信するときは、続いて表示される利用規約を読み [同意する] を選んで [(FUNC/SET)] を押します。
- 画像の送信が開始されます。画像の送信中は画面が暗くなります。
- 送信が完了すると [OK] が表示され、[(FUNC/SET)] を押すと再生モードの画面に戻ります。

- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズの変更やコメントの追加をして送ったりすることができます（📖250）。

プリンターにつないで画像を印刷する

Wi-Fi 機能を持つプリンターとカメラを接続して印刷します。
なお、ここではカメラをアクセスポイントにして接続する手順を説明しますが、すでにお使いのアクセスポイントを使うこともできます(🕮227)。

1 Wi-Fi メニューを表示する

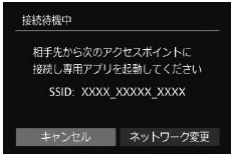
- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」(🕮225) の手順 2 の操作で Wi-Fi メニューを表示します。

2 [🖨] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [🖨] を選び、[(SET)] を押します。

3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

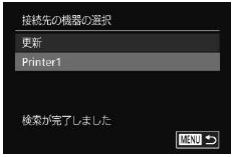
- [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して [接続先の機器の登録] を選び、[(SET)] を押します。



- 画面にカメラの SSID が表示されます。

4 プリンターをネットワークに接続する

- プリンターの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID (ネットワーク名)を選択して接続します。



5 プリンターを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回してプリンターの名前を選び、[FUNC/SET] を押します。

6 画像を選んで印刷する

- [◀] か [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して画像を選びます。
- [FUNC/SET] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回して [印刷] を選び、[FUNC/SET] を押します。
- 詳しい印刷方法については「印刷する」(📖293) を参照してください。
- 接続を切断するには、[▲] を押して表示された確認画面で [◀] か [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して [OK] を選び [FUNC/SET] を押します。

- 接続するには、画像が保存されたカードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [FUNC/SET] を押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU (📖40) の [🔧] タブにある [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- ほかのアクセスポイントを使うときは、「ほかのアクセスポイントを使う」(📖227) の手順 3 ～ 4 を参照してください。

別のカメラに画像を送る

2 台のカメラ同士で Wi-Fi 接続して画像を送信できます。

- Wi-Fi 接続できるのは、キヤノン製の Wi-Fi 対応カメラのみです。Eye-Fi カードに対応していても Wi-Fi に対応していないキヤノン製カメラへは接続できません。また、IXY DIGITAL WIRELESS とは Wi-Fi 接続できません。

1 Wi-Fi メニューを表示する

- 「Wi-Fi メニューを使ってスマートフォンを登録する」（📖225）の手順 2 の操作で Wi-Fi メニューを表示します。

2 [📷] を選ぶ

- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して [📷] を選び、[(SET)] を押します。

3 [接続先の機器の登録] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回して [接続先の機器の登録] を選び、[(SET)] を押します。
- 相手のカメラも手順 1 ～ 3 を行います。
- 両方のカメラで [接続先のカメラでも通信を開始してください] 画面が表示されると登録がはじまります。

4 画像を送る

- [◉] ホイールを回して送信したい画像を選び、[◀] か [▶] を押して、[この画像を送信] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押して [送信] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。
- 画像の送信が開始されます。画像の送信中は画面が暗くなります。
- 送信が完了すると、[送信が完了しました] と表示されたあと、画像を送信する画面に戻ります。
- 接続を切断するには、[MENU] を押して表示される確認画面で [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [OK] を選び [(FUNC/SET)] を押します。

- 接続するには、カードがカメラに入っている必要があります。
- Wi-Fi メニューを使って接続した機器があるときは、Wi-Fi メニューを表示しようとすると、最近接続した接続先名が最初に表示され、[▲] か [▼] を押して項目を選び [(FUNC/SET)] を押すだけでかんたんに接続することができます。新しく接続先を登録するときは [◀] か [▶] で機器の選択画面を表示して設定します。
- MENU（📖40）の [🔧] タブにある [Wi-Fi 設定] の [接続先履歴の表示] で [切] を選ぶと、最近接続した機器は表示されなくなります。
- 複数の画像をまとめて送ったり、画像のサイズを変えて送ったりすることができます（📖250）。

画像送信について

複数の画像を選んで同時に送ったり、記録画素数（画像の大きさ）を変えて送ることができます。また、Web サービスによっては、コメントをつけて画像を送信することができます。

■ 複数の画像を送信する

1 ［選んで送信］を選ぶ

- 画像送信の画面で、[◀]か[▶]を押して[選んで送信]を選び、[(FUNC SET)]を押します。

2 画像を選ぶ

- [▲][▼][◀][▶]を押して送信したい画像を選び、[(FUNC SET)]を押すと[✓]が表示されます。
- もう一度[(FUNC SET)]を押すと[✓]が消え、解除されます。
- 別の画像も選ぶときは、上記の操作を繰り返します。
- 画像の選択が終わったら、[MENU]ボタンを押します。

3 送信する

- [◀]か[▶]を押すか[(ダイヤル)]ホイールを回して[送信]を選び、[(FUNC SET)]を押します。

> ● 手順 2 でズームレバーを［Q］側に 2 回押すと、1 枚表示に切り換わり、[◀]か[▶]を押すか[(ダイヤル)]ホイールを回して画像を選ぶこともできます。

画像送信時の注意事項

- Wi-Fi 通信部（📖4）を手や物で覆わないでください。画像の送受信が遅くなることがあります。
- お使いの通信環境によっては、動画の送信に非常に時間がかかります。バッテリー残量にご注意ください。
- 1 回の送信操作で画像を 50 個までまとめて送信できます。動画は、5分以内（ダイジェスト動画は 13 分以内）の長さで、1個のみ送信できます。ただし、Web サービスによっては送信できる画像の数が少なくなったり、動画の時間が短くなることがあります。詳しくは、お使いの Web サービスで確認してください。
- 圧縮（📖217）していない動画は、再圧縮されてもとの動画とは別の動画として送信されます。また、この処理に時間がかかることや、カード容量の不足で送信できないことがあります。
- スマートフォンに送信するとき、スマートフォンによっては、送信できる動画の画質に制限があります。詳しくは、お使いのスマートフォンの使用説明書などを参照してください。
- 画面には電波の状態を示す以下のアイコンが表示されます。
  [📶] 強、[📶] 中、[📶] 弱、[📶] 微弱
- Web サービスに送信するとき、一度、送信したことがある画像では、CANON iMAGE GATEWAY のサーバーにある画像が再利用されるので送信時間は短くなります。

記録画素数（画像の大きさ）を選ぶ

画像を送信する画面で、[▲] か [▼] を押して [🖼] を選んだあと、[(SET)] を押します。表示された画面で [▲] か [▼] を押して、送信する画像の記録画素数（画像の大きさ）を選び、[(SET)] を押します。

- [しない] を選ぶと、リサイズされずもとの画像の大きさのままで送信されます。
- [M2] か [S] を選ぶと、選んだ記録画素数より大きい画像がリサイズされて送信されます。
- 動画はリサイズできません。

> ● MENU（📖40）で [🔧] タブの [Wi-Fi 設定] を選び、[送信時のリサイズ設定] でも設定できます。

コメントを入力して送信する

SNS やメールなどに画像を送信するときに、カメラでコメントを入力することができます。なお、送信先の Web サービスによって入力できる文字数は異なります。

1 **コメント入力画面を表示する**

- 画像を送信する画面で [▲][▼][◀][▶] を押して [💬] を選び、[(SET)] を押します。

2 **コメントを入力する（📖42）**

3 **送信する**

> ● コメントを入力しなかったときは、CANON iMAGE GATEWAY で設定したコメントが自動で送信されます。
> ● 複数の画像を送信するときにもコメントを入力できます。同時に送るすべての画像で同じコメントになります。

画像を自動で送る（クラウドシンクロ）

カード内の未転送の画像を CANON iMAGE GATEWAY 経由でパソコンや Web サービスに送信することができます。
なお、Web サービスだけに送信することはできません。

準備する

カメラの準備をする

接続先として［ ］を登録します。なお、［ ］ボタンに［ ］を登録しておくと、［ ］ボタンを押すだけで、カード内の未転送の画像を CANON iMAGE GATEWAY 経由でパソコンに送信することができます。

1 ［ ］を登録する

- 「CANON iMAGE GATEWAY を登録する」（241）の操作で、カメラに送信先として［ ］を登録します。
- Web サービスを送信先にするときは、「他の Web サービスを登録する」（244）の操作でカメラの設定を更新してください。

2 送信する画像の種類を選択する（動画も一緒に送信するときのみ）

- ［MENU］ボタンを押して、［ ］タブの［Wi-Fi 設定］を選びます（40）。
- ［▲］か［▼］を押して［クラウドシンクロ］を選んだあと、［◀］か［▶］を押して［静止画＋動画］を選びます。

3 ［ ］ボタンに［ ］を登録する（［ ］ボタンを押して送信するときのみ）

- ［ ］ボタンにスマートフォンを登録しているときは解除します（222）。
- ［ ］ボタンを押して画面を表示したあと、［◀］か［▶］を押すか［ ］ホイールを回して［ ］を選び、［ ］を押します。

パソコンの準備をする

送信先のパソコンにソフトウェアをインストールして設定します。

1 ソフトウェアをインストールする

- インターネットに接続したパソコンにソフトウェアをインストールします（229）。

2 カメラを登録する

- Windows では、タスクバー（画面下部に表示されるバー）で［ ］を右クリックして［新しいカメラの追加］をクリックします。
- Mac OS では、メニューバー（画面上部に表示されるバー）で［ ］をクリックして［新しいカメラの追加］をクリックします。
- CANON iMAGE GATEWAY と連携しているカメラの一覧が表示されるので、送信元になるカメラを選びます。
- カメラが登録されて画像を受信できるようになると、アイコンが［ ］に変わります。

画像を送る

カメラを操作して画像を送信すると、パソコンに自動で保存されます。なお、転送先に設定したパソコンが起動していないときは CANON iMAGE GATEWAY のサーバーに一時的に画像を保存しています。一定期間で削除されるのでパソコンを起動して画像を保存してください。

1 画像を送る

- [ ] ボタンに [ ] を登録しているときは、[ ] ボタンを押します。
- 登録していないときは、「Web サービスに画像を送る」（245）の手順 1 ～ 2 の操作で [ ] を選びます。
- 接続が完了すると画像が送信されます。CANON iMAGE GATEWAY のサーバーに画像が転送されると画面に [ ] が表示されます。

2 パソコンに保存する

- パソコンを起動すると、自動で画像が保存されます。
- Web サービスには、パソコンを起動しなくても、CANON iMAGE GATEWAY のサーバーから画像が自動で転送されます。

- 画像を送信するときは、フル充電されたバッテリーか AC アダプターキット（別売）（280）を使うことをおすすめします。

- 他の方法でパソコンに取り込んだ画像でも、CANON iMAGE GATEWAY 経由で未転送のときは送信されます。
- カメラと同じネットワークに送信先のパソコンが接続されているときは、CANON iMAGE GATEWAY を経由しないで、アクセスポイント経由で画像が送信されるので、送信時間が短くなります。なお、パソコンに保存された画像は、パソコンから CANON iMAGE GATEWAY に送信されるので、パソコンがインターネットに接続している必要があります。

スマートフォンでカメラ内の画像やカメラを操作する

スマートフォンの専用アプリケーション CameraWindow を使うと次の操作が行えます。

- カメラ内の画像を一覧で表示したり、スマートフォンに保存したりする
- カメラ内の画像に GPS 情報を記録する（📖256）
- リモート撮影をする（📖257）

> ● 操作するスマートフォンに対して画像を公開する設定にしておく必要があります（📖222、📖225、📖259）。

カメラ内の画像に GPS 情報を記録する

スマートフォンの専用アプリケーション CameraWindow で記録しておいた GPS 情報（緯度、経度、標高など）を、カメラ内の画像に記録することができます。

> ● 撮影前に「日付／時刻を設定する」（📖20）で日付／時刻と自宅エリアが正しく設定されていることを確認してください。また、旅行先など、自宅エリアと時差のある場所で撮影するときは、「世界時計を使う」（📖266）で訪問先のエリアを設定してください。
> ● GPS 情報を記録した静止画や動画は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのため、GPS 情報が記録されている静止画や動画を他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。

リモート撮影をする

スマートフォンで撮影画面を確認しながら、スマートフォンをリモコン代わりに操作して撮影することができます。

1 カメラを固定する

- リモート撮影をはじめるとカメラのレンズが出てきます。また、ズーム操作によるレンズの動きでカメラが傾くことがあります。三脚に取り付けるなどしてカメラを安定させてください。

2 カメラとスマートフォンを接続する

(🕮222、🕮225)

- 画像の公開設定では［はい］を選んでください。

3 リモート撮影を選ぶ

- スマートフォンを操作して、CameraWindow でリモート撮影を選びます。
- カメラのレンズが出てくるので、レンズ付近を押さえたり、物を置かないようにしてください。
- リモート撮影の準備ができると、スマートフォンの画面にカメラからの映像が表示されます。
- カメラの画面にはメッセージが表示され、電源ボタン以外は操作できなくなります。

4 撮影する

- スマートフォンを操作して撮影します。

- ［**P**］モードで撮影されます。ただし、あらかじめ設定した FUNC. や MENU の一部が、自動的に変わることがあります。
- 動画は撮影できません。

- 接続環境によっては、スマートフォンに表示されるカメラからの映像がややぎこちなくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。
- AF フレームは表示されません。撮影した画像でピントを確認してください。
- 撮影した画像はスマートフォンには転送されません。スマートフォンを操作して、カメラ内の画像を表示して保存してください。

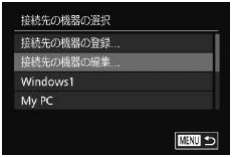
Wi-Fi の設定を編集 / 消去する

Wi-Fi に関する、設定の編集 / 消去方法について説明します。

接続情報を編集する

1 Wi-Fi メニューを表示し、編集する機器を選ぶ

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- [▲] を押します。
- [▲] [▼] [◀] [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して編集したい機器のアイコンを選び、[(FUNC/SET)] を押します。



2 [接続先の機器の編集] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回して [接続先の機器の編集] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。

3 編集する接続先を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回して編集したい接続先を選び、[(FUNC/SET)] を押します。

4 編集する項目を選ぶ

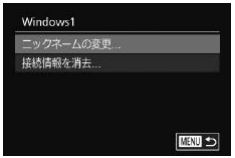
- [▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回して編集する項目を選び、[(FUNC/SET)] を押します。
- 編集できる項目は、接続先によって異なります。

編集できる項目	接続先				
	📷	📱	💻	🖨	Web サービス
[ニックネームの変更]（📖260）	O	O	O	O	–
[画像の公開設定]（📖225）	–	O	–	–	–
[接続情報を消去]（📖260）	O	O	O	O	–

O：設定可　–：設定不可

接続先のニックネームを変更する

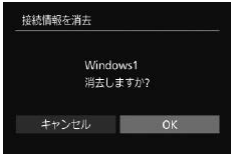
カメラに表示させる接続先のニックネーム（表示名）を変更できます。



- 「接続情報を編集する」（📖259）の手順 4 の操作で［ニックネームの変更］を選び、［(FUNC SET)］を押します。
- 入力欄を選んで［(FUNC SET)］を押し、表示されたキーボードでニックネームを入力しなおします（📖42）。

接続情報を消去する

接続情報（接続先の機器の情報）を消去できます。



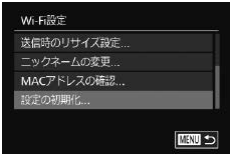
- 「接続情報を編集する」（📖259）の手順 4 の操作で［接続情報を消去］を選び、［(FUNC SET)］を押します。
- ［消去しますか?］が表示されたら、［◀］か［▶］を押すか［(ダイヤル)］ホイールを回して［OK］を選び、［(FUNC SET)］を押します。
- 接続情報が消去されます。

Wi-Fi の設定を初期化する

カメラを譲渡したり廃棄したりするときは、Wi-Fi の設定を初期化します。Wi-Fi の設定を初期化すると、Web サービスの設定内容もすべて消去されます。十分に確認してから初期化してください。

1 [Wi-Fi 設定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[🔧] タブの [Wi-Fi 設定] を選びます（📖40）。



2 [設定の初期化] を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [⚙] ホイールを回して [設定の初期化] を選び、[SET] を押します。

3 初期化する

- [◀] か [▶] を押すか [⚙] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。
- Wi-Fi の設定が初期化されます。

- Wi-Fi 以外の設定を初期化するときは、[🔧] タブの [カメラ設定初期化] を選びます（📖276）。

8

設定メニュー

カメラの基本機能を変えて使いやすくする

カメラの基本機能を変える

MENU（📖40）の［🔧］タブで設定します。ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます。

■ 音を鳴らさない

カメラの各種動作音や動画再生時の音声を鳴らさないようにできます。

- ［消音］を選び、［する］を選びます。

- ［▼］を押したまま電源を入れても、音を鳴らさないようにできます。
- 音を鳴らさないようにしたときは、動画を再生したとき（📖178）の音声も鳴らなくなります。動画再生中に［▲］を押すか画面を上方向にドラッグすると音声が鳴り、［▲］か［▼］を押すか画面を上下方向にドラッグすると音量を調整できます。

■ 音量を変える

カメラの各種動作音の音量を変えられます。

- ［音量］を選び、［㊗］を押します。
- 項目を選び、［◀］か［▶］を押して音量を変えます。

音を変える

カメラの各種動作音を変えられます。

- [音の選択] を選び、[SET] を押します。
- 項目を選び、[◀] か [▶] を押して内容を選びます。

- [ ] モード（□51）で撮影したダイジェスト動画に記録されるシャッター音は変えられません。

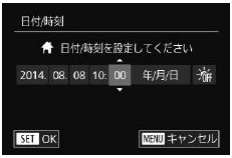
機能の説明を表示しない

FUNC.（□38）や MENU（□40）で項目を選ぶと、機能の説明が表示されます。この説明を表示しないようにすることができます。

- [機能ガイド] を選び、[切] を選びます。

日付／時刻を変える

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



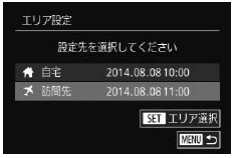
- [日付 / 時刻] を選び [SET] を押します。
- [◀] か [▶] を押して項目を選び、[▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して設定します。

世界時計を使う

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておくと、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付／時刻を設定しなおす必要がなく便利です。
なお、世界時計を使うには、あらかじめ「日付／時刻を設定する」（📖20）で日付／時刻と自宅エリアを設定してください。

1 訪問先のエリアを設定する

- ［エリア設定］を選び、［(SET)］を押します。
- ［▲］か［▼］を押すか［◉］ホイールを回して［✈訪問先］を選び、［(SET)］を押します。
- ［◀］か［▶］を押して訪問先エリアを選びます。
- ［▲］か［▼］を押すか［◉］ホイールを回して［☀DST］を選び、［◀］か［▶］を押して［☀］にすると、サマータイム（1時間プラスされます）に設定されます。
- ［(SET)］を押します。



2 訪問先のエリアに切り換える

- ［▲］か［▼］を押すか［◉］ホイールを回して［✈訪問先］を選び、［MENU］ボタンを押します。
- 撮影画面（📖319）に［✈］が表示されます。

- ［✈］の状態で日付／時刻を変える（📖21）と、［🏠自宅］の日時も自動的に変わります。

レンズ収納時間を変える

撮影状態から［▶］ボタンを押して約 1 分経過すると、安全のためレンズが収納されます（📖32）。［▶］ボタンを押すとすぐにレンズが収納されるようにしたいときは、収納時間を［0 秒］に設定します。

- ［レンズ収納時間］を選び、［0 秒］を選びます。

エコモードを使う

撮影モードでのバッテリーの消耗をおさえる機能です。カメラを操作していないときに、素早く画面を暗くして消費電力をおさえることができます。

1 設定する

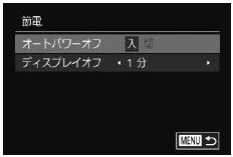
- ［エコモード］を選び、［入］を選びます。
- 撮影画面（📖319）に［ECO］が表示されます。
- カメラを操作しないと約 2 秒後に画面が暗くなり、その 10 秒後に画面が消えます。約3分後には電源が切れます。

2 撮影する

- 画面が消えている状態でもレンズが出ているときは、シャッターボタンを半押しすると画面が表示され、撮影できます。

節電機能（オートパワーオフ）の設定を変える

節電機能（オートパワーオフ）を切ったり、画面が消えるまでの時間（ディスプレイオフ）を変えたりできます（📖33）。



- ［節電］を選び［SET］を押します。
- 項目を選んだあと、［◀］か［▶］を押して設定を変えます。

- バッテリーの消耗を防ぐため、通常は、［オートパワーオフ］を［入］にし、［ディスプレイオフ］を［1 分］以下にすることをおすすめします。

- ［ディスプレイオフ］は、［オートパワーオフ］が［切］のときも働きます。
- エコモード（📖267）を［入］にしているときは、節電機能は使えません。

画面の明るさを変える

画面の明るさを変えられます。

- ［液晶の明るさ］を選び、［◀］か［▶］を押して明るさを変えます。

● 撮影画面や再生モードで 1 枚表示のときに［▼］を 1 秒以上押したままにすると、画面が最高の明るさになります（［🔧］タブの［液晶の明るさ］設定は無効になります）。もう一度［▼］を 1 秒以上押したままにするか、電源を入れなおすと、もとの明るさに戻ります。

起動画面を変える

電源を入れたときに表示される起動画面を変えられます。

● ［起動画面］を選び、［SET］を押します。
● ［◀］か［▶］を押すか［◉］ホイールを回して内容を選びます。

カードを初期化する

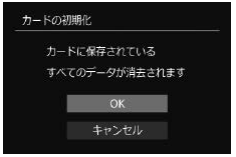
新しく買ったカードや他のカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。
初期化するとカード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから初期化をしてください。

1 ［カードの初期化］画面を表示する

● ［カードの初期化］を選び［SET］を押します。

2 ［OK］を選ぶ

● ［▲］か［▼］を押して［キャンセル］を選んで［◀］か［▶］を押すか、［◉］ホイールを回して［OK］を選び、［SET］を押します。



3 初期化する

- [▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押すと初期化がはじまります。
- 初期化が終わると [カードの初期化が完了しました] が表示されるので、[SET] を押します。

- カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄するときは注意してください。廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報の流出を防いでください。

- 初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。

カードを物理フォーマット（初期化）する

[カードが異常です] のメッセージが表示されたとき、カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、もとに戻すことはできません。カード内の画像をパソコンにコピーするなどしてから物理フォーマットをしてください。

- 「カードを初期化する」の手順 1（269）の画面で、[▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回して [物理フォーマット] を選び、[◀] か [▶] を押して [✓] を表示します。
- 「カードを初期化する」の手順 2 ～ 3（269）の操作で、初期化（物理フォーマット）します。

- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、「カードを初期化する」(📖269) よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に［中止］を選ぶと、初期化を中止できます。中止してもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

画像番号のつけかたを変える

撮影した画像には、撮影した順に 0001 ～ 9999 の番号がつけられ、1 つのフォルダに 2000 枚ずつ保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。

- ［画像番号］を選び、目的の項目を選びます。

通し番号	画像番号 9999 の画像が撮影／保存されるまでは、カードを変えて撮影しても連番になります。
オートリセット	カードを変えたり、フォルダが新しく作られたときは、画像番号が 0001 に戻ります。

- ［通し番号］［オートリセット］とも、変えるカードに画像が入っているときは、その画像番号の続き番号になることがあります。画像番号 0001 の画像から順に保存したいときは、初期化 (📖269) したカードをお使いください。
- フォルダ構造や保存される画像については、「ソフトウェアの使用説明書」(📖288) を参照してください。

フォルダを撮影日ごとに作る

撮影した画像を保存するフォルダは月ごとに作成されますが、撮影日ごとに作成することもできます。

- [フォルダ作成] を選び、[毎日] を選びます。
- 撮影日ごとに新しいフォルダが作られ、撮影した画像が保存されます。

距離表示の単位を変える

ズームバー（📖48）、MF インジケーター（📖135）などの表示単位を、m/cm から ft/in（フィート／インチ）に変えることができます。

- [単位] を選び、[ft/in] を選びます。

水準器を調整する

水準器を使っても傾きが気になるときは、水準器を調整します。
グリッドライン（📖169）を使って、事前にカメラを水平にしておくと、より確実に調整できます。

1 カメラを傾きがない状態にする

- 傾きがない台などの上にカメラを置きます。

2 調整する

- [水準器] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。
- 左右方向の傾きは [水平調整]、前後方向の傾きは [あおり調整] を選び、[(FUNC/SET)] を押すと、確認画面が表示されます。
- [OK] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。

水準器を初期化する

水準器の設定を初期状態に戻せます。水準器を調整していないときは、初期化できません。

- [水準器] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。
- [初期化] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。
- [OK] を選び、[(FUNC/SET)] を押します。

タッチ操作をしない

画面に触れてもタッチパネルが反応しないようにして、誤った操作を防ぐことができます。

- [タッチ操作] を選び、[切] を選びます。

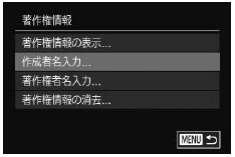
タッチパネルの感度を上げる

タッチパネルの感度を上げて、軽いタッチにも敏感に反応するようにできます。

- [タッチパネル感度] を選び、[高] を選びます。

画像に記録する著作権の情報を登録する

作成者名や著作権者名を登録しておくと、撮影した画像に登録した情報を記録できます。

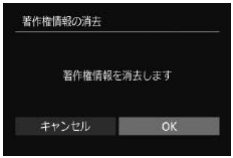


- [著作権情報] を選び、[SET] を押します。
- [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して [作成者名入力] か [著作権者名入力] を選び、[SET] を押してキーボードを表示して、名前を入力します (📖42)。
- [MENU] ボタンを押すと、[変更内容を保存しますか?] が表示されるので、[◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [はい] を選び、[SET] を押します。
- 撮影する画像に、情報が記録されるようになります。

- 入力した内容は、上記の画面で [著作権情報の表示] を選び、[SET] を押すと確認できます。
- ソフトウェア (📖288) でも、カメラに登録する著作権情報を入力したり、変えたり、消すことができます。なお、ソフトウェアを使って入力した文字が、カメラで表示されないことがありますが、画像には正しく記録されます。
- 画像に記録された著作権情報は、画像をパソコンに取り込んでからソフトウェアで確認することができます。

登録した著作権情報をまとめて消す

登録されている作成者名と著作権者名をまとめて消すことができます。

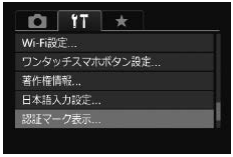


- 「画像に記録する著作権の情報を登録する」(📖274) の操作で、[著作権情報の消去] を選びます。
- [◀] か [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して [OK] を選び、[SET] を押します。

- 画像に記録されている著作権情報は消されません。

■ 認証マークを確認する

このカメラが対応している認証マークの一部は、画面に表示して確認できます。また、その他の認証マークは、本ガイドやカメラ本体、カメラが入っていた箱にも表記されています。



- [認証マーク表示] を選び、[SET] を押します。

■ 表示言語を変える

画面に表示される言語を変えられます。

- [言語] を選び [SET] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して言語を選び、[SET] を押します。

● 再生モードにして、[㊗] を押したまま、すぐに [MENU] ボタンを押すことでも言語画面を表示できます。

その他の基本機能を変える

次の機能も [🔧] タブで設定できます。

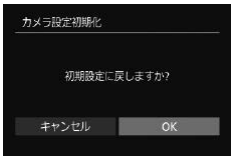
- [ビデオ出力方式]（📖284）
- [Wi-Fi 設定]（📖219）
- [ワンタッチスマホボタン設定]（📖222）

カメラの設定を初期状態に戻す

カメラの設定を誤って変えてしまったときは、初期状態に戻せます。

1 [カメラ設定初期化] 画面を表示する

- [カメラ設定初期化] を選び、[㊗] を押します。



2 初期状態に戻す

- [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [OK] を選び、[㊗] を押します。
- カメラが初期状態に戻ります。

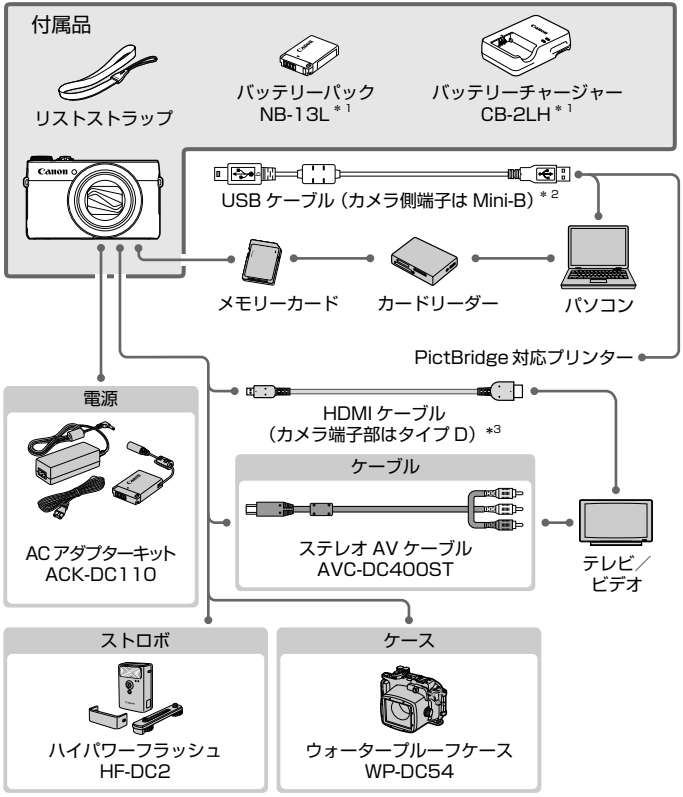
● 次の機能は初期状態に戻りません。
- 個人認証機能で登録した内容（📖67）
- [🔧] タブの [日付 / 時刻]（📖265）、[エリア設定]（📖266）、[言語🈳]（📖275）、[ビデオ出力方式]（📖284）
- マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ（📖130）
- [SCN]（📖88）、[🎨]（📖92）モードで設定した撮影モード
- 露出補正ダイヤル（📖121）で設定した値
- 動画モード（📖117）
- Wi-Fi 機能で登録した内容（📖219）
- 水準器の調整内容（📖272）
- 著作権情報（📖274）

9

アクセサリー

別売アクセサリーや市販の対応機器を使って楽しみかたを広げる

システムマップ



＊1別売りも用意されています。
＊2キヤノン純正品（インターフェースケーブル IFC-400PCU）もあります。
＊3長さ 2.5m 以下の市販品をお使いください。

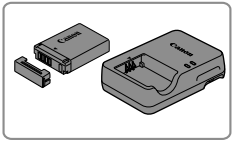
アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

別売アクセサリー

必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリーは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

■ 電源



バッテリーパック NB-13L

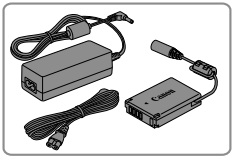
- 充電式のリチウムイオン電池です。

バッテリーチャージャー CB-2LH

- バッテリーパック NB-13L 用のバッテリーチャージャーです。

- このカメラでキヤノン純正以外のバッテリーをお使いになると、［バッテリー通信エラー］のメッセージが表示され、所定の操作が必要となります。なお、純正以外のバッテリーに起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。

- バッテリーには、カバーがついているので、充電したバッテリーは▲が見えるように、充電前のバッテリーは▲が隠れるようにカバーを取り付けると、充電状態を見分けることができます。

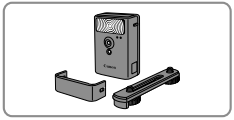


AC アダプターキット ACK-DC110

- 家庭用電源でカメラを使えます。カメラを長時間連続して使うときや、プリンターやパソコンとつなぐときには、この AC アダプターキットをお使いになることをおすすめします（カメラ内のバッテリーは充電できません）。

- バッテリーチャージャーや AC アダプターキットは、AC 100 – 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。
- プラグの形状があわないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。なお、海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

ストロボ

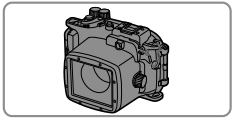


ハイパワーフラッシュ HF-DC2

- 被写体が遠すぎて内蔵ストロボの光が届かないときに使う外付けストロボです。

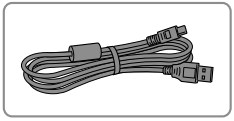
- ハイパワーフラッシュは、撮影モードが［M］［Av］［Tv］で、［発光モード］が［マニュアル］に設定されているときは使えません。

その他



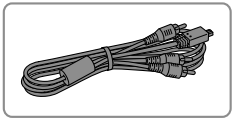
ウォータープルーフケース WP-DC54

- カメラに取り付けると、雨天時や海辺、スキー場での撮影のほか、水深 40 m 以内での水中撮影を楽しめます。



インターフェースケーブル IFC-400PCU

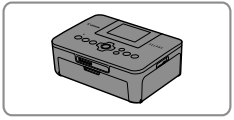
- パソコンやプリンターとカメラをつなぐケーブルです。



ステレオ AV ケーブル AVC-DC400ST

- 撮影した画像をテレビに表示して楽しめます。

プリンター



キヤノン製 PictBridge 対応プリンター

- プリンターをつなぐと、パソコンを使わずに、撮影した画像を印刷できます。製品の詳細については、ホームページやカタログで確認していただくか、お客様相談センターへお問いあわせください。

別売アクセサリーの使いかた

▶ 静止画 ▶ 動画

テレビで見る

▶ 静止画 ▶ 動画

カメラとテレビをつなぐと、撮影した画像をテレビで見ることができます。なお、お使いになるテレビとのつなぎかたや入力の切り換えかたについては、テレビの使用説明書を参照してください。

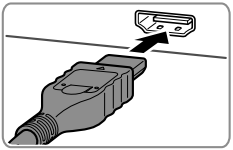
- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります（321）。

HD（ハイビジョン）対応テレビで見る

▶ 静止画 ▶ 動画

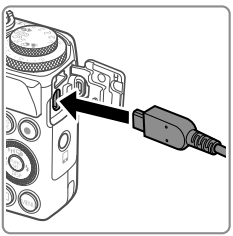
市販の HDMI ケーブル（長さ 2.5m 以下、カメラ側端子はタイプ D）でカメラと HD 対応テレビをつないでカメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることができます。また、[FHD 60P] [FHD 30P] [HD 30P] で撮影した動画は HD（ハイビジョン）画質で見ることができます。

1 カメラとテレビの電源を切る



2 カメラとテレビをつなぐ

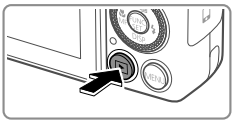
- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの HDMI 入力端子へしっかりと差し込みます。



- ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子へしっかりと差し込みます。

3 テレビの電源を入れて、外部入力に切り換える

- テレビの入力を、手順 2 の操作でつないだ外部入力に切り換えます。



4 カメラの電源を入れる

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。
- 見終わったらカメラとテレビの電源を切ってから、ケーブルを抜きます。

- USB ケーブルやステレオ AV ケーブル（別売）と、HDMI ケーブルは、カメラへ一緒に差し込めません。無理に差し込むと故障の原因になることがあります。
- テレビにつないだときは、画面をタッチして操作することはできません。

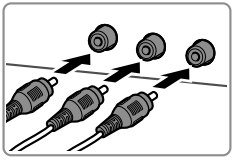
- HD 対応テレビにつないだときは、操作音は鳴りません。

HD（ハイビジョン）非対応テレビで見る

▶ 静止画 ▶ 動画

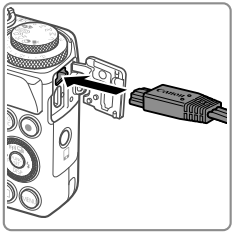
ステレオ AV ケーブル AVC-DC400ST（別売）でカメラとテレビをつないで、カメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることができます。

1 カメラとテレビの電源を切る



2 カメラとテレビをつなぐ

- ケーブルのプラグを、図のようにテレビの外部入力端子へしっかりと差し込みます。
- ケーブルのプラグの色と、テレビの外部入力端子の色をあわせてつないでください。



● ふたを開き、ケーブルのプラグをカメラの端子にしっかりと差し込みます。

3 画像を表示する

● 「HD（ハイビジョン）対応テレビで見る」の手順３～４（📖283）の操作で画像を表示します。

- 出力方式（NTSC/PAL）があわないと、画像が正しく表示されません。[MENU] ボタンを押して、[🔧] タブの［ビデオ出力方式］で出力方式を変えてください（日本国内の出力方式は、「NTSC」です）。
- テレビにつないだときは、画面をタッチして操作することはできません。

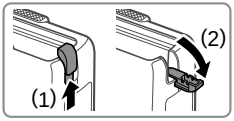
- カメラとテレビをつなぐと、カメラの画面表示をテレビに表示して撮影できます。撮影操作は、カメラの画面を使ったときと同じです。ただし、ピント位置拡大（📖80）、MF 拡大表示（📖135）、MF ピーキング（📖136）、暗所表示（📖156）はできません。

家庭用電源でカメラを使う

▶ 静止画 ▶ 動画

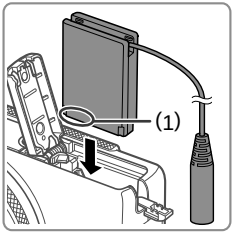
AC アダプターキット ACK-DC110（別売）を使うと、バッテリーの残量を気にせずにカメラを使うことができます。

1 カメラの電源を切る



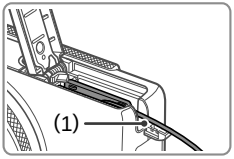
2 ふたを開ける

- 「バッテリーとカードを入れる」の手順 1（📖18）の操作でカード／バッテリー収納部のふたを開き、図のように通し部のふたを開きます。

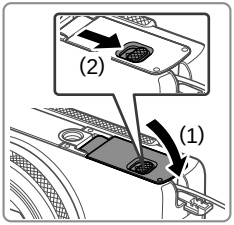


3 カプラーを入れる

- カプラーの端子部 (1) を図の向きにして、「バッテリーとカードを入れる」の手順 2（📖18）のバッテリーを入れる方法と同じ操作でカプラーを入れます。

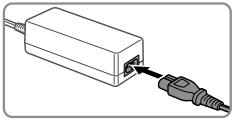


- カプラーのケーブルを通し部 (1) に通します。



4 ふたを閉める

- ふたを (1) の方向へたおして押さえたまま、スイッチを (2) の方向へ「カチッ」と音がするまで動かして閉めます。



5 電源コードを取り付ける

- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。
- カメラの電源を入れると、カメラが使えます。
- 使い終わったら、カメラの電源を切ってからプラグをコンセントから抜いてください。

- カメラの電源を入れたまま、プラグや電源コードを抜かないでください。撮影した画像が消えたり、カメラが故障することがあります。
- 故障の原因となるためアダプターやコードを固定して使わないでください。

ソフトウェアを使う

ここでは、弊社 Web サイトからダウンロードするソフトウェアの紹介のほか、インストール方法、画像をパソコンに取り込む方法について説明します。

ソフトウェアについて

ソフトウェアを弊社 Web サイトからダウンロードしてインストールすると、パソコンで次のようなことができます。

- CameraWindow（カメラウィンドウ）
  - 画像の取り込みやカメラの各種設定
- ImageBrowser EX（イメージブラウザー イーエックス）
  - 画像の閲覧をはじめ、検索や整理などの画像管理
  - 画像の印刷や各種の編集
- Digital Photo Professional（デジタル フォト プロフェッショナル）
  - RAW 画像の閲覧をはじめ、現像処理や各種の編集

- インターネットに接続できる環境が必要なため、プロバイダーとの接続料金や通信料金が別途かかります。

ソフトウェアの使用説明書

ソフトウェアを使うときに参照してください。各ソフトウェアのヘルプ機能から参照することができます（一部のソフトウェアは除く）。

ケーブルを使ってパソコンと接続する

パソコンの環境を確認する

ソフトウェアがお使いになれるパソコンは以下のとおりです。詳細なシステム構成や最新の OS を含む対応状況については弊社 Web サイトを確認してください。

OS*	Windows	Mac OS
	Windows 8/8.1 Windows 7 SP1	Mac OS X 10.9 Mac OS X 10.8

* Wi-Fi 機能を使ってパソコンに画像を送るときは、「パソコンの環境を確認する」（229）でパソコンの環境を確認してください。

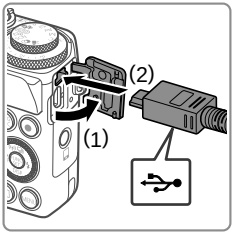
- 最新の OS を含む対応状況については弊社 Web サイトを確認してください。

インストールする

ソフトウェアをインストールする方法については、「インストールする」（229）を参照してください。

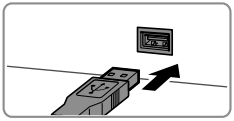
画像をパソコンに取り込む

ここでは、Windows 7 と Mac OS X 10.8 を使って説明をしています。その他の機能については、各ソフトウェアのヘルプ機能から参照することができます（一部のソフトウェアは除く）。

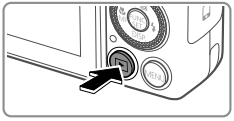


1 カメラとパソコンをつなぐ

- カメラの電源が切れた状態でふたを開き (1)、USB ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます (2)。



- USB ケーブルの大きい方のプラグをパソコンの USB 端子に差し込みます。パソコンの USB 端子については、パソコンの使用説明書を参照してください。



2 電源を入れて CameraWindow（カメラウィンドウ）を表示する

- [▶] ボタンを押して電源を入れます。
- Mac OS では、カメラとパソコンが通信できる状態になると、CameraWindow が表示されます。
- Windows では、以下の操作を行います。
- 表示された画面で [ ] のプログラムを変えるためのリンクをクリックします。

- [画像をキヤノンカメラからダウンロードします] を選び、[OK] をクリックします。

- [ ] をダブルクリックします。

3 画像を取り込む

- [カメラ内の画像の取り込み] をクリックしたあと、[未転送画像を取り込む] をクリックします。
- 画像がパソコンに取り込まれて、「ピクチャ」フォルダ内に撮影日ごとのフォルダに分けられて保存されます。
- 取り込みが完了したら CameraWindow を閉じ、カメラの [▶] ボタンを押して電源を切ってからケーブルを抜きます。
- パソコンで画像を見る操作は、「ソフトウェアの使用説明書」(🕮288) を参照してください。

- Windows 7 で手順 2 の画面が表示されないときは、タスクバーの［ ］をクリックします。
- Mac OS で手順 2 の操作をしても CameraWindow が表示されないときは、Dock（デスクトップ下部に表示されるバー）の［CameraWindow］アイコンをクリックします。
- ソフトウェアの画像取り込み機能を使わなくても、カメラとパソコンをつなぐだけで画像を取り込むことができますが、次のような制限事項があります。
  - カメラとパソコンをつないでから操作できるようになるまで、数分かかることがあります。
  - 縦位置で撮影した画像が横位置になって取り込まれることがあります。
  - RAW 画像および同時記録された JPEG 画像は、取り込まれないことがあります。
  - 保護した画像が、パソコン側で解除されることがあります。
  - OS のバージョンや使用するソフトウェア、ファイルサイズによっては、画像や画像に付属する情報が正しく取り込まれないことがあります。
  - 動画編集など、ソフトウェアの機能が一部使えなくなることがあります。

印刷する

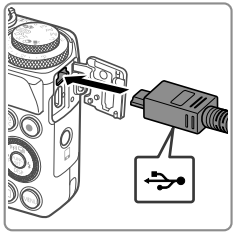
▶ 静止画　▶ 動画

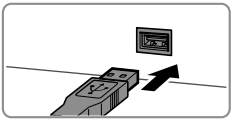
撮影した画像は、カメラとプリンターをつないで印刷することができます。また、カメラで画像を指定しておき、一括印刷、写真店への印刷注文、フォトブックの注文や印刷をすることができます。
なお、ここでは、キヤノン製コンパクトフォトプリンター SELPHY CP シリーズを使って説明しています。プリンターによっては表示される画面やできることが異なります。プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

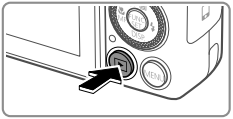
かんたん印刷

▶ 静止画　▶ 動画

撮影した画像は、カメラと PictBridge（ピクトブリッジ）対応プリンター（別売）を USB ケーブルでつないで、かんたんに印刷できます。







1 カメラとプリンターの電源を切る

2 カメラとプリンターをつなぐ

- ふたを開き、ケーブルの小さい方のプラグを図の向きにして、カメラの端子にしっかりと差し込みます。
- ケーブルの大きい方のプラグをプリンターに差し込みます。プリンターとのつなぎかたについては、プリンターの使用説明書を参照してください。

3 プリンターの電源を入れる

4 カメラの電源を入れる

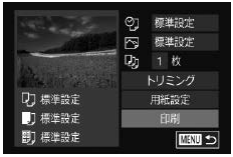
- [▶] ボタンを押して電源を入れます。

5 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して画像を選びます。

6 印刷画面を表示する

- [(SET)] を押します。



7 印刷する

- [▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回して [印刷] を選び、[(SET)] を押します。
- 印刷がはじまります。
- 別の画像を印刷するときは、印刷が終わったあと、手順 5 からの操作を繰り返します。
- 印刷が終わったらカメラとプリンターの電源を切り、ケーブルを抜きます。

- キヤノン製 PictBridge 対応プリンター（別売）については、「プリンター」（📖282）を参照してください。
- RAW 画像は印刷できません。

印刷設定をする

▶ 静止画 ▶ 動画

1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1 ～ 6 (🕮293) の操作でこの画面を表示します。

2 設定する

- [▲] か [▼] を押すか [🎛] ホイールを回して項目を選び、[◀] か [▶] を押して内容を選びます。

🏷	標準設定	プリンターの設定にしたがいます。
	日付	日付を入れて印刷します。
	画像番号	画像番号を入れて印刷します。
	両方	日付と画像番号の両方を印刷します。
	切	–
🖼	標準設定	プリンターの設定にしたがいます。
	切	–
	入	撮影時の情報を使って最適な設定で印刷します。
	赤目 1	赤く写った目を補正します。
🖼	印刷枚数	印刷枚数を指定します。
トリミング	–	印刷する範囲を指定します (🕮296)。
用紙設定	–	用紙サイズやレイアウトなどを指定します (🕮297)。

画像を切り抜いて印刷する（トリミング）

▶ 静止画　▶ 動画

画像の一部分を切り抜いて印刷することができます。

1 ［トリミング］を選ぶ

- 「印刷設定をする」の手順 1（🕮295）の操作で印刷画面を表示したあと、［トリミング］を選び、［(SET)］を押します。
- 切り抜く範囲を示す枠が表示されます。

2 切り抜く範囲を指定する

- ズームレバーを動かして枠の大きさを変えます。
- ［▲］［▼］［◀］［▶］を押して枠の位置を変えます。
- ［◉］ホイールを回すと枠が回転します。
- ［(SET)］を押して設定します。

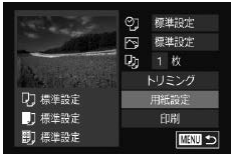
3 印刷する

- 「かんたん印刷」の手順 7（🕮293）の操作で印刷します。

- 画像が小さすぎたり、縦横比によっては、トリミングできないことがあります。

用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 [用紙設定] を選ぶ

- 「印刷設定をする」の手順 1（📖295）の操作で印刷画面を表示したあと、[用紙設定] を選び、[(FUNC SET)] を押します。

2 用紙サイズを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して内容を選び、[(FUNC SET)] を押します。

3 用紙タイプを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して内容を選び、[(FUNC SET)] を押します。

4 レイアウトを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して内容を選びます。
- [複数画像] を選んだときは、[◀] か [▶] を押して印刷枚数を選びます。
- [(FUNC SET)] を押します。

5 印刷する

レイアウトで設定できる項目

標準設定	プリンターの設定にしたがいます。
フチあり	フチをつけて印刷します。
フチなし	フチなしで印刷します。
複数画像	1 枚の用紙に印刷する画像の枚数を選びます。
ID フォト	証明写真用の画像を印刷します。 記録画素数が L で、縦横比が 3:2 の画像にのみ指定できます。
固定サイズ	印刷する大きさを指定します。 L 判、はがき、ワイドサイズでのみ指定できます。

証明写真を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画

1 [ID フォト] を選ぶ

- 「用紙サイズやレイアウトを選んで印刷する」の手順 1 ～ 4 (📖297) の操作で [ID フォト] を選び、[FUNC/SET] を押します。

2 長辺と短辺の長さを選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して項目を選んだあと、[◀] か [▶] を押して長さを選び、[FUNC/SET] を押します。

3 印刷する範囲を選ぶ

- 「画像を切り抜いて印刷する（トリミング）」の手順 2 (📖296) の操作で印刷する範囲を選びます。

4 印刷する

■ 動画を印刷する

▶ 静止画 ▶ 動画

1 印刷画面を表示する

- 「かんたん印刷」の手順 1 ～ 5 (🕮293) の操作で動画を選んだあと、[㊗] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [🖨] を選んだあと、[㊗] を押してこの画面を表示します。

2 印刷方法を選ぶ

- [▲] か [▼] を押すか [◉] ホイールを回して [🖹] を選び、[◀] か [▶] を押して印刷方法を選びます。

3 印刷する

動画の印刷方法

1 コマ	表示されているシーンを静止画として印刷します。
連続コマ	動画から一定の間隔で抜き出したシーンを、1 枚の用紙に並べて印刷します。[キャプション] を [入] にすると、フォルダ番号、画像番号、コマの経過時間を同時に印刷できます。

- 印刷中に [㊗] を押したあと、[OK] を選んで [㊗] を押すと印刷が中止されます。
- CP720 ／ CP730 以前のキヤノン PictBridge 対応プリンターでは、[ID フォト] や [連続コマ] は指定できません。

印刷指定（DPOF）

▶ 静止画 ▶ 動画

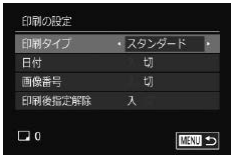
カード内の画像から印刷したい画像や印刷枚数などを指定して、一括印刷（🕮303）や写真店への印刷注文をすることができます（最大 998 画像）。なお、この指定方法は、DPOF（Digital Print Order Format）規格に準拠しています。

- RAW 画像は指定できません。

印刷内容を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画

印刷タイプや日付、画像番号といった印刷内容を設定できます。この設定は、印刷指定したすべての画像に共通して適用されます。



- [MENU] ボタンを押して、[🖨] タブの［印刷の設定］を選んだあと、項目を選び、設定します（🕮40）。

印刷タイプ	スタンダード	1 枚の用紙に 1 枚の画像を印刷
	インデックス	1 枚の用紙に縮小画像を複数印刷
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷
日付	入	撮影日を入れて印刷
	切	–
画像番号	入	画像番号を入れて印刷
	切	–
印刷後指定解除	入	印刷後、画像の印刷指定をすべて解除
	切	–

- プリンターまたは写真店によっては、設定した内容が反映されないことがあります。
- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、[❗] が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。

- [インデックス] に設定したときは、[日付] と [画像番号] の両方を [入] にはできません。
- 一部のキヤノン製 PictBridge 対応プリンター（別売）では、インデックス印刷ができないことがあります。
- 日付の並びは、[🔧] タブの [日付 / 時刻] で設定した内容で印刷されます（📖20）。

1 枚ずつ枚数を指定する

▶ 静止画 ▶ 動画

1 [印刷する画像を指定] を選ぶ

- [MENU] ボタンを押して、[🖨] タブの [印刷する画像を指定] を選び、[SET] を押します。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して画像を選び、[SET] を押します。
- 枚数指定ができるようになります。
- [インデックス] では、指定されると [✓] が表示され、もう一度 [SET] を押すと解除されて [✓] が消えます。

3 枚数を設定する

- [▲] か [▼] を押すか [⊛] ホイールを回して枚数を指定します（最大 99 枚）。
- 手順 2 ～ 3 の操作を繰り返して、画像と枚数を指定します。
- [インデックス] では枚数の指定ができません。手順 2 の操作で画像のみを選んでください。
- [MENU] ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

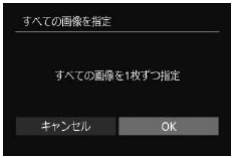
範囲で指定する

▶ 静止画　▶ 動画

- 「1 枚ずつ枚数を指定する」の手順 1（📖301）の操作で［範囲で指定］を選び、[(SET)] を押します。
- 「範囲で指定する」の手順 2 ～ 3（📖199）の操作で指定します。
- [▲] か [▼] を押して [画像指定] を選び、[(SET)] を押します。

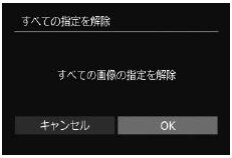
すべての画像を指定する

▶ 静止画　▶ 動画



- 「1 枚ずつ枚数を指定する」の手順 1（📖301）の操作で［すべての画像を指定］を選び、[(SET)] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [⊛] ホイールを回して［OK］を選び、[(SET)] を押します。

すべての指定を解除する



- 「1 枚ずつ枚数を指定する」の手順 1（📖301）の操作で［すべての指定を解除］を選び、［SET］を押します。
- ［◀］か［▶］を押すか［◉］ホイールを回して［OK］を選び、［SET］を押します。

印刷指定（DPOF）した画像を印刷する

▶ 静止画　▶ 動画

- 印刷指定した画像（📖300 ～ 📖302）があるときは、カメラと PictBridge 対応プリンターをつなぐとこの画面が表示されます。［▲］か［▼］を押して［すぐに印刷］を選び、［SET］を押すと、印刷指定した画像をかんたんに印刷できます。
- 印刷を中断して再開したときは、続きの画像から印刷されます。

フォトブック指定

▶ 静止画 ▶ 動画

カード内の画像からフォトブックに使いたい画像を指定（最大 998 画像）し、ソフトウェアを使ってパソコンに取り込むと、指定した画像が専用のフォルダにコピーされます。インターネットでフォトブック注文するときや、お使いのプリンターで印刷するときに便利です。

指定方法を選ぶ

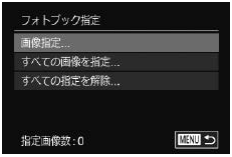
- [MENU] ボタンを押して、[▶] タブの［フォトブック指定］を選んだあと、指定方法を選びます。

- 他のカメラで設定したカードをこのカメラに入れると、[❗] が表示されることがあります。このカメラで設定を変えると、設定済みの内容がすべて書き換えられることがあります。

- パソコンに取り込んだあとは、「ソフトウェアの使用説明書」（📖288）やお使いのプリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

1枚ずつ指定する

▶ 静止画 ▶ 動画



1 [画像指定] を選ぶ

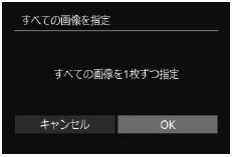
- 「指定方法を選ぶ」(📖304) の操作で [画像指定] を選び、[(SET)] を押します。

2 画像を選ぶ

- [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して画像を選び、[(SET)] を押します。
- [✓] が表示されます。
- もう一度[(SET)] を押すと解除され、[✓]が消えます。
- 別の画像も指定するときは、上記の操作を繰り返します。
- [MENU] ボタンを押すと設定され、メニュー画面に戻ります。

すべての画像を指定する

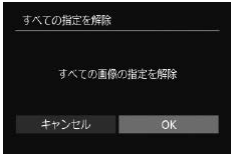
▶ 静止画 ▶ 動画



- 「指定方法を選ぶ」(📖304) の操作で [すべての画像を指定] を選び、[(SET)] を押します。
- [◀] か [▶] を押すか [◉] ホイールを回して [OK] を選び、[(SET)] を押します。

すべての指定を解除する

▶ 静止画　▶ 動画



- 「指定方法を選ぶ」（📖304）の操作で［すべての指定を解除］を選び、［㊗］を押します。
- ［◀］か［▶］を押すか［🎛］ホイールを回して［OK］を選び、［㊗］を押します。

10

付録

カメラを使うときに役立つ情報

故障かな？と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と考える前に、次の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

電源

電源ボタンを押してもカメラが動作しない
- バッテリーを充電してください（📖16）。
- バッテリーが正しい向きで入っているか確認してください（📖18）。
- カード／バッテリー収納部ふたが閉じているか確認してください（📖18）。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。

バッテリーの消耗が早い
- 低温下ではバッテリー性能が低下します。バッテリーの端子部が他の金属にふれないようにして、ポケットなどで温めてからお使いください。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。
- 上記を確認しても、充電したのにすぐ使えなくなるときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

レンズが出たままで収納されない
- 電源を入れたまま、カード／バッテリー収納部ふたを開けないでください。ふたを閉じたあと、電源を入れてからもう一度切ってください（📖18）。

バッテリーがふくらむ
- バッテリー特性のため安全上は問題ありません。ただし、バッテリーがふくらむことでカメラに入らなくなったときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

テレビ表示

テレビに表示できない／画面が乱れる（📖283）

撮影

撮影できない
- 再生モードのとき（📖177）は、シャッターボタンを半押ししてください（📖34）。

暗い場所での画面表示がおかしい（📖37）

撮影中の画面表示がおかしい
- 次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されます。注意してください。
  - 蛍光灯や LED などの照明下で撮影すると、画面がちらついたり横帯が表示されたりすることがあります。

画面いっぱいに表示して撮影できない（📖76）

画像に日付が写し込まれない
- このカメラでは画像に日付を写し込むことはできませんが、次の方法で画像に撮影日を入れて印刷することができます。
  - ソフトウェアを使って印刷する
    「ソフトウェアの使用説明書」（📖288）を参照してください。
  - プリンターの機能を使って印刷する

シャッターボタンを押したら、画面に［⚡］が点滅表示されて撮影できない（📖53）

シャッターボタンを半押ししたときに、［🤳］が表示される（📖53）
- ［手ブレ補正］を［入］にしてください（📖154）。
- ストロボを上げて、ストロボモードを［⚡］にしてください（📖148）。
- ISO 感度を高くしてください（📖123）。
- 三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、［手ブレ補正］を［切］にして撮影することをおすすめします（📖154）。

画像がボケて撮影される
- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影してください（📖34）。
- 撮影距離範囲内に被写体をおさめて撮影してください（📖357）。
- ［AF 補助光］を［入］にしてください（📖82）。
- 意図しない機能（マクロ撮影など）が設定されていないか確認してください。
- フォーカスロック、AF ロックで撮影してください（📖139、📖146）。

画像がブレて撮影される

- タッチシャッター機能を使って撮影するときは、撮影シーンによっては、画像がブレやすくなることがあります。カメラをしっかりと持って撮影してください。

シャッターボタンを半押ししても、AF フレームが表示されずピントが合わない

- 被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターボタンを半押しするか、半押しを何度か繰り返すと AF フレームが表示され、ピントが合うことがあります。

被写体が暗すぎる

- ストロボを上げて、ストロボモードを [ϟ] にしてください (📖148)。
- 露出補正で明るさを補正してください (📖121)。
- i- コントラストで補正してください (📖126、📖214)。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください (📖121、📖122)。

被写体が明るすぎる（白トビする）

- ストロボを下げて、ストロボモードを [⊗] にしてください (📖48)。
- 露出補正で明るさを補正してください (📖121)。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください (📖121、📖122)。
- 被写体にあたっている照明を弱めてください。

ストロボが光ったのに暗い画像になる（📖53）

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (📖356)。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください (📖150、📖161)。
- ISO 感度を高くしてください (📖123)。

ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる（白トビする）

- ストロボ撮影に適した距離で撮影してください (📖356)。
- ストロボを下げて、ストロボモードを [⊗] にしてください (📖48)。
- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください (📖150、📖161)。

ストロボ撮影時、画像に白い点などが写る

- 空気中のちりなどにストロボ光が反射しました。

画像が粗い感じになる

- ISO 感度を低くして撮影してください (📖123)。
- 撮影モードによっては ISO 感度が高くなるため、粗い感じの画像になることがあります (📖88)。

目が赤く写る
- ［赤目緩和ランプ］を［入］に設定してください（🕮82）。ストロボ撮影のときは、ランプ（前面）（🕮4）が点灯します。また、写される人がランプを見ているときに効果があります。「室内を明るくする」、「写したい人に近づく」と効果が上がります。
- 赤目補正で補正してください（🕮215）。

カードへの画像の記録時間が長い、または連続撮影速度が遅くなった
- カードをこのカメラで物理フォーマットしてください（🕮270）。

撮影機能や FUNC. メニューの設定ができない
- 設定できる項目は撮影モードによって変わります。「撮影機能一覧」、「FUNC. メニュー 一覧」、「撮影タブメニュー 一覧」（🕮323～🕮334）で確認してください。

赤ちゃんやこどものシーンアイコンが表示されない
- 赤ちゃんやこどものアイコンは、個人認証機能（🕮67）で誕生日を登録しないと表示されません。誕生日を入力しても表示されないときは、顔情報を登録しなおす（🕮68）か、日付 / 時刻を正しく設定してください（🕮265）。

タッチ AF できない／タッチシャッターできない
- 画面の周辺部分をタッチしてもタッチ AF やタッチシャッターはできません。中央よりの位置をタッチしなおしてください。

動画撮影

正しい撮影時間が表示されない、または中断される
- カードをこのカメラで初期化するか、書き込み速度の速いカードを使ってください。撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています（🕮269、🕮356）。

画面に［❗］が表示され、撮影が自動的に終わった
- カメラの内部メモリーが少なくなりました。次の方法を試してください。
  - カードをこのカメラで物理フォーマットする（🕮270）。
  - 画質を変える（🕮78）。
  - 書き込み速度の速いカードを使う（🕮356）。

ズームできない
- ［📷］モード（🕮107）では、ズームできません。
- ［🎥］モード（🕮97）では、動画撮影中にズームできません。

被写体がゆがんで見える
- 撮影中に被写体がカメラの前を素早く横切ったときは、ゆがんで見えることがあります。これは故障ではありません。

再生

再生できない
- パソコンでファイル名やフォルダ構造を変えると再生できないことがあります。ファイル名やフォルダ構造については、「ソフトウェアの使用説明書」（🕮288）を参照してください。

再生が中断する、または音声が途切れる
- このカメラで物理フォーマットしたカードを使ってください（🕮270）。
- 動画を、読み込み速度の遅いカードにコピーして再生すると、再生が一瞬中断することがあります。
- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声が途切れたりすることがあります。

動画を再生したときに音声が聞こえない
- ［消音］を［する］に設定（🕮264）しているときや、音声が小さいときは、音量を調整してください（🕮264）。
- ［🎥］モード（🕮97）、［🎞］モード（🕮113）では音声が録音されていないため、音は出ません。

カード

カードが認識されない
- カードを入れたままで、もう一度電源を入れなおしてください（🕮32）。

パソコン

画像をパソコンに取り込めない
- カメラとパソコンをケーブルでつないで取り込むときは、次の操作で画像の取り込み速度を遅くすることで、問題が解決できることがあります。
  - ［▶］ボタンを押して再生モードにしたあと、［MENU］ボタンを押したまま、［▲］と［Wide］を同時に押します。表示された画面で［◀］か［▶］を押して［B］を選び、［Wide］を押します。

Wi-Fi

[▲] を押しても Wi-Fi メニューを表示できない

- 撮影モードからは Wi-Fi メニューを利用できません。再生モードに切り換えてください。
- 再生モードでも、拡大表示、一覧表示（インデックス表示）のとき、Wi-Fi メニューは表示できません。1 枚表示に切り換えてください。また、検索条件を指定して画像を表示しているときやグループ再生中は Wi-Fi メニューは表示できません。検索した画像の再生状態やグループ再生を解除してください。
- カメラをプリンター、パソコンまたはテレビとケーブルでつないでいるときは Wi-Fi メニューは表示できません。ケーブルを外してください。

カメラに接続先を登録できない

- カメラに登録できる接続情報は、あわせて 20 件までです。不要な接続情報を削除してから新しい接続先を登録してください（🕮259）。
- Web サービスの登録は、パソコンまたはスマートフォンを使って設定してください（🕮240）。
- スマートフォンの登録は、スマートフォンに専用アプリケーション「CameraWindow」をインストールしてから行ってください（🕮222）。
- パソコンの登録は、ソフトウェア「CameraWindow」をパソコンにインストールしてから行ってください。また、パソコンや Wi-Fi の環境や設定を確認してください（🕮229、🕮233）。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。

アクセスポイントに接続できない

- アクセスポイントが、カメラの対応チャンネル（🕮353）で通信していることを確認してください。また、アクセスポイントのチャンネル選択が自動のときは、カメラが対応するチャンネルのいずれかに手動で固定することをおすすめします。

画像を送信できない

- 接続先の空き容量が不足しています。接続先の空き容量を増やしてから再度送信してください。
- 接続先のカメラに入れているカードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。
- RAW 画像は送信できません。[RAW] で撮影した画像では JPEG 画像だけが送信されます。ただし、クラウドシンクロでは RAW 画像も送信されます。
- クラウドシンクロでアクセスポイントを経由して画像が送信されたとき（253）は、パソコンで画像のファイル名やフォルダ名を変えたり移動したりすると、CANON iMAGE GATEWAY や Web サービスに送信されません。パソコンに送信された画像のファイル名やフォルダ名を変えたり移動したりする前に、CANON iMAGE GATEWAY や Web サービスに画像が送信されていることを確認してください。

画像をリサイズして送信できない

- もとの画像より大きい記録画素数にはリサイズできません。
- 動画はリサイズできません。

画像の送信に時間がかかる／無線接続が切断されてしまう

- 複数の画像を送信すると時間がかかることがあります。送信時に［M2］または［S］を選択してリサイズすると、送信時間を短くできます（252）。
- 動画を送信すると非常に時間がかかることがあります。
- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。なお、［Y］が表示されていても、画像の送信に時間がかかることがあります。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。

カメラを譲渡または廃棄するので、Wi-Fi の接続情報を消したい

- Wi-Fi の設定を初期化してください（261）。

画面に表示されるメッセージ一覧

画面にメッセージが表示されたときは、次のように対応してください。

撮影、再生中

カードがありません
- カードが正しい向きで入っていません。カードを正しい向きで入れます（📖18）。

カードがロックされています
- カードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えます（📖18）。

記録できません
- カードが入っていない状態で撮影しました。撮影するときは、カードを正しい向きで入れます（📖18）。

カードが異常です（📖270）
- 使えるカード（📖2）を初期化して正しい向きで入れても（📖18）同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カード残量が足りません
- カードの空き容量がないため、撮影（📖48、📖85、📖119、📖157）や編集（📖210）はできません。画像を消して（📖201）空き容量を作るか、空き容量のあるカードに交換します（📖18）。

タッチ AF できません
- タッチ AF ができない撮影モードです（📖323）。

タッチ AF 解除されました
- タッチ AF で選んだ被写体が認識できなくなりました（📖145）。

バッテリーを充電してください（📖16）

画像がありません
- カードに表示できる画像が入っていません。

保護されています（📖197）

認識できない画像です／互換性のないJPEGです／画像が大きすぎます／再生できません（MOV）／再生できません（MP4）

- 非対応の画像やデータが壊れている画像は表示できません。
- パソコンで加工したり、ファイル名を変えたりした画像や、このカメラ以外で撮影した画像は、表示できないことがあります。

拡大できない画像です／連想再生できない画像です／回転できない画像です／処理できない画像です／処理できません／指定できない画像です／認証情報がありません

- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像、このカメラ以外で撮影した画像は、以下の機能が使えないことがあります。また、動画では、*の機能が使えません。
  認証情報の編集（📖191）*、拡大（📖193）*、連想再生（📖195）*、
  回転（📖204）*、お気に入り（📖206）、編集（📖210）*、印刷指定（📖300）*、フォトブック指定（📖304）*

指定範囲が正しくありません

- 画像を範囲指定（📖199、📖203、📖302）するとき、始点に終点より遅い番号の画像、または終点に始点より早い番号の画像を指定しようとしました。

指定枚数の上限を超えています

- 印刷指定（📖300）やフォトブック指定（📖304）の画像を998枚より多く指定しました。指定する画像を998枚以下にします。
- 印刷指定（📖300）やフォトブック指定（📖304）を正しく保存できませんでした。指定枚数を減らして、もう一度指定します。
- 保護（📖197）、消去（📖201）、お気に入り（📖206）、印刷指定（📖300）、フォトブック指定（📖304）で、501枚以上の画像を指定しようとしました。

ファイル名が作成できません

- カード内の画像を保存するフォルダの番号が最大（999）になっていて、各フォルダに保存されている画像の番号も最大（9999）になっているため、フォルダの作成や撮影した画像の記録ができません。[🔧] タブで［画像番号］を［オートリセット］に変えるか（📖271）、カードを初期化します（📖269）。

レンズエラーを検知しました

- レンズ動作中にレンズを押さえたり、ホコリや砂ボコリの立つ場所などでカメラを使うと表示されることがあります。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、別紙の修理受付センターへご相談ください。

カメラがエラーを検知しました（エラー番号）
- 撮影直後に表示されたときは、撮影されていないことがあります。再生して画像を確認してください。
- 頻繁に表示されるときは故障が考えられますので、エラー番号（Exx）を控えて、別紙の修理受付センターへご相談ください。

ファイルエラー
- パソコンで加工したり、このカメラ以外で撮影した画像は、プリンターにつないでも正しく印刷（🕮293）できないことがあります。

印刷エラー
- 用紙サイズの設定を確認してください（🕮297）。正しく設定されていてもこのエラーが表示されるときは、プリンターの電源を入れなおして、もう一度設定してください。

インク吸収体が満杯です
- お使いのキヤノン製インクジェットプリンターに付属のパーソナル機器修理受付センター、またはお近くの修理受付窓口にインク吸収体の交換を依頼してください。

Wi-Fi

接続に失敗しました
- アクセスポイントを認識できませんでした。アクセスポイントの設定を確認してください（🕮233）。
- 接続先が見つかりませんでした。カメラの電源を入れ直し、接続をやり直してください。
- 接続先の機器が、接続できる状態になっているか確認してください。

アクセスポイントが特定できません
- 複数のアクセスポイントの WPS ボタンが同時に押されました。接続をやり直してください。

アクセスポイントが見つかりませんでした
- アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- アクセスポイントを手動で指定している場合は、入力した SSID が正しいか確認してください。

パスワードが正しくありません / Wi-Fi のセキュリティー設定が正しくありません
- アクセスポイントのセキュリティー設定を確認してください（🕮233）。

IP アドレスが重複しています
- 他の機器と IP アドレスが重複しないように、IP アドレスを設定し直してください。

接続が切断されました / 受信に失敗しました / 送信に失敗しました
- Wi-Fi の環境が悪い可能性があります。
- 電子レンジや Bluetooth など、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。
- 接続先の機器でエラーが発生していないか確認してください。

送信に失敗しました
カードが異常です
- 初期化したカードを正しい向きで入れても同じ表示が出るときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。

受信に失敗しました
カード残量が足りません
- 画像を受信するカメラに入っているカードに空き容量がないため、画像を受信できません。画像を消して空き容量を増やすか、空き容量のあるカードに交換してください。

受信に失敗しました
カードがロックされています
- 画像を受信するカメラに入っているカードのスイッチが「LOCK」側（書き込み禁止）になっています。スイッチを書き込みできる方へ切り換えてください。

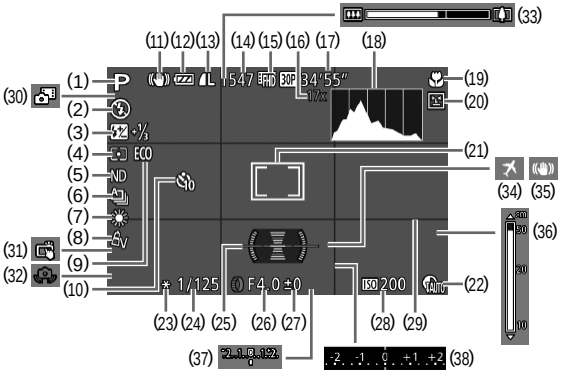
受信に失敗しました
ファイル名が作成できません
- 画像を受信するカメラのフォルダ番号が最大値（999）で、かつ画像番号も最大値（9999）のときは受信できません。

サーバーの空き容量が不足しています
- CANON iMAGE GATEWAY にアップロードされている画像を削除して、空き容量を増やしてください。
- クラウドシンクロ（📖253）で送信した画像をパソコンに保存してください。

ネットワーク設定を確認してください
- お使いのネットワーク回線を使ってインターネットに接続できるか確認してください。

画面の表示内容一覧

撮影時（情報表示あり）



(1) 撮影モード（📖323）、シーンアイコン（📖55）

(2) ストロボモード（📖148）

(3) ストロボ調光補正／発光量（📖150、📖161）

(4) 測光方式（📖122）、暗部補正（📖127）

(5) ND フィルター（📖128）

(6) ドライブモード（📖146）、AEB 撮影（📖125）、フォーカスブラケット撮影（📖137）

(7) ホワイトバランス（📖129）、水銀灯自動補正（📖77）

(8) マイカラー（📖132）

(9) エコモード（📖267）

(10) セルフタイマー（📖62）

(11) 手ブレ補正アイコン（📖58）

(12) バッテリー残量表示（📖320）

(13) 静止画の圧縮率（📖154）、記録画素数（📖76）

(14) 撮影可能枚数（📖355）*

(15) 動画の画質（📖78）

(16) ズーム倍率（📖60）、デジタルテレコンバーター（📖138）

(17) 撮影可能時間（📖356）

(18) ヒストグラム（📖182）

(19) フォーカスゾーン（📖134、📖135）、AF ロック（📖146）

(20) 目つむり検出（📖81）

(21) AF フレーム（📖139）、スポット測光枠（📖122）

(22) D レンジ補正（📖127）

(23) AE ロック（📖121）、FE ロック（📖151）

(24) シャッタースピード（📖158、📖160）
(25) 水準器（📖79）
(26) 絞り数値（📖159、📖160）
(27) 露出補正量（📖121）
(28) ISO 感度（📖123）
(29) グリッドライン（📖169）
(30) プラスムービーオートモード（📖51）
(31) タッチシャッター（📖64）
(32) 手ブレ警告（📖53）
(33) ズームバー（📖48）
(34) エリア設定（📖266）
(35) 手ブレ補正（📖154）
(36) MF インジケーター（📖135）
(37) 露出レベル（📖160）
(38) 露出補正量（📖121）

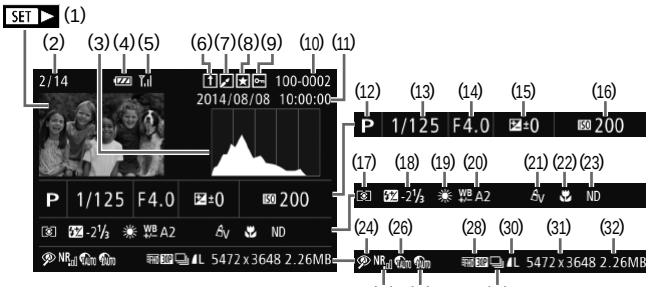
*［🎞］モードでは、撮影できる回数が表示されます。

バッテリーの残量表示

バッテリーの状態は、画面にマークやメッセージで表示されます。

画面表示	内容
🔋	十分です。
🔋	少し減っていますが、まだ使えます。
🔋（赤く点滅）	残量が少なくなってきました。充電してください。
[バッテリーを充電してください]	残量がありません。すぐに充電してください。

再生時（詳細情報表示）



(1) 動画（📖48、📖178）
(2) 再生画像番号／総画像数
(3) ヒストグラム（📖182）
(4) バッテリー残量表示（📖320）
(5) Wi-Fi 電波の状態（📖251）
(6) クラウドシンクロ（📖253）
(7) 画像編集（📖210）、動画圧縮（📖217）
(8) お気に入り（📖206）
(9) 保護（📖197）
(10) フォルダ番号－画像番号（📖271）
(11) 撮影日時（📖20）
(12) 撮影モード（📖323）
(13) シャッタースピード（📖158、📖160）
(14) 絞り数値（📖159、📖160）
(15) 露出補正量（📖121）
(16) ISO 感度（📖123）
(17) 測光方式（📖122）
(18) ストロボ発光（📖148）、ストロボ調光補正量（📖150）
(19) ホワイトバランス（📖129）
(20) ホワイトバランス補正（📖91）、水銀灯自動補正（📖77）、クリエイティブショット効果（📖87）
(21) マイカラー（📖132、📖213）
(22) フォーカスゾーン（📖134、📖135）
(23) ND フィルター（📖128）
(24) 赤目補正（📖215）
(25) 高感度時 NR（📖124）
(26) D レンジ補正（📖127）
(27) 暗部補正（📖127）
(28) 画質 / フレーム数（動画）（📖76、📖78）
(29) グループ再生（📖189）

(30) 圧縮率（画質）（🕮154）／記録画素数（🕮76、🕮78）、ダイジェスト動画（🕮51）、RAW（🕮153）、MP4（動画）

(31) 静止画：記録画素数（🕮355）
動画：再生時間（🕮356）

(32) ファイルサイズ

● テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります（🕮283）。

動画操作パネル一覧

「見る」（🕮178）で表示される動画操作パネルでは、次の操作ができます。

🔊	タッチすると音量パネルが表示され、[▲] か [▼] をタッチすると音量を変えられます。音量が 0 のときは [🔇] が表示されます。
▶	再生
▶|	スロー再生（[◀] か [▶] を押すか [⚙] ホイールを回して再生速度を変更）（音声は再生されません）
|◀◀	前スキップ * または前のチャプター（🕮218）（[FUNC SET] を押したままにすると連続戻し）
◀||	フレーム戻し（[FUNC SET] を押したままにすると早戻し）
||▶	フレーム送り（[FUNC SET] を押したままにすると早送り）
▶▶|	次スキップ * または次のチャプター（🕮218）（[FUNC SET] を押したままにすると連続送り）
🗑	チャプター消去（ダイジェスト動画を選んでいるとき（🕮218）に表示）
✂	編集（🕮216）
🖨	PictBridge 対応プリンターとつないだとき（🕮293）に表示

* 約 4 秒前または後のフレームを表示

● 動画再生中に［◀］か［▶］を押すと、前スキップ / 次スキップまたは前後のチャプターへのジャンプができます。

撮影機能一覧

Cなどの黒のアイコンは、そのモードで機能を選択できるか自動設定されることを示します。
Cなどの灰色のアイコンは、そのモードで機能を選択できないことを示します。

露出補正（📖121）

C[*1] / **M** / **Av** / **Tv** / **P** / / AUTO / / / / / / / / / / HDR / / / / / / / / / / /

ドライブモード（📖146）

C[*1] / **M** / **Av** / **Tv** / **P** / / AUTO / / / / / / / / / / HDR / / / / / / / / / / /

C / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / / / / / / / HDR / / / / / / / / / / /

C[*1] / **M** / **Av** / **Tv** / **P** / / AUTO / / / / / / / / / / HDR / / / / / / / / / / /

C[*1] / **M** / **Av** / **Tv** / **P** / / AUTO / / / / / / / / / / HDR / / / / / / / / / / /

C[*1] / **M** / **Av** / **Tv** / **P** / / AUTO / / / / / / / / / / HDR / / / / / / / / / / /

ストロボ（148）

A

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

（強制発光）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

（スローシンクロ）

C*1 / M / Av / Tv / P / *3 / AUTO*3 / *3 / HDR

（発光禁止）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

ストロボ調光補正（150）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

ストロボ発光量（161）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

AvTv 設定（158、159）

絞り数値

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

シャッタースピード

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

プログラムシフト（📖121）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

AE / FE ロック(📖117、📖121、📖151)*4

C*1 / M*5 / Av / Tv / P / AUTO / HDR

動画記録中 AE ロック／露出補正（📖170）*6

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

AF ロック（RING FUNC. ボタン、動画ボタン登録時（📖146））

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

フォーカスゾーン（📖90、📖134、📖135）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

MF

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

動画記録中 AF/MF 切り換え（117、135、164）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

AF フレーム位置の変更（140）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

タッチ AF（145）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

顔セレクト（143）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

情報表示切り換え（37）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

*1 設定できる内容は登録されている撮影モードにしたがう
*2 ［MF］時、AF ロック時、［ ］時は［LV］
*3 選択不可。ただし状況に応じて［ ］
*4 FE ロックは［ ］では不可
*5 ISO AUTO 時のみ
*6 ［RING FUNC.］または動画ボタンに［AEL］登録時（□170）
*7 ［MF］時のみ
*8 顔が検出されたときのみ可
*9 マニュアルフォーカス時のみ

FUNC. メニュー 一覧

D レンジ補正（□127）

OFF

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

AUTO

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

200%

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

暗部補正（□127）

OFF

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / / / / / / HDR / / / / / / /

ISO 感度（📖123）

AUTO

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / / / / / / HDR / / / / / / /

125 ～ 12800

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / / / / / / HDR / / / / / / /

ホワイトバランス（📖129）

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / / / / / / HDR / / / / / / /

 / / / /

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / / / / / / HDR / / / / / / /

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / / / / / / HDR / / / / / / /

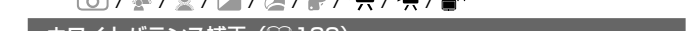
C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / / / / / / HDR / / / / / / /

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

ホワイトバランス補正（130）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

水中用ホワイトバランス補正（91）



C / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

色あい調整（二軸）（116）

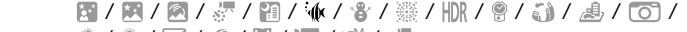
C / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

マイカラー（132）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

ブラケット（125、137）



C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

セルフタイマー（📖62）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

セルフタイマー設定（📖63）

時間 *5

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

枚数 *6

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

測光方式（📖122）

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO / / / / / / / / / / / / / / / / / / / / / / / / / / / / / /

 /

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO /

ND フィルター（📖128）

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO /

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO /

静止画アスペクト比（📖75）

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO /

C*1 / M / Av / Tv / P / / AUTO /

4:3

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

1:1 / 4:5

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

画像タイプ（153）

JPEG / RAW / RAW+JPEG

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

記録画素数（76）

L

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

M1 / M2 / S

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

圧縮率（154）

S

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

動画の画質（🕮78）

FHD 60P

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

FHD 30P

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

HD 30P / VGA 30P

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR / *7

*1 設定できる内容は登録されている撮影モードにしたがう
*2 詳細な設定不可
*3 ホワイトバランスは選択不可
*4 コントラスト、シャープネス、色の濃さ、赤・緑・青・肌色を 5 段設定
*5 枚数設定不可のモードでは 0 秒設定不可
*6 枚数設定不可のモードでは 1 枚固定
*7 縦横比の設定に連動して自動設定（🕮98）

撮影タブメニュー 一覧

AF フレーム（139）

顔優先 AiAF*2

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

一点

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

AF フレームサイズ（140）*3

標準

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

小

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

デジタルズーム（60）

入

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

切

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

テレコン 1.6x / テレコン 2.0x

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

ピント位置拡大（🕮80）

入

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

切

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

サーボ AF（🕮142）

入

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

切

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO*4 / HDR

コンティニュアス AF（🕮143）

入

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

切

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

タッチシャッター（📖64）

入

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

切

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

AF 補助光（📖82）

入

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

切

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

MF 拡大表示（📖135）

切

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

2x

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

4x

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

セーフティ MF（135）

入

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

切

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

MF ピーキング設定（136）

ピーキング

入 / 切

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

レベル

弱 / 強

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

色

レッド / イエロー / ブルー

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

ストロボ設定（82、150、152、161）

発光モード

オート

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

マニュアル

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

調光補正

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

発光量

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

シンクロ設定

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

赤目緩和ランプ

入

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

切

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

セーフティ FE

入

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

切

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

ISO オート設定（📖124）

上限 ISO 感度

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

感度の上がりかた

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

高感度時 NR（📖124）

弱 / 標準 / 強

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

水銀灯自動補正（📖77）

入 / 切

C / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

スポット測光枠（📖122）

中央固定

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

AF 枠連動

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

セーフティシフト（📖159）

入

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

切

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

ウィンドカット（📖54）

オート / 切

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

撮影直後のレビュー表示（📖83）

表示時間

切 / クイック

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

2 秒 / 4 秒 / 8 秒

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

ホールド

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

表示情報

非表示

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

詳細表示

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

目つむり検出（📖81）

入

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

切

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

情報表示設定（📖169）

撮影情報 / グリッドライン / 水準器 / ヒストグラム

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

暗所表示（📖156）

入 / 切

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

FUNC. カスタマイズ（📖172）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

鏡像表示（📖36）

入 / 切

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

手ブレ補正設定（154）

手ブレ補正

切

C*[1] / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

入

C*[1] / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

撮影時

C*[1] / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

ダイナミック IS

1

C*[1] / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

2

C*[1] / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

ダイジェスト形式（51）

静止画入り / 静止画なし

C / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

素材の保存（📖113）

入 / 切

C / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

星の強調（📖107、📖110）

シャープ / 切 / ソフト

C / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

星空ポートレート設定（📖107）

標準 / 多く/明るく

C / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

星空インターバル動画設定（📖113）

効果

/ / / /

C / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

撮影間隔

15 秒 / 30 秒 / 1 分

C / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

フレームレート

15 / 30

C / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

撮影時間

60 分 / 90 分 / 120 分 / 制限なし

C / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

個人認証設定（📖67）

入 / 切

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

コントローラーリング登録（📖165）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

RING FUNC. ボタン機能登録（📖170）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

ボタン機能登録（📖170）

C*1 / M / Av / Tv / P / AUTO / HDR

カスタム登録（📖173）

C[*1] / **M** / **Av** / **Tv** / **P** / AUTO / HDR

*1 設定できる内容は登録されている撮影モードにしたがう
*2 顔が検出されないときの動作は撮影モードによって異なる
*3 AF フレームで［一点］選択時に可
*4 動きを検出したときは［入］

- 個人認証機能（📖67）で撮影すると、撮影モードや設定によっては名前が画面には表示されないが、静止画には記録されることがある

設定タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
消音	🕮264
音量	🕮264
音の選択	🕮265
機能ガイド	🕮265
日付 / 時刻	🕮265
エリア設定	🕮266
レンズ収納時間	🕮267
エコモード	🕮267
節電	🕮33、🕮268
液晶の明るさ	🕮268
起動画面	🕮269
カードの初期化	🕮269、🕮270
画像番号	🕮271
フォルダ作成	🕮272
単位	🕮272
水準器	🕮272
ビデオ出力方式	🕮284
タッチ操作	🕮273
タッチパネル感度	🕮274
Wi-Fi 設定	🕮219
ワンタッチスマホボタン設定	🕮222
著作権情報	🕮274
日本語入力設定	🕮44
認証マーク表示	🕮275

項目	参照ページ
言語	275
カメラ設定初期化	276

マイメニュータブメニュー 一覧

項目	参照ページ
マイメニューの設定	175

再生タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
画像の検索	🕮186
ダイジェスト動画の一覧 / 再生	🕮184
連想再生	🕮195
スライドショー	🕮194
消去	🕮201
保護	🕮197
回転	🕮204
お気に入り	🕮206
フォトブック指定	🕮304
i- コントラスト	🕮214
赤目補正	🕮215
トリミング	🕮211
リサイズ	🕮210
レタッチマイカラー	🕮213
認証情報	🕮184
画像切り換え効果	🕮178
一覧表示の効果	🕮185
スクロール再生	🕮178
グループ表示	🕮189
縦横自動回転	🕮205
再生開始位置	🕮178
タッチアクション設定	🕮208

印刷タブメニュー 一覧

項目	参照ページ
印刷	–
印刷する画像を指定	🕮301
範囲で指定	🕮302
すべての画像を指定	🕮302
すべての指定を解除	🕮303
印刷の設定	🕮300

日ごろの取り扱いについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラや画面に水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押したりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラや画面を拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のブロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、別紙の修理受付センターにご相談ください。
- カメラを寒いところから急に暑いところへ移すと、カメラに結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒いところから暑いところへ移すときは結露の発生を防ぐため、カメラをビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから取り出してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因となりますのでカメラを使わないでください。バッテリー、カードをカメラから取り出し、水滴が消えてから、カメラを使ってください。
- バッテリーはビニール袋などに入れて保管してください。また、バッテリーの性能を維持するために、長期間使わないときは 1 年に 1 回程度充電し、使い切ってから保管してください。

主な仕様

カメラの仕様について

カメラ部有効画素数（最大）	約 2020 万画素
レンズ焦点距離	4.2 倍ズーム：8.8 (W) – 36.8 (T) mm （35mm フィルム換算：24 (W) – 100 (T) mm）
液晶モニター	3.0 型 TFT カラー液晶 有効画素数：約 104 万ドット
ファイルフォーマット	DCF 準拠、DPOF 対応（Version 1.1）
データタイプ	静止画：Exif 2.3（JPEG）、RAW（CR2（キヤノン独自）） 動画：MP4（映像：MPEG-4 AVC / H.264、音声：MPEG-4 AAC-LC（ステレオ））
インターフェース	Hi-Speed USB HDMI 出力 アナログ音声出力（ステレオ） アナログ映像出力（NTSC/PAL）
電源	バッテリーパック NB-13L AC アダプターキット ACK-DC110
大きさ (CIPA 準拠)	103.0 x 60.4 x 40.4 mm
質量 (CIPA 準拠)	約 304 g（電池・メモリーカード含む） 約 279 g（本体のみ）

Wi-Fi

規格	IEEE 802.11b/g/n* * 2.4 GHz 帯のみ
伝送方式	OFDM 変調方式（IEEE 802.11g/n） DSSS 変調方式（IEEE 802.11b）
通信モード	インフラストラクチャーモード *1、アドホックモード *2 *1 Wi-Fi Protected Setup に対応 *2 Wi-Fi CERTIFIED IBSS
対応チャンネル	1–13 ch
セキュリティー	WEP、WPA-PSK（AES/TKIP）、 WPA2-PSK（AES/TKIP）

デジタルズームの焦点距離（35mm フィルム換算）

デジタルズーム［入］	24 – 403.2 mm （光学ズームとデジタルズームをあわせた焦点距離）
デジタルテレコン 1.6 倍	38.4 – 160.0 mm
デジタルテレコン 2.0 倍	48.0 – 200.0 mm

撮影できる枚数・時間、再生できる時間

撮影枚数	約 210 枚
撮影枚数（エコモード時）	約 310 枚
動画撮影時間 *1	約 40 分
動画撮影時間（連続時 *2）	約 1 時間 10 分
再生時間 *3	約 4 時間

*1　次の条件で撮影した時間です。
- AUTO モード
- 画質［FHD 30P］
- 撮影、停止、ズーム、電源の入 / 切を繰り返し

*2　次の条件で撮影した時間です。
- AUTO モード
- 画質［FHD 30P］
- ズームなどの操作なし
- 動画の容量が 4 GB になるか撮影時間が約 29 分 59 秒になって撮影が自動停止したときは、すぐに撮影を再開

*3　静止画をスライドショーで再生したときの時間です。

- 撮影枚数は、CIPA（カメラ映像機器工業会）の試験基準によります。
- 撮影枚数・時間は、撮影条件により少なくなることがあります。
- フル充電状態での枚数・時間です。

1 枚のカードに撮影できる枚数

縦横比（🕮75）が 3:2 のときに、1 枚のカードに撮影できる枚数は次のとおりです。なお、縦横比によって撮影できる枚数は変わります。

記録画素数（ピクセル）	圧縮率	1 枚のカードに撮影できる枚数（約・枚）	
		8 GB	32 GB
L（ラージ）20M/5472x3648	S	852	3441
	◢	1379	5568
M1（ミドル 1）12M/4320x2880	S	1320	5329
	◢	2098	8472
M2（ミドル 2）4M/2304x1536	S	4234	17091
	◢	7442	30040
S（スモール）0.3M/720x480	S	24562	99135
	◢	35089	141622
RAW 画像 5472x3648	–	342	1385

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。

1 枚のカードに撮影できる時間

画質	1 枚のカードに撮影できる時間	
	8 GB	32 GB
FHD 60P	30 分 03 秒	2 時間 01 分 27 秒
FHD 30P	43 分 29 秒 *1	2 時間 55 分 43 秒 *2
HD 30P	2 時間 03 分 55 秒	8 時間 20 分 32 秒
VGA 30P	5 時間 14 分 34 秒	21 時間 10 分 38 秒

*1 iFrame 動画（🕮118）では、26 分 22 秒
*2 iFrame 動画（🕮118）では、1 時間 46 分 33 秒

- 当社測定条件によるもので、被写体やカードの銘柄、カメラ設定などにより変わります。
- 一度の撮影で動画の容量が 4 GB になるか、撮影時間が［FHD 60P］［FHD 30P］［HD 30P］では約 29 分 59 秒、［VGA 30P］では約 1 時間になると、自動的に撮影が終わります。
- カードによっては、連続撮影時間に満たなくても、撮影が終わることがあります。SD スピードクラス 6 以上のカードを使用することをおすすめします。

ストロボ調光範囲

もっとも広角側（🖼）にしたとき	50 cm – 7.0 m
もっとも望遠側（🔭）にしたとき	40 cm – 4.0 m

撮影距離

撮影モード	フォーカスゾーン	もっとも広角側（[W]）にしたとき	もっとも望遠側（[T]）にしたとき
AUTO	–	5 cm – ∞	40 cm – ∞
上記以外	[A]	5 cm – ∞	40 cm – ∞
	[macro]*	5 – 50 cm	–
	MF*	5 cm – ∞	40 cm – ∞
	[snow]	5 – 50 cm	–
	[landscape]	1.5– 20 m	1.5 – 20 m

* 撮影モードによっては、選択できません。

連続撮影の速さ

連続撮影モード	速さ
[H]	約 6.5 枚 / 秒
[AF H]	約 4.4 枚 / 秒
[LV H]	約 4.4 枚 / 秒

- 当社試験基準の UHS-I 対応 8 GB カード使用時。なお、撮影枚数は被写体やカードの銘柄などにより変わります。

シャッタースピード

[AUTO] モードで自動設定される範囲	1 – 1/2000 秒
[Tv] [M] [🎆] モードで設定できる値(秒)*1*2	250、200、160、125、100、80、60、50、40、30、25、20、15、13、10、8、6、5、4、3.2、2.5、2、1.6、1.3、1、0.8、0.6、0.5、0.4、0.3、1/4、1/5、1/6、1/8、1/10、1/13、1/15、1/20、1/25、1/30、1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、1/1600、1/2000

*1 [Tv] モードでは、20 秒またはそれより遅い値は設定できません。
*2 [🎆] モードでは、1/25 秒またはそれより遅い値は設定できません。

絞り

F 値	F1.8 – F11 (W)、F2.8 – F11 (T)
[Av] [M] [🎆] モードで設定できる値 *	F1.8、F2.0、F2.2、F2.5、F2.8、F3.2、F3.5、F4.0、F4.5、F5.0、F5.6、F6.3、F7.1、F8.0、F9.0、F10、F11

* ズーム位置によっては、選べない絞り数値があります。

バッテリーパック NB-13L

形式：	リチウムイオン充電池
公称電圧：	DC 3.6 V
公称容量：	1250 mAh
充放電回数：	約 300 回
使用温度：	0 − 40℃
大きさ：	29.6 x 42.0 x 9.5 mm
質量：	約 22 g

バッテリーチャージャー CB-2LH

定格入力：	AC 100 V − 240 V（50/60 Hz） 0.09 A（100 V）− 0.06 A（240 V）
定格出力：	DC 4.2 V、0.7 A
充電時間：	約 2 時間 10 分（NB-13L 充電時）
充電表示：	充電中：オレンジ色点灯、充電完了：緑色点灯（2灯式）
使用温度：	5 − 40℃

Wi-Fi（無線 LAN）について

- 本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。モデルナンバーは、PC2155 です。
- 無線 LAN が使える国や地域について
  - 無線 LAN 機能の使用は、国や地域ごとの法令等により規制されていることがあるため、違反すると罰せられることがあります。そのため、無線 LAN 機能が使用できる国や地域については、キヤノンの Web サイトで確認してください。
    なお、それ以外の国や地域で無線 LAN 機能を使用した際のトラブル等については、弊社は一切責任を負いかねます。
- 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。
  - 本製品を分解、または改造すること
  - 本製品上の証明ラベルをはがすこと
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
- 本製品には、米国製暗号化ソフトウェアが搭載されているため、米国輸出管理規制（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。
- ご使用になる無線 LAN の設定については、必ず控えを取ってください。
  本製品に登録した無線 LAN の設定は、誤操作、電波や静電気の影響、事故、故障などによって変質したり消失したりする場合があります。万一に備え、無線 LAN の設定は控えを取っておいてください。弊社の責によらずに内容の変質や消失が生じた結果による、直接または間接の損害および逸失利益について、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品を譲渡、廃棄、または修理の依頼をするときは、必要に応じて無線 LAN の設定の控えを取った上で、無線 LAN の設定を初期化（消去）してください。

- 紛失や盗難などによる損害の補償はいたしかねます。
  紛失や盗難などによって、本製品に登録されている接続先への不正アクセス・利用がされるなどの結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本書に記載している使用方法をお守りください。
  本製品の無線 LAN 機能は、この使用説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途や用法で使用した結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 医療機器や電子機器の近くでは、本製品の無線 LAN 機能は使用しないでください。
  無線 LAN 機能が医療機器や電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。

電波干渉について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、およびアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

② 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問いあわせください。

2.4 DS/OF 4	この表示は 2.4 GHz 帯を使用している無線機器であることを意味します。

- 本製品は、他の電波を発する機器から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。

セキュリティーについて

Wi-Fi は電波を使って通信するため、LAN ケーブルを使う有線 LAN よりもセキュリティーに注意する必要があります。
Wi-Fi をお使いになるときは、次の点に注意してください。

- 使用権限があるネットワークだけを使う
  本製品は、周辺の Wi-Fi ネットワークを検索して画面に表示します。そのため、使用する権限がない（知らない）ネットワーク名も表示されることがあります。しかし、それらのネットワークに接続しようとしたり接続して利用したりすると、不正アクセスと見なされる恐れがあります。使用する権限があるネットワークだけを利用し、それ以外のネットワークには接続しないように注意してください。

また、セキュリティーに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受
  悪意ある第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。
- ネットワークへの不正アクセス
  悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、Wi-Fi のセキュリティーを確保するための仕組みや機能を必ず使ってください。
Wi-Fi のセキュリティーについて理解し、利便性とリスクのバランスをよく考えたセキュリティーに関する設定を行った上で、本製品の Wi-Fi 機能をお使いいただくことをおすすめします。

この製品は、Wi-Fi 経由での PictBridge（ピクトブリッジ）でプリンターとつないで印刷できます。PictBridge とは、デジタルカメラとプリンターなどの対応機器を直接つないでかんたんに印刷するための規格です。なお、ネットワーク環境でも PictBridge を利用できる DPS over IP（ディーピーエス オーバーアイピー）という規格が制定され、本製品はその規格に対応しています。

Complies with
IDA Standards
DB00671

シンガポールIDA規格の認可済みWLAN Moduleが組み込まれています。

このカメラが対応している認証マークの一部は、画面に表示して確認できます。
1 電源ボタンを押して電源を入れます。
2 [MENU] ボタンを押します。
3 ズームレバーを動かして [🔧] タブを選びます。
4 [▲] か [▼] を押すか [●] ホイールを回して [認証マーク表示] を選び、[FUNC./SET] を押します。

注意

指定外のバッテリーを使うと、爆発などの危険があります。使用済みのバッテリーは、各自治体のルールにしたがって処分してください。

Li-ion

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。
- 詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  ホームページ：http://www.jbrc.com
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

アフターサービス期間について

本製品のアフターサービス期間は、製品の製造打切り後 5 年間です。
なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様の製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。

妨害電波自主規制について

この装置は、クラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイドにしたがって正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

適正な動作のために、キヤノン純正の専用アクセサリーと組みあわせてお使いいただくことを推奨いたします。

- インターフェースケーブル IFC-400PCU
- ステレオ AV ケーブル AVC-DC400ST
- HDMI ケーブル（カメラ側端子はタイプ D）については、長さ 2.5 m 以下の市販品をお使いください。

商標、ライセンスについて

- DCF は、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- App Store、iPhone、iPad は、Apple Inc. の商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- iFrame ロゴおよび iFrame シンボルは Apple Inc. の商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WPA™、WPA2™ および Wi-Fi Protected Setup™ は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum,Inc. の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。
- This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

このガイドについて

- 内容を無断で転載することは、禁止されています。
- 記載されている数値はすべて当社試験基準によります。
- 内容および製品の仕様や外観を将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

索引

アルファベット

A
AC アダプターキット 280, 286
AEB 撮影 125
AE ロック 121
AF フレーム 139
AF ロック 146
Av（撮影モード）159
AV ケーブル 284

C
C（撮影モード）167
CameraWindow
（スマートフォン）221
CameraWindow（パソコン）288
CANON iMAGE GATEWAY 240

D
DC カプラー 286
DPOF 300

F
FE ロック 151
FUNC. カスタマイズ 172
FUNC. メニュー
一覧 327
基本操作 38

G
GPS 情報記録 256
GPS 情報表示 182

H
HDMI ケーブル 283

I
iFrame 動画（動画モード）118
ISO 感度 123
i- コントラスト 126, 214

M
M（撮影モード）160

N
ND フィルター 128

P
P（撮影モード）120
PictBridge
（ピクトブリッジ）282, 293

R
RAW 153

S
SD/SDHC/SDXC カード → カード

T
Tv（撮影モード）158

W
Web サービスへの送信 240
Wi-Fi 機能 219
Wi-Fi メニュー 225

かな

あ
赤目補正 215
アクセサリー 280

アクセスポイントを使って
接続する 233
圧縮率（画質）154
暗部補正 127

い
一点（AF フレームモード）139
色あい（ホワイトバランス）129
印刷 293

う
ウインクセルフタイマー
（撮影モード）104
ウィンドカット 54
打上げ花火（撮影モード）89

え
液晶モニター 36
エコモード 267
エラー表示 315

お
オートシャッター
（撮影モード）103
オートモード（撮影モード）24, 48
オールドポスター（撮影モード）92
お気に入り設定 206
音 264

か
カード 2
撮影できる時間 356
海外で使う 266
回転 204
顔セルフタイマー
（撮影モード）105
顔セレクト 143
顔優先 AiAF
（AF フレームモード）141
拡大表示 193
画質 → 圧縮率（画質）
画像
消す 201
再生 → 見る
表示時間 83
保護 197
画像番号 271
画像を送る 248
画像をパソコンに取り込む 290
家庭用電源 286
カメラ
設定初期化 276
カメラアクセスポイントモード 228
カメラへの送信 248
画面
表示一覧 319, 321
表示言語 22
メニュー → FUNC. メニュー、
メニュー

き
魚眼風（撮影モード）96
記録画素数（画像の大きさ）76

く
クイック（フォーカスゾーン）90
クラウドシンクロ 253
クリエイティブショット 86
クリエイティブフィルター
（撮影モード）92
グリッドライン 169

け
消す 201
検索 186

こ
極彩色（撮影モード） 92
故障 308
個人認証 67
コントローラー
　リング 165, 168, 188
コントローラーリング機能
　切り換えボタン 165, 170

さ
サーボ AF 142
再生 → 見る
撮影
　撮影情報 169, 319
　撮影日時 → 日付／時刻

し
ジオラマ風（撮影モード） 97
ジャンプ表示 188
消去 → 消す
初期状態 → 設定初期化
白黒画像 132

す
水銀灯自動補正 77
水準器 79
水中（撮影モード） 89
水中マクロ（フォーカスゾーン） 90
ズーム 24, 48, 60, 61
スタンダード（動画モード） 117
ステレオ
　AV ケーブル 281, 283, 284
ストラップ 2, 16
ストロボ
　常時発光 148
　スローシンクロ 149
　調光補正 150
　発光禁止 149
スノー（撮影モード） 89
スマートフォンへの送信 221
スマイル（撮影モード） 103
スライドショー 194

せ
世界時計 266
接続情報の編集 / 消去 259
設定初期化 276
節電 33
セピア調画像 132
セルフタイマー 62
　2 秒セルフタイマー 63
　ウインクセルフタイマー
　（撮影モード） 104
　顔セルフタイマー
　（撮影モード） 105
　タイマー時間と撮影枚数を
　変える 63
全消去 202

そ
測光方式 122
ソフトウェア
　インストール 229, 289
　パソコンへの取り込み 290
ソフトフォーカス
（撮影モード） 101

た
ダイナミックレンジ補正 127
タッチ AF 145
タッチアクション設定 208
タッチシャッター 64
縦横比を変える 75
端子 283, 285, 293

て
デジタルズーム 60
デジタルテレコンバーター 138
手ブレ補正 154
手持ち夜景（撮影モード）88
テレビで見る 283
電源 280 → AC アダプターキット、→ バッテリー、→ バッテリーチャージャー（充電器）
電池 → 日付／時刻（日付／時刻用電池）

と
トイカメラ風（撮影モード）99
動画
　画質（記録画素数 / フレーム数）76, 78
　撮影時間 356
　編集 216
時計機能 46
トリミング（画像の切り抜き）211, 296

に
日時 → 日付／時刻

の
ノスタルジック（撮影モード）95

は
背景ぼかし（撮影モード）100
ハイダイナミックレンジ（撮影モード）93
バッテリー
　エコモード 267
　残量表示 320
　充電 16
　節電 33
バッテリーチャージャー（充電器）2, 280
花火 → 打上げ花火（撮影モード）

ひ
ピクトブリッジ（PictBridge）282, 293
日付／時刻
　世界時計 266
　設定 20
　日付／時刻用電池 22
　変更 21
表示言語 22
ピント合わせ
　AF フレーム 139
　AF ロック 146
　MF ピーキング 136
　サーボ AF 142
　タッチ AF 145
　ピント位置拡大 80

ふ
フォーカスゾーン
　クイック 90
　水中マクロ 90
　マクロ 134
　マニュアルフォーカス 135
フォーカスチェッカー 193
フォーカスブラケット撮影 137
フォーカスロック 139
フォトブック指定 304
付属品 2
プラスムービーオート（撮影モード）51
プリント → 印刷
プログラム AE 120

へ
編集
i-コントラスト 214
赤目補正 215
トリミング
（画像の切り抜き）211
リサイズ
（画像を小さくする）210
レタッチマイカラー 213

ほ
ポートレート（撮影モード）88
保護 197
星空（撮影モード）107
星空インターバル動画
（撮影モード）113
星空軌跡（撮影モード）111
星空ポートレート
（撮影モード）107
星空夜景（撮影モード）110
ホワイトバランス（色あい）129

ま
マイカラー 132
マクロ（フォーカスゾーン）134
マニュアル（動画モード）163
マニュアルフォーカス
（フォーカスゾーン）135
マニュアルホワイトバランス 130
マルチエリアホワイトバランス 77

み
見る 27
1 枚表示 27
インデックス表示 185
拡大表示 193
画像の検索 186
ジャンプ表示 188
スライドショー 194
テレビで見る 283
連想再生 195

め
目つむり検出 81
メニュー
一覧 323
基本操作 40
メモリーカード → カード

も
モノクロ（撮影モード）102

ら
ランプ 45, 82

り
リサイズ（画像を小さくする）210
リストストラップ → ストラップ
リモート撮影 257

れ
レタッチマイカラー 213
連想再生 195
連続撮影 57, 65

ろ
露出
AE ロック 121
FE ロック 151
補正 121

わ
ワンタッチスマホボタン 222

MEMO

Canon

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒 108-8011 東京都港区港南 2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター
050-555-90005
受付時間：平日 9：00 ～ 20：00
土・日・祝日 10：00 ～ 17：00
（1 月 1 日～ 1 月 3 日は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630 をご利用ください。
※ IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノンデジタルカメラ製品情報
http://canon.jp/cdc

キヤノンサポートページ
http://canon.jp/support

CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net

リチウムイオン・バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」にご注意下さい

国内･国外を問わず、ネットオークションでリチウムイオン･バッテリーパック、チャージャーの「模倣品」が頻繁に出回っておりますので十分にご注意ください。詳細は以下のURLよりご覧ください。
http://cweb.canon.jp/e-support/info/battery-anno.html

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

CDP-J596-010
©CANON INC. 2014
PRINTED IN JAPAN